今宿五郎江 16

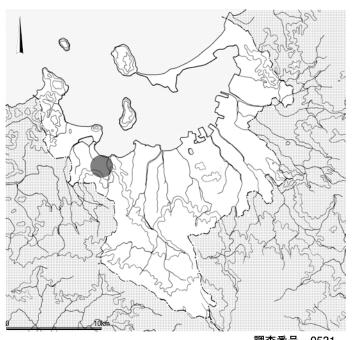
一 今宿五郎江遺跡第11次調査報告(2) —

2 0 1 4

福岡市教育委員会

今蓿五郎江 16

一 今宿五郎江遺跡第11次調査報告(2) —



調査番号 0531 遺跡略号 17G-11

2 0 1 4

福岡市教育委員会

福岡市の西部に位置する今宿平野は、中国の史書にその名を残す糸島平野の東を 占め、歴史的にみても重要な位置にある地域です。しかし今、土地区画整理事業に より、縦横に整備された道路が走り、日々街の姿を整えつつあります。

福岡市では、工事等により現状での保存が不可能となった埋蔵文化財について、 記録による保存を図ることとし、そのための発掘調査を行ってきました。本書は、 この目的で伊都土地区画整理事業地内において実施した今宿五郎江第11次調査の報 告書として刊行するものです。

発掘調査では、膨大な量の土器のほかに、農具や漁撈具をはじめとする木器、石 錘などの石製品、鏡や銅鐸といった金属器など様々な種類の遺物が多数出土しまし た。このような遺物の内容は、今宿五郎江遺跡が、かつての伊都国とされる地域の なかでも、重要な位置を占めていたことを物語っています。

本書の刊行は、関係各位の多大なご理解とご協力の結果であることをここに記し、 心からお礼を申し上げます。また、本書が今宿平野の歴史について、理解を深める ために資するところがあれば幸いです。

平成26年3月24日

福岡市教育委員会 教育長 酒 井 龍 彦

はじめに

- 1 本書は、2005 (平成17) 年から2006 (平成18) 年度にわたり、福岡市西区今宿町伊都土地区画整理事業地内で福岡市教育委員会がおこなった、今宿五郎江第11次調査報告の2であり、出土遺物について報告する。なお、遺構についての報告は、第1181集『今宿五郎江13』(2013)で行った。
- 2 発掘調査は、文化財保護法57条の3 (改正前) に基づく通知を受け、埋蔵文化財保存についての協議を行った結果、福岡市都市整備局(当時) 伊都区画整理事務所の依頼により、記録保存を目的として、教育委員会埋蔵文化財課(平成24年度組織改編により移管し 経済観光文化局文化財部埋蔵文化財調査課)が実施したものである。作業は、関係各位のご理解とご協力のもと、円滑に遂行することができた。この場で深く感謝申し上げる。
- 3 整理・報告は、埋蔵文化財調査課 杉山富雄が全般を担当したほかに、木器実測・写真撮影を加藤 隆也が、土器実測を埋蔵文化財事前審査課森本幹彦が行った。また、木器実測図については埋蔵 文化財センターの協力を得た。本文執筆は担当のほか森本が行った。
- 4 木製品の整理については、首都大学東京山田昌久先生の指導を頂いた。記して感謝申し上げます。
- 5 出土資料および調査記録は、福岡市埋蔵文化財センターで収蔵管理し、利用に供する予定である。

凡例

- 1 位置の記録は、伊都土地区画整理事業に伴い設置された基準点(日本測地系)を利用した。
- 2 調査区画については、座標系の格子を利用し、表記の標準化を図った。100m格子を東西・南北それぞれ10分割し、さらに各5分割した2m格子を設定した。100m格子の位置は、1km格子を同様各方向10分割した位置で表示した。実際は各2桁の数字を用い、上の桁が西方向、下の桁が北方向への分割区画を示す。100m格子に「G」を冠して記述中でわかるものとした。
 - 例) G46-8032は100m区画46の東から8、南から10番目の10m区画中の、東から3番目、南から2番目の2m格子。
- 3 図中に用いる方位は国土座標の座標北である。
- 4 報告中の遺構・遺物番号は、それぞれ登録番号を用い、調査現場での記録から整理、収蔵まで一貫して管理し、台帳・図・日誌等関係に記載した情報と極力関連づけておくことに努めた。記述中必要に応じて、遺物には「R」、遺構には「M」を付した。また、遺構番号については、第10次調査の番号を引き継いで、1201から用いることとした。

遺跡調査番号	0 5 3 1			調査略号	I Z G - 1 1
調査地籍	福岡市西区今宿町76-1 95、97-1の一部、およ		分布地図番号	1 1 2	
工事面積	130 ha	調査対象面積	6,900 m²	調査面積	6,900 m²
調査期間	2005(平成17)年7月8日~	~ 2006(平成18)年	€12月9日	

本文目次

1 今	宿五郎江遺跡第11次調査の概要	2.	出土遺物 5
1.	発掘調査の概要 1	(:	1) 土器・土製品 5
(2	1) 発掘調査 1	(:	2) 金属器・金属製品 6
	今宿五郎江遺跡の立地		3) 木器・木製品 7
	発掘調査		4) 土製品 8
(2	2) 調査遺構 1	(!	5) 石器・石製品 8
	谷1203の土層 4		sわりに 125
	宿五郎江遺跡第11次調査出土遺物 5		
1.	出土遺物の概要・・・・・・ 5		
図目	次		
図1	今宿五郎江遺跡調査区位置図 2	図26	谷1203 36層·39層出土土器 ······· 46
図 2	今宿五郎江第11次調査区 3	図27	谷1203 40層出土土器 47
図3	谷1203土層模式図 4	図28	谷1203 27層·42層出土土器 ······· 48
図 4	薄片鑑定試料 18	図29	谷1203 42層出土土器 49
図 5	薄片 (1)19	図30	谷1203 51層出土土器50
図 6	薄片 (2)20	図31	谷1203 52層出土土器29
図 7	歴年較正結果22	図32	谷1203 52層・53層・67層出土土器 30
図8	今宿五郎江第11次調査出土木製品の	図33	溝1561・溝1567・M1570出土土器 … 53
光学	·顕微鏡写真(1) ······ 30	図34	井戸2029出土土器24
図 9	今宿五郎江第11次調査出土木製品の	図35	土器埋置1716~171854
光学	·顕微鏡写真(2) ······ 31	図36	楽浪系土器 55
図10	今宿五郎江第11次調査出土木製品の	図37	瓦質土器・陶質土器 ····· 56
光学	·顕微鏡写真(3) ······ 32	図38	異系統土器・土師器 (1)57
図11	谷1202 4層出土土器33	図39	異系統土器・土師器 (2)58
図12	谷1202 5層出土土器34	図40	金属器 (1)36
図13	谷1202・溝1204出土土器35	図41	金属器 (2)37
図14	谷1202·溝1204出土土器 ······36	図42	金属器 (3) 38
図15	掘立柱建物1831出土土器36	図43	金属器 (4) 39
図16	谷1203 11層出土土器 (1)37	図44	鍬 (1)40
図17	谷1203 11層出土土器 (2)38	図45	鍬 (2)41
図18	谷1203 11層出土土器 (3)39	図46	鍬 (3)42
図19	谷1203 19層·22層出土土器 ······· 40	図47	鍬 (4)
図20	谷1203 23層出土土器 41	図48	鍬 (5)44
図21	谷1203 19層・27b層・39層出土土器 42	図49	鍬 (6)45
図22	谷1203 49層出土土器 42	図50	鍬 (7)・鍬柄46
図23	谷1203 50層出土土器 43	図51	鋤(1)
図24	谷1203 50層・25層・35層出土土器 44	図52	鋤 (2)
図25	谷1203 36層出土土器 45	図53	杵 (1)49

図54	杵 (2)50	図89	土製品 107
図55	杵 (3)51	図90	石器 (1) 107
図56	杵 (4)52	図91	石器 (2) 108
図57	簎 (やす) (1)53	図92	石器 (3) 109
図58	簎(やす)(2)54	図93	石器 (4) 110
図59	尖頭器 55	図94	石器 (5)11
図60	網枠・櫂	図95	石器 (6) 112
図61	斧柄(1) 57	図96	石器 (7) 113
図62	斧柄 (2)・鎌柄・柄58		
図63	工具・火鐟臼・紡錘車 (1) 59	表目的	大用
図64	紡錘車 (2)・木鏃・短甲60	表1	放射性炭素年代測定結果12
図65	弓・容器(1)61	表 2	歴年較正結果12
図66	容器 (2)62	表 3	岩石薄片鑑定結果17
図67	容器 (3)63	表 4	放射性炭素年代測定結果22
図68	容器 (4)・杓子64	表 5	今宿五郎江第11次調査出土木製品の
図69	杓文字65	樹種	重同定結果 25
図70	蓋 (1)66	表 6	今宿五郎江第11次調査出土木製品の
図71	蓋(2)・机67	樹種	重同定結果一覧29
図72	椅子・服飾具68	表 7	掲載遺物一覧(1) 114
図73	装飾部材・形代 69	表 8	掲載遺物一覧 (2) 115
図74	部材・板材 70	表 9	掲載遺物一覧 (3) 116
図75	部材・未分類71	表10	掲載遺物一覧(4) 117
図76	谷1202出土土器95	表11	掲載遺物一覧 (5) 118
図77	谷1202、谷1203	表12	掲載遺物一覧 (6) 119
10層	雪・11層出土土器96	表13	掲載遺物一覧 (7) 120
図78	谷1203 11層出土土器97	表14	掲載遺物一覧 (8) 121
図79	谷1203 11層・21層・22層・19層・44層・	表15	搬入土器観察表(1) 122
27層	雪 出土土器 ······98	表16	搬入土器観察表 (2) 123
図80	谷1203 27 (b) 層・25層・26層・35層・	表17	搬入土器観察表 (3) 124
36層	雪 出土土器 ······99		
図81	谷1203 39層・40層出土土器 100		
図82	谷1203 40層・50層出土土器 101	別図	
図83	谷1203 50層・23層・38層・45層・49層	図98	今宿五郎江第11次調査出土土器
上出	二土器 102	図99	今宿五郎江第11次調査出土木器
図84	谷1203 49層・57層・42層出土土器…	図100	今宿五郎江第11次調査出土金属器
103			
図85	谷1203 42層・51層出土土器 104		
図86	谷1203 52層・凹地1557・凹地1565・	別表	
溝北	大凹地1567出土土器 105	表18	報告遺物一覧
図87	溝状凹地1569出土土器 106	表19	今宿五郎江第11次調查台帳
図88	楽浪系土器 106		

1 今宿五郎江遺跡第11次調査の概要

1. 発掘調査の概要

(1) 発掘調査

今宿五郎江遺跡第11次調査は、発掘作業を2005(平成17)年度着手し、2006年度まで継続した。 調査成果のうち、遺構については2012年度報告した*。続いて、今回出土遺物について報告するが、 始めに発掘調査・調査遺構について概要を記す。

今宿五郎江遺跡の立地 今宿五郎江遺跡は、高祖山麓から今津湾に向かって延びる丘陵の末端部に台地発達する台地上に立地する。遺跡の立地する台地は、沿岸砂州の後背湿地に突出するような地形となっている。遺跡の範囲は中央の台地と一段低い周縁の台地、東西に深く入り込んだ谷の一部に及ぶ。全体に北へ緩く傾斜し、最高所で現況の標高8m、西側の低い台地の西縁部に位置する第11次地点調査区では、南東隅で標高5.6m、緩く北へ下った調査区北端で3.2mとなる。第11次地点では、調査区の西側を南方から北方に貫流する谷1203が埋没した状態で検出された。

発掘調査 発掘調査は、2005(平成17)年7月8日着手し、調査区を南北4区に区分して進め、 調査区西側に遺構分布が広がる可能性が生じたことから、5区を設定した。台地部の調査を終わり、 谷1203の調査を進めて、現場作業を2006(平成18)年12月9日完了した。

(2) 調査遺構

第11次調査で検出した遺構は、登録したもの961件、うち台地部で登録したものが大半である。また、 登録した以外に遺物の出土がない、あるいは柱痕跡の確認できない小穴が多数分布している。

台地部では、主に谷1203東岸台地の北側に偏って、M1222等不整形状の土壙群が、南に偏って柱穴が分布する。柱穴の分布域と重なって、弧状の溝が群在する。2次調査区から伸びる溝(M1204)も確認した。柱穴から掘立柱建物48棟を復原することができた。1間×1間の構造が多いが、1間×1間、2間×3間規模が多いなかで、建物1531は梁行3間、桁行5間以上を復原できる。

調査区の北東隅では東側を流れる谷1202が埋没している、第2次調査区に谷頭があるもので、岸部では遺物投棄が見られる。

調査区西半部の谷1203底には、南の第12次調査区から続いて溝2495が掘削されおり、調査区内で終わる。溝2195の掘削により、その残土が盛土状に残される。残土層中からは埋置されたような土器の出土があった($M1716\sim1718$)。また、この盛土状の高まりによりそれと、谷岸部との間の谷底に溝状の凹地($M1561\cdot1567$)形成され、その底部で纏まった遺物の出土状態が見られる。

溝2495は程なく埋没し、続いて谷1203も埋没してゆく。その過程で、おそらく流水により、浅い凹地が形成される(M1391・1557・1565・2025・2076)。この部分から多数の木器を含む遺物が出土した。

更に谷1203埋没途中、井戸2029が掘削され、その下位堆積層を掘り込んで設置されていたものとみえる。溝2495北端部では、埋没の進行した段階で、杭群2086が打設される。また、東西両岸、特に東岸から土器の投棄が行われて、大量の土器が集中して出土した。その遺物については、一部を土器投棄1569(39層)・1670(40層)として取り上げた。

以上の様に谷1203では、溝2495掘削後に様々な変化、人為的改変が加わっている。それを反映してか、本調査において出土した遺物の大半は谷1203中の出土である。また、このような改変が加わる以前、あるいは古い段階の可能性考えられる矢板列1560・2205・2028の構築も行われている。

^{*『}今宿五郎江13』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1181集 2013



図1 今宿五郎江遺跡調査区位置図 (1:2,000)

※ 数字は、今宿五郎江遺跡調査地点(調査次数)OTS 大塚遺跡調査地点TAN 谷遺跡調査地点

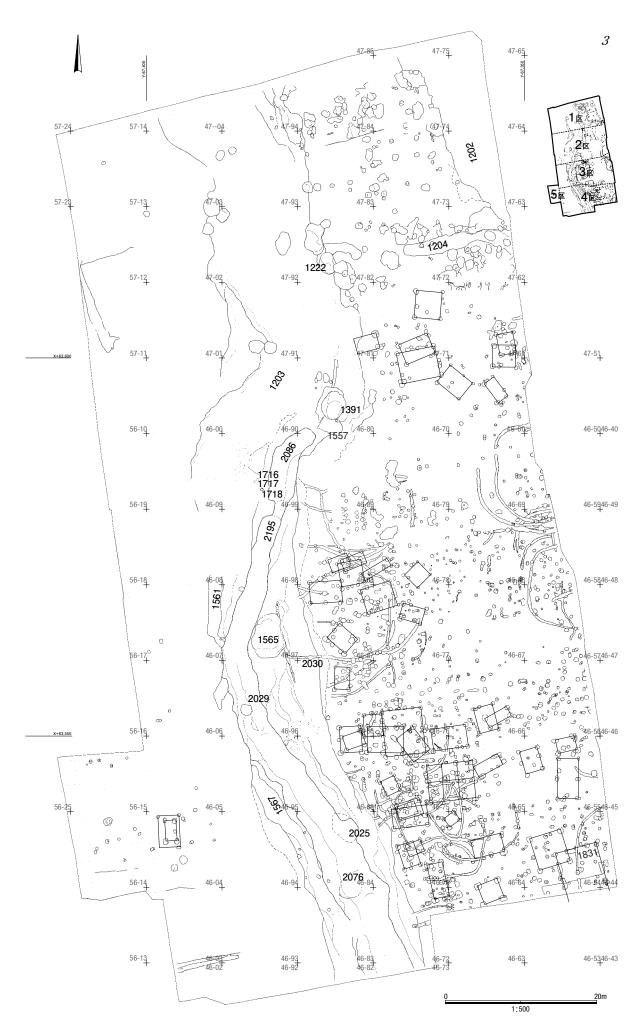


図2 今宿五郎江第 11 次調査区全体遺構図 (1:500)

2. 谷1203の土層

第11次地点では、台地部のほかに谷部の調査を行った。本調査で出土した遺物の大半は谷部、特に谷1203からの出土が大半である。調査では、作業の進行順に堆積層を極力細分、層番号を付していったため、必ずしも数字の前後関係が層の上下関係を表していない。また、調査位置ごとに採番した部分もあり、異なる層(番号)で、同一層と見られるものも含まれている。

谷1203の土層について、谷底に掘削された溝2195との関係を含め、再度整理しておきたい。調査地を含む一帯は、東西の谷(谷1202・1203)埋没の後、広く均質な堆積層に覆われる。発掘調査はこの層を除去し、谷部の全体を覆う黒褐色土層(10層)以下について行った。各層は量の多寡はあれ、ほぼ全て遺物包含層である。報告遺物の出土層を大きく分けると以下のようになる。

1) 上部層 谷1203埋没最終段階の部分。谷1203の範囲のほぼ全域に堆積する。粘土質の黒褐色 土〜泥炭質の黒褐色土層(10層・10b層・11層)の上部、泥炭質の下部に分けることができる(19層・ 44層)。凹地(M1391・1565・2076)は19層で検出し、19層が埋めている。

11層下面とする位置に、土器投棄層かと思われる遺物の集中出土部が分布する。(27a層・39層・40層・36層・44層・50層)。3区では上下に分層した地点がある(39層/40層)。44層を除き、谷1203東岸に沿う分布である。21層(粘土)、22層・62層(粗砂)もこの位置に部分的に分布する。

- 2) 中部層 谷底の溝2195埋積層上部。溝が漏斗状に大きく広がった部位の堆積。調査1区では、溝2195を超えて分布する。粗砂・砂礫層、泥炭まじりの粗砂・砂礫層。(23層・28層・48層)
- 3) 下部層 溝2195下部層。粗砂・細礫層、上・下部に泥炭層の薄層を挟む(45層・49層〈49a ~ c層〉・ 56層・57層)。最下底には有機物を含まず、細砂薄層を挟む粘土層(67層)が一部に堆積する。
- 4) 基底層 溝2195掘削以前または、掘削に伴い形成された層である。谷1203東岸から谷底面にかけて、投棄されたように土器が密集出土する(27b層・41層・42層・52層)のは、溝2195掘削以前か、これに掘削に伴い生成したと思われる層が重複する(51層)。溝2195掘削に伴う残土を盛り上げたとおもわれる層が溝の東西岸に分布する(29・53層)。

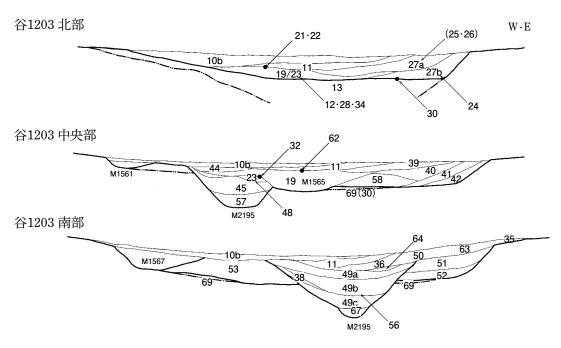


図3 谷 1203 土層模式図

2 今宿五郎江遺跡第11次調查出土遺物

1. 出土遺物の概要

今宿五郎江第11次調査の出土遺物は、土器類・木質遺物が大半を占め、石器類が続く。加えて少量の金属製品・ガラス製品が加わるという構成であった。

土器について、整理作業(注記分別)中、出土単位(現場遺物番号)で計量を行った。結果、出土土器の総量は28,634kgとなる。谷1203内からの出土が最も多く、24,903kgで計量総量の67%近くを占めている。これに次いで谷1202出土土器が623kg(2%強)、溝1204出土土器270kg(0.9%強)となる。更に不整な土壙1222(53kg)・1211(49kg)の土器量が目立つが、いずれも谷1203の遺物集中部に重複していることから理解できる。ちなみに、出土量10kg以上の遺構が別に6基、10kg未満の遺構は、769基。そのうち、出土量1kg未満のもの668kg、平均土器量150gとなる。このように、谷1203・1202、溝1204から集中出土したことがわかる。

谷1203においても、偏りがあり、10(b)・11層で6,944kg、総量の30%近くを占めている。

木器と分類するものは、840点余りが出土し、ほかに杭の類が多数出土した。出土層は、下部層(49層)からのものが多く、上部の11層、次いで中部の23層となる点、土器とは相違する。

石器と分類した資料は2,770余点となる。最も多いのは敲打刃器(縁部打ち潰し状石器)でほぼ40%を占める。以下、石錘(19%)、敲石(13%)、砥石(11%)が主要な構成器種である。出土層は、谷1203上部層に偏り、総数の70%となる、うち10(10b)層・11層から36%近くを占めている。以下、中部層13%、下部層7%、基底層(谷1203底部)4%。谷1203以外からは4%の数出土している。

今回、実測図を示すことのできなかった遺物は、一部写真で補った。後掲一覧表(表 7 ~ 14)に、 遺物分類・出土位置について記し、以下の詳細については、紙数の関係から、別表(データ)で示す。

2. 出土遺物

(1) 土器·土製品

谷1203については層別、他は遺構別で出土土器を報告する。なお、外来系土器については、集成して、別項で詳述する。

谷1202出土土器(図11~13、76・77)5層、15層出土遺物を示す。5層出土の大形甕315は、細片となったものが、いくつかに纏まって出土した。同様の大形土器は、溝1203では顕著でない。。

谷1204出土土器(図14・77)上半部から、土層の堆積に沿うような状態で出土した。破片が多く、 全形のわかる資料は器台が多い。

建物1831・建物1832出土土器(図15) 布掘りの柱穴があり、大形の掘立柱建物。12987・12988・12989は建物1831柱穴、R12986は建物1832柱穴出土。小破片〜細片資料である。

谷1203 10b層出土土器(図19・77) 細片化した資料が谷の岸から一面に分布するような状況が見られた。高坏脚部9080は、中程に線刻による文様を刻んでいる。

谷1203 11層出土土器(図16~18、77~79)部分的に投棄したような土器の出土が見られる。地点により土師器、須恵器の出土があったが、層を分離できるような出土状況は確認できなかった。

谷1203 21層・22層出土土器(図19・79)11層下に部分的に分布する粘土層、粗砂層であり、洗い出しによるような出土状況も観察された。高坏8759は、圧潰したような状態で坏部が細片化して出土した。

谷1203 25層・26層・27 (a) 層出土土器(図12・21・24・28・79・80)いずれも 1・2 区の谷岸部に沿って地点的に分布堆積する。27層はa・b層に分離したが、その境界部は不明瞭。上下層の土器が接するようにして出土した。断面観察では、別々の面に沿って堆積していることがわかる。

谷1203 35層・36層・50層出土土器(図23~25・80~83)35層は調査4区、谷東岸、岸部付近の 台地状に細片化した土器の密集分布部分。肩部から谷へ向かって堆積する50層、谷中央に近く土器が 密集する36層となる。36層では、土器がほぼ完形のまま内部に空隙を残して出土した。

谷1203 39層・40層出土土器(図19・26・27~25・81~83)調査3区、溝2195の蛇行により、広く残された谷底面に、東岸から堆積する。39層上部では細片化した土器が顕著である。この中で後述する楽浪系土器の出土があった。二つに割れた破片を重ねた状態で出土し、その位置に置かれたことがわかるものである(図36-楽浪系土器/土器3702)。

谷1203 19層・44層出土土器(図19・21・79) 11層から漸移するような地点もある。土器の出土量は減少し、全形がわかる資料は少ない。44層は谷1203西岸に沿って形成されたもの。図21に示す、壺底部12990は、底面に線刻が残る。先端の整っていない工具で、屈曲する薬研彫り状の沈線を刻む。図19下段4819・11805が44層出土。

谷1203 23層出土土器(図20~22·25·83)粘土·泥炭が主となっていた上部層から変わって、粗砂、部部的に砂礫が。主となる層である。遺物出土量は比較的多い。洗い出しによるような出土状況が見られた。図20に示す鉢9604は、やや特異な土器である。口縁部か不整で、口縁に沿う方向に帯状に被熱したような痕跡が残る。

谷1203 45層・49層出土土器(図22・83・84) 溝2106の埋積層。土器総量の%程の出土量である。 全形のわかる状態での出土は少なく、遺存状態の良好なものは小形の器形が多い。

谷1203 67層出土土器(図32)溝2195の最下底層。調査区南半部に分布する。出土遺物は少量であるが、壺7528が成立した状態で出土した。

谷1203 27 (b) 層出土土器(図28・79・80)調査1区、谷東岸から底面に堆積する層で、先述したように上層との境界が不明瞭なため上層資料と思われる土器を含む。調査時の所見では完形の土器を含み、壺は丹塗りのものが多い。

谷1203 41層・42層出土土器(図27~29・33・84・85)調査3区谷1203東岸から谷底面にかけて、流れ込んだ様な状態で土器が密集する。丹塗り土器が顕著である。

谷1203 51層・52層出土土器(図23・30~32・85・86)51層は、溝2195掘削残土、52層は、それに先立つ堆積としたが、52層は谷底面部分のみか。崩落した第11次調査区南壁では、より密集した出土状況が見られた。壺は丹塗りのものが特徴的。破片も比較的大振りである。

谷1203 53層出土土器(図32・85・86)主として調査4区、溝2195両岸にのこる、掘削残土と考えられる層中の出土。全形がわかるような破片が、点々と残っているような状態での出土があった。赤色顔料塗彩の壺が含まれる。 2 区29層と同じ契機による形成。

井戸2029出土土器(図34) 谷1203埋没途中の段階で設置されたものと考えられるが、調査では確認できなかった。底部近くにやや斜めに傾いて甕7479が出土し、その中に落ち込んだ状態で手捏ね土器7475が出土した。後者が浮いた状態で出土していることから、やや遅れて流入したものか。

土器埋置1716~1618 (図35) 調査 2 区、溝2195西岸に残る、溝掘削残土層とする粘土層中に埋め込まれた状態で、近接して出土した。土器埋置1716・1717は壺を倒立した状態で、下層の粘土上に据えた状態、土器埋置1718は下に壺底部5395を置き、上に甕上半部5375を乗せた状態で出土した

(2) 金属器・金属製品

溝1204出土の銅鏃を除き、谷1203上部層からの出土である。溝2195中・下部層からの出土である。 耳環は、11層の出土。同層には極小量の須恵器が出土する地点がある。鋳造鉄斧は、谷2103上部 層からの出土の他溝2195掘削時の残土層とする(51層)、下位の包含層(52層)からの出土があった。 図40・42に銅鏡、貨泉、耳環、小銅鐸を、図41・43に銅鏃、鉄斧他、図42・43に鋳造鉄斧を示す。

(3) 木器·木製品

以下、分類に沿って報告する。

- **鍬・柄**(図44~51) 平鍬を図44~47に、狭鍬を図48・50、又鍬を図48~50、広鍬を図49に示す。 鍬を構成する部材として図47下に泥除け、図50・51に柄を示す。狭鍬3644には、柄3644が装着され た状態で出土した。鍬とするものの1/2近くは49層の出土、1/4が23層出土。
- **鋤・柄**(図51・52) いずれも一木鋤である。刃先の広狭、形状に幅がある。5589は、握把部の再加工品で、尖端部を削りだしている。
- 柄振・田下駄(図51・52)柄振2727は、柄を装着した状態で出土した。装着状態を復原図示するが、 楔の上下は不明。柄振本体に柄の形状に合わせた抉り込みがある。また柄の切欠きは、鍬柄とは逆の 位置が深い。
- **杵・槌**(図53・~56) 図53・54に大形、図54・55に小形の資料を示す。大形の2262は柄の形状から両頭の杵と考えられる。小形の資料は、搗面が平滑もしくは球面状にならないものがあり、側面に敲打痕を残すものと合わせて砧(小形の横槌)とする(1861・2237・3706・5802・12735)。図56の2575・5914・6291は横杵、掛矢5841は顕著な敲打痕を残す。6870は広く平滑な搗面をもつ。竪杵とするが、臼に対するものかは不明。
- 籍・尖頭器(図57~59)長尺細身の尖頭器を籍(やす)とする。大半がイスノキを材に使用するものと見える。先端部に片側の切欠き、全周する削り込みにより、逆刺を作り出すものがある。基部の片側あるいは両側を削ぎ取り薄くするものがあり、束ね合わせて放射状に開く先端部を構成するための加工と考えられる。籍5707には基部近くに切欠き部があり、結束用の加工ともとれるが、他資料には見られない。籍以外に径が大で、先端が箆状に薄くなり、基部端を丸く削るもの(7812・5279・5978・1305)、両端を薄く削ぐもの(7051・7613)などがある。
 - 網枠・櫂(図60)枠部分の他、枠部が分岐する位置の柄(6772)、枠の結束部(4509)がある。
- 斧柄・鎌柄・工具柄・鞘(図61・62) 斧柄の台は、金属斧の袋部を受ける形状に整形される。本地点では横斧が多い。5209は、鶴嘴状の端部に整形されている点得意である。鞘7079は、平滑な端面が残り、鞘口部分か。
- 工具類・火鐟臼(図63)5979・7065は、全長の1/2程の部分を広く厚い板状に整形する。1858は、板状の材の一端を臍状に削りだし、片側と他端に顕著な磨耗部が残る。5525・7449・5748は土器の器面調整具かとする資料である。前2者は両端部が磨耗、彎入している。スギ材。5748は端部を上に置いた位置で右側に当たる縁部が顕著に磨耗し、側面観では形成された稜線がSの字状にねじれる。アカガシ材。火鐟臼は、未使用のもの(1876)、部分的に使用したもの(5695・3802・7583)がある。
- **紡錘車**(図63・64) 中央部が僅かに厚い形状が多いが、片側がより膨隆するものがあり、その程度に変異がある。5288は、石製であるが、木製の軸が遺存する。図64に、未成品と思われる資料を掲げる。連接して整形を進めている。成品は紡錘車6295のような片側がより膨降する形状か。
- 武器・武具 (64・65) 5366・1236・3634は木鏃。1647・1648は楯の断片。2179は短甲の右前胴部分か。 側面に紐孔が残る。5646・4767・7340・8984は弓。後2者は断片で、赤色の顔料で塗彩されている。 容器 (図65~71) 12530・5351は刳り抜きの壺、2321は底部中央に穿孔がある。2664~4426は筒

形容器の部分。2664は体部斷片か、4426は底部、それ以外は蓋。11558・7449は壺を想定するが、全 形不明。6831・2722は筒形容器、1881・1862は桶部材。5895は脚付皿。12148・4635・6737は高坏脚 部。12732は脚付鉢、7101・5711・6383・7040は脚付槽。5727・3957は小形の槽。図68下は杓子。杓 子4411は未成品か。図69は杓文字。図70・71-5729は蓋。

家具(図71・72) 図71上・中段に示すのは案(机)部材。図72には刳り抜き椅子を示す。

服飾具(図72)5510は沓。7620は簪。4419・5583は竪櫛。5583は薄く、刃部は刻線。

装飾部材(図73)7037・2733ともに部材であるが、組み合わせの位置、原形不明。

人形·鳥形 (図73) 1866は取りか。6897は、線刻で顔を表現する。

部材ほか(図74・75) 図74は建築にかかる部材。1903は独楽形木製品。459は臍穴のある部材。 5610は留め具か。6460は組輪の掛かった棒材。12733は切断材。12734軸状突起ある断片。

(4) 土製品

少数が出土し、図89に示す。8666は、土製勾玉、1022・9086は卵形で、投弾とする。1552は丸玉、9081・8806は大小あるが円盤。5182は、紡錘車とする。孔径は小さく不整、側面形は山形を呈す。

(5) 石器・石製品

先土器時代・縄文時代の石器(図90) 8590は2側縁加工のナイフ形石器。4066以下12369までは石鏃。 9270・8658は石匙。

磨製石鏃・石斧 (図90) 3883は磨製石鏃。8603・4996は偏平片刃石斧。9384は柱状片刃石斧。

石包丁(図91)背の部分が直線状と曲線を成すものとがある。各段階の未成品を含む。

太型蛤刃石斧(図91中)完形の資料は無いが、製作各段階の資料が含まれる。

敲打刃器(図91下) 剥片縁部に剥離痕が連続するもの・打ち潰し状となるものが典型的であるが、 礫の縁辺にも同様の痕跡が残るもの(10105)があり、それも含めた。

紡錘車(図92上)厚い板状が大半、片側が膨隆する例(5221)がある。各段階の未成品を含む。

石錘(整形石錘)(図92下~94)紡錘形(図92)・涙滴形(図93上)・鐘形・環形(図94上)に分類できる。各段階の未成品を含む。紡錘形の石錘は、溝の位置により、縦溝・横溝・縦横溝の分類をすることができる。環形とする石錘は、厚薄の変異がある。

石錘(礫石錘)(図94中)素材礫により角柱形、平形2分類できる。側縁中央部を打ち欠く。極大 形の例(9519)がある。平形は更に上下編を打ち欠く交差形のものがある。

浮子(図94)素材軽石に穿孔(1292・8692)、切欠きを行い(9507・12043)、紐掛かりを設ける。

砥石(図95) 平形と角柱形とがある。平形の12524・12525には、溝状の窪みが形成されている。 砥石10343・10345・10349・8677は鋳型転用と思われる。3180は大形で、広く平滑な凹面が形成されて、 石皿とする。

鳥形(図95)1287は滑石材。。頭部の表現が先述した木製鳥形(1366(図73)に似る。

石杵(図96)454以下10344まで、何れも、研磨により、図上の下面が平滑な面となっている。454 下面には赤色顔料が遺存する。10344は他資料が砂岩成であるのに対して玄武岩製。研磨面と見た部 分は節理面の可能性もある。厚い礫11676の上面は、平坦な平滑面で、僅かに赤色顔料が残る。石杵 と組み合わせ使用した石皿か。

(6) 玉類

図95に玉未成品、製作残滓を示す。2294は青色のガラス小玉。図示しないが極小径のガラス小玉が限られた範囲から多数出土した。R2341以下は、碧玉素材の角柱状の加工品である。一見すると石核であるが、剥片となるものの規模が小さく、角柱状に整形されているようにもみえる。玉素材か。

3. 外来系土器について

今宿五郎江遺跡の中でも第11次調査地点から朝鮮半島系土器が最も多く出土している。今宿五郎江遺跡・大塚遺跡からは楽浪系土器約40点と三韓系瓦質土器約20点が出土しているが、それらは95%以上が環濠集落域周辺に集中しており、さらにその8割以上が11次調査出土である。また、外来系の弥生土器の出土も多く、本章で合わせて報告することにする(第36~39図、表15~17)。

(1) 楽浪系土器 (第36図)

図化28点、未図化4点出土している。いずれも灰色泥質胎土で、個体識別が難しいが、25個体前後はあるとみられる。全て鉢(椀)類である。法量は口径11.6~17cm、底径6.9~10cm器高6cm前後の小型のものが多いが、8608は底径12cm、9442は底径15.4cm前後とやや大型である。出土層位は環濠周辺の上層から上面の包含層であり、弥生終末期前後の土器が多い層である。

調整は、内外面凹凸のある回転ナデ、底面は静止糸切で、外底面〜底側部を手持ちケズリで調整している。風化しているものが少なくないが、基本的に内外面黒化処理が施されている。内面に暗文が確認されるもの(141、1986、3732、8602、8994、9051)、外底面にX字状のへラ記号(3702)や円形刺突(8606)のあるものなどがある。暗文(沈線に近いものもある)は斜行の放射線文が多いが、3732は底面に斜格子文も施されている。口縁形態を中心に、以下のように大きく3つに分類することができる。

A類(口縁端部が内傾気味で、単純口縁から肥厚するものを含む。法量等でも細分可): 3702、8607、9203、12984

B類(口端部はA類に準じるが、口縁下と胴中位に突帯状の稜線を作出):8604、3625、3732、3314、8994

C類(口縁がL字状に外方へ突出):8660、8602、9438、8664、192、9202

C類は楽浪土城出土土器(谷1985他)にあるが、B類はなく、A類も楽浪土城のものとは、器形等違いが目立つ。「帯方郡の土器」が多いのではないかと推測しているが、その区別については今後の課題である。博多湾沿岸では糸島地域を中心にA~C類の各類例が出土しているが、今宿五郎江遺跡は明らかにこの器種に特化しており、優品を含むことから、「伊都国」内における交易品の集積地であり、市場であったことがうかがえる(森本2010)。

(2) 三韓系瓦質土器と陶質土器(第37図)

三韓系瓦質土器は図化12点、未図化4点出土しており、10個体前後とみられる。出土層位は楽浪系土器と同様である。また、陶質土器が1点出土している。9056が、陶質土器大型鉢である。「く」字状口縁であるが、端部に面があり、先端が垂下気味である。4世紀前後、古墳前期段階の、他の瓦質土器よりは新しいものとみられる。

瓦質土器は716と8605を除き、全て縄目タタキの壺である。8501・7621の個体は頸部周辺から底部付近までの破片が出土している。頸部が比較的すぼまっており、胴部に沈線等がみられない。同様のタイプは12次調査でも出土している。

716は半島中西部系、平底タイプの小型甕(鉢)とみられ、3世紀前後に位置づけられるものである。 格子目タタキの瓦質土器はこの716と8605のみであった。

(3) 外来系の弥生土器、土師器 (第38・39図)

12985、11782、11926、1382は、凹線(擬凹線)文を有する内傾口縁の瀬戸内系土器で、型式的に 弥生時代後期前半以前のものである(ただし、出土層位は環濠上層)。12985は胴部に瘤のある特異 な壺である。内面は、ケズリでなく、西部瀬戸内系とみられる。11782は比較的精製の作りで、器壁も薄い。口頸内面の凹線や胴部内面のケズリが頸部まで及んでいないことからも、中部瀬戸内ではⅣ様式の型式となる。1382は白っぽい胎土で、頸部下が列点文風となっており、山陰寄りのものとみられる。

9078・9054は櫛描波状文の施された広口長頸壺で、10次の7533と同一型式のものである。弥生後期後半から終末期前半の西部瀬戸内系とみられる。

8788、4049は山陰系壺、12377、8812は山陰系の小型壺や甕、9528、9085は山陰系甕、11867、11862、9164は山陰系鼓形器台、9278は山陰系低脚杯である。8812は弥生後期後半の可能性があるが、多くは弥生時代終末期以降の型式で、9085は古墳前期前半の型式である(古墳前期前半以降のものは他にも一定量出土)。鼓形器台は厚手粗製で、脚台の方が受け部の段より径が大きいので、搬入品ではなく在地産とみられる。低脚杯も、胎土は外来的であるが、器面調整が粗く、在地産と考えられる。9091は近畿系の垂下口縁広口小型壺で、竹管文や櫛描波状文が施される弥生後期の型式である。胎土は「チョコレート色」生駒西麓のものに近いように見受けられる。

2661は垂下口縁の器台で、脚部の円形透孔は、縦位に2個並び、横位には段違いとなるよう配置されている。やや大型の器台で、近畿西部と西部瀬戸内が候補地であるが、柱状の脚部形態から北近畿の影響が及んだ播磨地域周辺のものとみられる。弥生後期末から終末期であろう。

9079は細かい櫛描文や貝殻列点文を特徴とする精製の小型壺または高杯である。野方久保遺跡、元岡桑原遺跡群、唐津の千々賀遺跡等に類例がある。類例から身下部に重心と稜線がある器形とみられる。文様は山陰等の外来系とみられるが、類似する器形のものを他地域には見出し難い。9206も細線による鋸歯文や羽状文等を特徴とする精製の鉢で、豊前や肥後等にも類例がある。これも文様は瀬戸内等、外来系のものとみられる。9184は脚部に刻目突帯状の段を有する低脚の高杯である。系譜が明確でないが、外来的要素をもつ高杯である。9185は櫛描波状文を有する複合口縁壺で、搬入品かどうかは明確でないが、豊前との関連がうかがえる。8308も「遠賀川以東系」の跳上口縁の甕で、弥生中期後半の型式である。9483は縦長の透孔を有する器台脚部で、「肥前型」とみられる。近隣では、三雲遺跡群で複数個体の肥前型器台が出土しており、大塚遺跡や谷遺跡では有明海沿岸系譜の高杯が出土している。9204、4924は耳状の把手と片口を有する浅鉢形である。瀬戸内や豊前等で出土している、朱の精製用煮沸器に類例を求めることができる。本例には赤色顔料が付着していないものの、12次調査で朱の付着した破片が出土しているほか、L字形を含む赤色顔料精製用の石杵が11次調査等でも出土しているので、遺跡内で朱の精製が行われていたことは間違いない。

748は布留系の甕で、古墳前期初頭の型式である。今宿五郎江遺跡では、後続型式の布留系甕が多いので、稀少型式として報告したものであるが、福岡平野産の可能性がある。

11次調査出土の外来系土器には弥生後期前半型式の瀬戸内系土器等もあり注目される。後期後半から終末期に増加するが、10次、12次調査地点などでも外来系弥生土器がまとまって出土しており、河内系を含む近畿系の垂下口縁広口壺、西部瀬戸内系の壺や高杯、山陰系の壺、甕、器台、東海系の壺、高杯などがみられる。本州広域から土器が入っている状況は、朝鮮半島系土器からもうかがえる対外交易の拠点遺跡としての性格ゆえであろう(森本2013)。

朝鮮半島系土器について、金武重氏、寺井誠氏(大阪歴史博物館)、久住猛雄氏(福岡市)よりご 教示を得ました。末筆ながら御礼申し上げます。

(森本幹彦)

【参考文献】

谷豊信1985「楽浪土城址出土の土器 (中)」『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』4

寺井誠2007「日本列島出土楽浪系土器についての基礎的研究」『古文化談叢』第56集

寺井誠2009「一の町遺跡および糸島地域出土の朝鮮半島系土器」『一の町遺跡発掘調査概要』志摩町教育委員会

森本幹彦2010「玄界灘沿岸地域における朝鮮半島系土器の様相 2 一弥生時代後期前後の楽浪系土器と三韓系土器の様相一」 『日本出土の朝鮮半島系土器の再検討~弥生時代を中心に~』第59回埋蔵文化財研究集会

森本幹彦2013「博多湾沿岸域における外来系土器の様相」『平成25年度九州考古学会総会』研究発表資料集

3 自然科学分析

今宿五郎江遺跡第9次・10次・11次調査出土資料について、自然化学分析を委託実施した。分析は 平成21年度・24年度・25年度実施した。

分析内容は、平成21年度、今宿五郎江第9次・10次調査出土炭化物の放射性炭素年代測定(1)及び第11次調査出土礫の岩石薄片鑑定(2)、24年度、第11次調査出土炭化材の放射性炭素年代測定(3)、25年度、第11次調査出土木製品の樹種同定(4)である。以下分内容別に報告する。分析・報告者については文頭に記す。

1. 今宿五郎江第9次・10次調査出土炭化材の放射性炭素年代測定 パリノ・サーヴェイ株式会社

(1) 試料

試料は、今宿五郎江遺跡 9 次調査で出土した炭化材 2 点(試料番号6122、6132)と10次調査で出土した炭化材 1 点(試料番号1895)の合計 3 点である。各試料の調査番号、遺構、出土層位などは、結果を示した表 1 に併記する。

(2) 分析方法

土壌や根など目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後HClにより炭酸塩等酸可溶成分を除去、NaOHにより腐植酸等アルカリ可溶成分を除去、HClによりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する(酸・アルカリ・酸処理)。

試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(Π)と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じきり、500°C(30分)850°C(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにて CO_2 を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製した CO_2 と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650°Cで10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、NEC製コンパクトAMS・1.5SDHを用いる。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に13C/12Cの測定も行うため、この値を用いて δ 13Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma;68%)に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV5.02(Copyright 1986-2005 M Stuiver and PJ Reimer)を用い、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。暦年較正とは、大気中の14C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の14C濃度の変動、及び半減期の違い(14Cの半減期5,730 ± 40年)を較正することである。暦年較正は、CALIB 5.02のマニュアルにしたがい、1年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値を用いて行う。また、北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用い、測定誤差 σ 、2 σ 双方の値を計算する。 σ は統計的に真の値が68%の確率で存在する範囲、2 σ は真の値が95%の確率で存在する範囲である。表中の相対比とは、 σ 、2 σ の範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。較正された暦年代は、将来的に暦年較正曲線等の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表された値を記す。

(3) 結果

同位体効果による補正を行った測定結果を表 1 に示す。試料番号6122は2,075 ± 20BP、試料番号6132は3,065 ± 25BP、試料番号1895は1,980 ± 20BPであった。

各試料の較正暦年代を表 2 に示す。測定誤差 σ の年代でみると、試料番号6122は紀元前 2 世紀中頃 ~紀元前 1 世紀中頃、試料番号6132は紀元前14世紀、試料番号1895は紀元前1世紀末~紀元後 1 世紀中頃となる。藤尾(2009)に示されている九州北部の編年表に従えば、試料番号6122の年代は弥生時代中期後半に相当し、試料番号6132の年代は縄文時代後期末頃、試料番号1895の年代は弥生時代後期初頭頃の年代にそれぞれ相当する。

表1 放射性炭素年代測定結果	经年代測定結果	放射性炭素等	表1
----------------	----------------	--------	----

調査次	調査	試料	遺構	出土層位	種類	補正年代	δ 13 C	Code No.
H-J-L->	番号	番号	20	H = / E	H	BP	(‰)	
今宿五郎江9次	0255	6122	4	23層	木炭	$2,075 \pm 20$	-27.03 ± 0.13	10853-1
今宿五郎江9次	0255	6132	427	36層	木炭	$3,065 \pm 25$	-29.28 ± 0.11	10853-1
今宿五郎江10次	0420	1895	427	16層	木炭	1,980 ± 20	-26.39 ± 0.14	10853-1

- 1) 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用。
- 2) BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
- 3) 付記した誤差は、測定誤差 σ (測定値の68%が入る範囲) を年代値に換算した値。

※ 試料番号は遺物登録番号。

表2 暦年較正結果

火 4 / 白牛	似山阳木															
試料番号	補正年代 (BP)						暦年	羊較 」	E年代	(cal)					相対比	Code No.
		σ	cal	ВС	148	_	cal	ВС	141	cal	BP	2,098	_	2,091	0.075	
6122	$2,074 \pm 20$	0	cal	BC	111	-	cal	BC	48	cal	BP	2,061	_	1,998	0.925	10853-1
		2 σ	cal	BC	166	-	cal	BC	43	cal	BP	2,116	_	1,993	1.000	
		σ	cal	BC	1,389	-	cal	BC	1,313	cal	BP	3,339	_	3,263	1.000	
6132	$3,066 \pm 23$	2 σ	cal	BC	1,408	-	cal	BC	1,289	cal	BP	3,358	_	3,239	0.961	10853-2
		20	cal	BC	1,282	-	cal	BC	1,269	cal	BP	3,232	_	3,219	0.039	
		σ	cal	BC	18	-	cal	BC	14	cal	BP	1,968	_	1,964	0.037	
1895	$1,982 \pm 22$	0	cal	AD	0	-	cal	AD	55	cal	BP	1,950	_	1,895	0.963	10853-3
		2 σ	cal	ВС	39	_	cal	AD	66	cal	BP	1,989	_	1,884	1.000	

- 1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV5.02(Copyright 1986-2005 M Stuiver and PJ Reimer)を使用
- 2) 計算には表に示した丸める前の値を使用している。
- 3) 1 桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1桁目を丸めていない。
- 4) 統計的に真の値が入る確率は σ は68%、 2σ は95%である。
- 5) 相対比は、 σ 、 2σ のそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

※ 試料番号は遺物登録番号。

2. 今宿五郎江第11次調査出土礫の岩石薄片鑑定

パリノ・サーヴェイ株式会社

(1) 試料

試料は、今宿五郎江遺跡11次調査で出土した礫 5点(調査番号0531、試料番号11753~11757)である。いずれも破損した円礫であり、径 5~10cm程度である。外観からは、花崗岩類、砂岩、緑色岩、火山岩などそれぞれ異なる岩種であることが推定される。各試料の出土遺構および出土層位などは、結果を示した表 3 に併記する。また、試料の外観を図 4 に示す。

(2) 分析方法

薄片観察は、岩石を0.03mmの厚さに研磨して薄片にし、顕微鏡下で観察すると、岩石を構成する鉱物の大部分は透光性となり、鉱物の性質・組織などが観察できるようになるということを利用している。

薄片を作製するために試料をダイヤモンドカッターにより22×30×15mmの直方体に切断して薄片用のチップとする。そのチップをプレパラートに貼り付け、#180~#800の研磨剤を用いて研磨機上で厚さ0.1mm以下まで研磨する。さらに、メノウ板上で#2500の研磨剤を用いて正確に0.03mmの厚さに調整する。プレパラート上で薄くなった岩石薄片の上にカバーガラスを貼り付けたものが、観察用の薄片となる。薄片は偏光顕微鏡を用い、下方ポーラーおよび直交ポーラー下において観察記載を行う。

(3) 結果

鏡下における各構成物の量比は、薄片上の観察面全体に対して多量(\bigcirc : >50%)、中量(\bigcirc : 20~50%)、少量(\triangle : 5~20%)、微量(+: <5%) およびきわめて微量(\pm : <1%) という基準で目視により判定した。鏡下における代表的な箇所については、方ポーラーおよび直交ポーラー下において写真撮影を行い、写真図版として添付した。以下に、各試料の観察記載結果について述べる。

1) 0531-11753

岩石名: 黑雲母角閃石花崗閃緑岩

岩石の組織:完晶質花崗岩状組織 (holocrystalline granitic texture)

主成分鉱物

石英:中量存在し、粒径最大1.21mmの他形で不定形状を呈し、斜長石や苦鉄質鉱物の粒間を埋める。径0.3mm以下の細粒なものが大部分を占めている。

カリ長石:少量存在し、粒径最大3.5mmの他形で不定形板状を呈し、マイクロクリン双晶が発達する。石英、長石類、黒雲母、角閃石の粒間を埋める産状を示す。

斜長石:中量存在し、粒径最大3.3mmの半自形~他形で板状~不定形板状を呈し、集片双晶が発達する。カリ長石と接する部分においてはミルメカイト組織が発達する。配向性を示して分布するものが散見される。

黒雲母: 少粒存在し、粒径最大0.25mmの他形で不定形柱状を呈し、淡褐色~暗褐色の多色性を示す。斜長石と同様な弱い配向性を示すものが認められる。

角閃石:少量存在し、粒径最大1.72mmの他形で不定形板状を呈し、淡褐色~緑褐色の多色性を示す。細粒な石英をポイキリティックに包有するものが散見される。

副成分鉱物

燐灰石: きわめて微量存在し、粒径最大0.17mmの半自形~他形で六角柱状~不定形状を呈し、角

閃石や黒雲母と接して分布する。

チタン石: きわめて微量存在し、粒径最大0.37mmの他形で不定形楔状~不定形柱状を呈し、褐色を示す。不透明鉱物、黒雲母、角閃石などと接して分布する。

褐廉石: きわめて微量存在し、粒径最大0.25mmの他形で不定形柱状を呈し、淡褐色~暗褐色の多色性を示す。

ジルコン: きわめて微量存在し、粒径最大0.22mmの半自形~他形で柱状を呈し、淡褐色を示す。 角閃石や黒雲母と接して分布する。

不透明鉱物:微量存在し、粒径最大0.28mmの他形で不定形状を呈し、角閃石と接して散在する。 変質鉱物

セリサイト: きわめて微量存在し、粒径最大0.06mmの他形で針状~不定形板状を呈し、斜長石を 交代する。

緑廉石: きわめて微量存在し、粒径最大0.27mmの他形で不定形柱状を呈し、無色透光性~淡黄色を示して斜長石を交代する。

炭酸塩鉱物: きわめて微量存在し、粒径最大0.41mmの他形で不定形状を呈し、斜長石のコアを交 代する。

2) 0531-11754

岩石名:細粒砂岩

岩石の組織:砕屑状組織 (clastic texture)

鉱物片

石英:少量存在し、粒径最大0.27mmの他形で破片状を呈して散在する。円磨度の低いものが大部分を占めている。

斜長石:少量存在し、粒径最大0.36mmの他形で板状〜破片状を呈し、集片双晶が発達する。セリサイト化しているものが散見される。

白雲母:きわめて微量存在し、粒径最大0.07mmの他形で薄板状を呈する。

角閃石: きわめて微量存在し、粒径最大0.74mmの他形で板状〜破片板状を呈し、淡緑色〜淡褐色の多色性を示す。

単斜輝石: 微量存在し、粒径最大0.48mmの他形で柱状~不定形柱状を呈し、淡緑色を示す。結晶 内部の割れ目に沿って粘土鉱物化しているものが散見される。

不透明鉱物:微量存在し、粒径最大0.29mmの他形で不定形柱状~不定形状を呈する。

岩片

デイサイト: きわめて微量存在し、粒径0.55~1.15mmで亜円礫状を呈し、角閃石の斑晶が認められ、石基は珪長質鉱物および変質鉱物の緑泥石で埋められる。

安山岩:少量存在し、粒径0.10~0.49mmで亜円礫~亜角礫状を呈し、斜長石の微斑晶を含み、石基はインターサータル組織を示す。

基質

粘土:少量存在し、粒径最大0.002mmで微細粒状~不定形状を呈し、砕屑片の粒間を埋める。

緑泥石:微量存在し、粒径最大0.03mmの他形で繊維束状を呈し、淡緑色を示す。

緑廉石: 微量存在し、粒径最大0.14mmの他形で不定形柱状~不定形状を呈し、淡黄色~淡褐色の 多色性を示す。砕屑片の粒間に点在する。

酸化鉄:少量存在し、隠微晶質で微細不定形状を呈し、暗褐色を示して基質中に広範に分布する。

肉眼的な褐色の色調の原因物質となっている。

3) 0531-11755

岩石名:アクチノ閃石緑色岩

岩石の組織:交代状組織 (replacement texture)

主成分鉱物

斜長石:少量存在し、粒径最大1.55mmの他形で不定形板状を呈し、無双晶で波状消光を示す。一部、集片双晶を示すものも認められる。

アクチノ閃石:中量存在し、粒径最大3.1mmの他形で針状~不定形板状を呈し、淡褐色~淡緑色の多色性を示す。弱い定向配列を示して分布する。板状を呈するものは径0.5mm以上の比較的粗粒なものが主体となっているのに対し、針状を呈するものは、板状結晶のリムに分布する。

緑廉石: 微量存在し、粒径最大0.33mmの半自形~他形で柱状~不定形状を呈し、淡黄色~淡緑色を示す。針状のアクチノ閃石と共生して散在する。

副成分鉱物

不透明鉱物: きわめて微量存在し、粒径最大0.05mmの他形で不定形粒状を呈し、アクチノ閃石に 包有される。

変質鉱物

炭酸塩鉱物: きわめて微量存在し、粒径最大0.22mmの他形で不定形状を呈して点在する。 水酸化鉄: きわめて微量存在し、粒径最大0.01mmの他形で微細不定形状を呈して点在する。

4) 0531-11756

岩石名:かんらん石玄武岩

岩石の組織:インターグラニュラー組織(intergranular texture)

斑晶

単斜輝石: きわめて微量存在し、粒径0.3~0.57mmの他形で柱状~不定形柱状を呈し、淡褐色を示す。累帯構造や波状消光を示すものが認められる。

かんらん石:少量存在し、粒径0.3~1.32mmの半自形~他形で不定形柱状~不定形粒状を呈し、無色~淡褐色を示す。結晶表面部からイディングサイト化が進行しており、結晶表面部は褐色を呈している。結晶内部には不規則な割れ目が発達する。

石基

斜長石:中量存在し、粒径最大0.16mmの半自形~他形で柱状~不定形柱状を呈し、集片双晶が発達する。弱い定向配列を示して分布する。

単斜輝石:中量存在し、粒径最大0.3mmの他形で柱状を呈する。淡褐色を示して石基斜長石の粒間に散在する。斑晶と同様に波状消光を示すものが散見される。細粒な不透明鉱物と共生して径0.8mm以下のオパサイト状の柱状~粒状集合体を形成しているものも認められる。

かんらん石:微量存在し、粒径最大0.3mmの他形で柱状~不定形粒状を呈し、無色~淡褐色を示して石基中に点在する。斑晶と同様にややイディングサイト化しているものが多い。

不透明鉱物:少量存在し、粒径最大0.26mmの半自形~他形で四角形、六角形または粒状~不定形 粒状を呈して散在する。

変質鉱物

水酸化鉄:微量存在し、隠微晶質で微細不定形状を呈し、褐色を示してかんらん石を汚染している。

5) **0531-11757**

岩石名:黒雲母ホルンフェルス

岩石の組織:砕屑状組織(clastic texture)

鉱物片

石英: 微量存在し、粒径最大0.09mmの他形で破片状~粒状を呈し、散点状に分布する。やや円磨されているものが多い。鉱物片として含まれる。

カリ長石: きわめて微量存在し、粒径最大0.06mmの他形で不定形板状を呈し、無双晶でマイクロパーサイト組織を示す。

斜長石: きわめて微量存在し、粒径最大0.09mmの他形で不定形板状を呈し、無双晶でやや汚濁している。

燐灰石: きわめて微量存在し、粒径最大0.04mmの他形で破片柱状を呈する。

ジルコン: きわめて微量存在し、粒径最大0.04mmの他形で粒状を呈する。淡褐色を示し、円磨状を呈する。

基質

黒雲母:多量存在し、粒径最大0.14mmの他形で板状〜微細不定形板状を呈し、淡褐色〜褐色の多色性を示す。砕屑片の粒間を密に埋めている。

緑廉石: 微量存在し、粒径最大0.10mmの他形で不定形柱状~不定形状を呈し、淡褐色を示す。結晶度はきわめて不良で、微細不定形状粒子が集合して点在する。

不透明鉱物: 微量存在し、粒径最大0.02mmの他形で微細粒状〜微細不定形状を呈して点在する。 クラック

微量存在し、幅最大0.08mmで薄片上に5状程度分布し、連続性は良好で30mm以上のものも認め られる。

(4) 考察

ここでは、日本の地質「九州地方」編集委員会(1992)、久保ほか(1993)および唐木田(1994)などの既存資料により、今回鑑定された各岩石が今宿五郎江遺跡の周辺を分布域とするか否かについて検討してみたい。

0531-11753の黒雲母角閃石花崗閃緑岩は、九州北部では糸島花崗閃緑岩と呼ばれる岩体として背振 山地から糸島半島まで広く分布している。本遺跡周辺では、糸島平野東側の長垂山に部分的に分布し、 糸島平野南側の山地斜面にも糸島花崗閃緑岩が分布する。さらに、後述する今宿五郎江遺跡の北東方 に位置する今山も基部は、糸島花崗閃緑岩により構成されている。これらの分布状況から、黒雲母花 崗閃緑岩は、糸島平野周縁の山地から比較的容易に入手できる石材であると言える。

0531-11754の細粒砂岩については、糸島平野周辺に堆積岩類の分布はなく、最も近い分布域として 福岡平野西側の鴻巣山丘陵や福岡平野東側の東平尾丘陵などがあげられる。これらの丘陵は、いずれ も古第三紀の始新世や漸新世に堆積した砂岩や礫岩などから構成されている。

0531-11755のアクチノ閃石緑色岩および0531-11757の黒雲母ホルンフェルスは、九州北部では三郡変成岩に伴われる岩石であると推定される。三郡変成岩が広く分布する地域は、その名が示す福岡平野北東方に広がる三郡山地と福岡県西部の背振山地であるが、糸島平野周辺でも能古島および今津半島に分布が認められている。本遺跡から出土した試料は、これら周辺地域の三郡変成岩に由来する可能性がある。

0531-11756のかんらん石玄武岩の産地としては、本遺跡の北西方約2kmに位置する今山の頂上部

に見られるアルカリ玄武岩を第一の候補としてあげることができる。今山産の玄武岩は、弥生時代の 石斧の石材に使用されているといわれている。なお、同質の玄武岩は、能古島にも広く分布しており、 今山の玄武岩との区別はつかない。

以上述べたように、今回対象試料とされた礫は、細粒砂岩を除けば概ね周辺域で入手できる石材であると言うことができる。細粒砂岩については、最短でも10km程度の移動を伴っていることが推定される。今後とも、糸島平野に分布する弥生時代遺跡における石材の資料を蓄積することができれば、石材の入手という生業活動の一端の実態がさらに明らかになるものと期待される。

引用文献

藤尾慎一郎 2009 弥生時代の実年代 西本豊弘編 新弥生時代のはじまり 第4巻 弥生農耕のは じまりとその年代 雄山閣 9-54.

唐木田芳文・富田宰臣・下山正一・千々和一豊 1994 福岡地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1図幅) 地質調査所 192p.

久保和也・松浦浩久・尾崎正紀・牧本 博・星住英夫・鎌田耕太郎・広島俊男 1993 20万分の1地 質図幅 福岡 地質調査所.

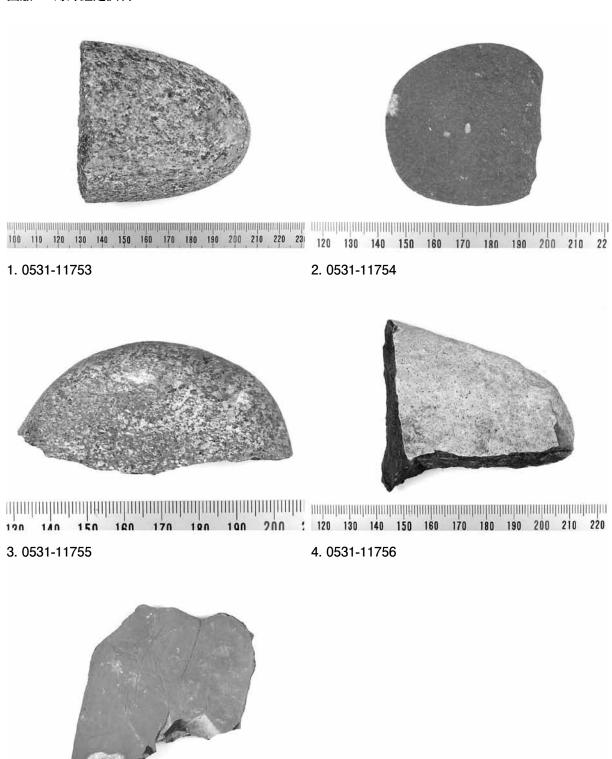
日本の地質「九州地方」編集委員会 1992, 日本の地質 9 九州地方, 共立出版, 371p.

表3 岩石薄片鑑定結果

調査次	調査番号	試料番号	遺構	出土層位	種類	鑑定結果(岩石名)
今宿五郎江11次	05311	11753	1565	19層	礫	黒雲母角閃石花崗閃緑岩
今宿五郎江11次	05311	11754	1203	44層	礫	細粒砂岩
今宿五郎江11次	05311	11755	1203	11層	礫	アクチノ閃石緑色岩
今宿五郎江11次	05311	11756	1203	48層	礫	かんらん石玄武岩
今宿五郎江11次	05311	11757	1527		礫	黒雲母ホルンフェルス

※ 試料番号は遺物登録番号。

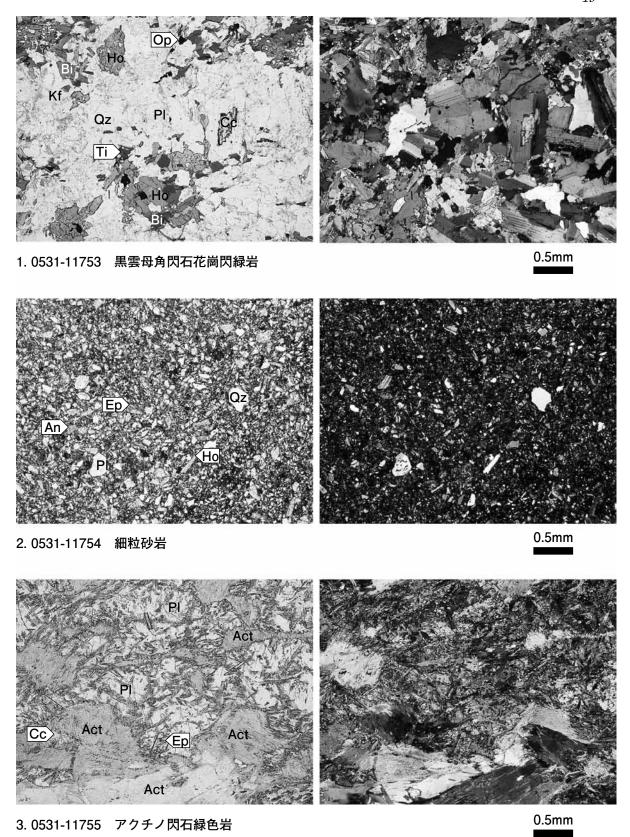
図版1 薄片鑑定試料



5. 0531-11757

80 90 100 110 120 120 140 150 160 170 180 190 200 210 220 2

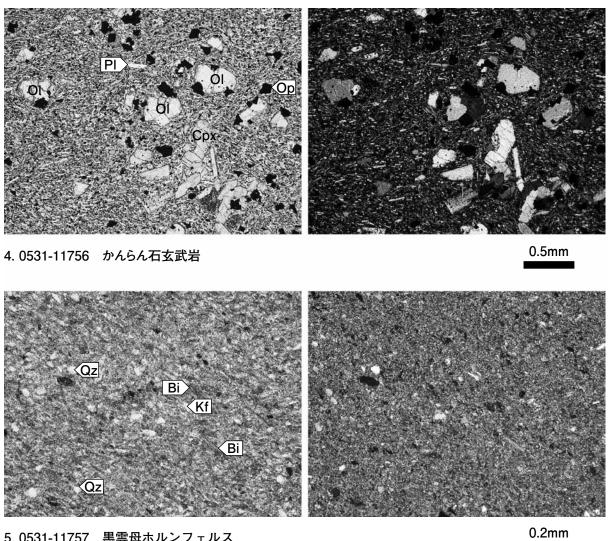
図4 薄片鑑定試料



Qz:石英 Kf:カリ長石 Pl:斜長石 Bi:黒雲母 Ho:角閃石 Act:アクチノ閃石 Ep: 緑廉石

Ti: チタン石 Op: 不透明鉱物 Cc: 炭酸塩鉱物 An: 安山岩 写真左列は下方ポーラー、写真右列は直交ポーラー下。

図5 薄片(1)



5. 0531-11757 黒雲母ホルンフェルス

Qz:石英 Kf:カリ長石 Pl:斜長石 Ol:かんらん石 Cpx:単斜輝石 Bi:黒雲母

Op:不透明鉱物

写真左列は下方ポーラー、写真右列は直交ポーラー下。

図6 薄片(2)

3. 今宿五郎江第11次調査出土炭化材の放射性年代測定

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

今回の分析調査では、今宿五郎江遺跡11次調査区で検出された弥生時代後期の遺物が出土する溝、および弥生時代中期後半の遺物が投棄されたような状態で出土する谷斜面部の包含層の形成年代に関する情報を得ることを目的として、AMS法による放射性炭素年代測定を実施する。

(1) 試料

試料は、弥生時代後期の遺物が出土する溝(M1204)の6層から出土した炭化材(No.1675)と、南へ深く入り込む谷部東岸に形成された遺物包含層(M1338)の42層から出土した炭化材(No.2923)の2点である。

(2) 分析方法

試料に土壌や根など目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後HClによる炭酸塩等酸可溶成分の除去、NaOHによる腐植酸等アルカリ可溶成分の除去、HClによるアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する(酸・アルカリ・酸処理)。

試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(Π)と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じきり、500°C(30分)850°C(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにて CO_2 を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製した CO_2 と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650°Cで10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に13C/12Cの測定も行うため、この値を用いて δ 13Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1,950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma;68%)に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.0.0 (Copyright 1986-2010 M Stuiver and PJ Reimer)を用い、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。

暦年較正とは、大気中の14C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の14C濃度の変動、及び半減期の違い(14Cの半減期5,730 \pm 40年)を較正することである。暦年較正に関しては、本来10年単位で表すのが通例であるが、将来的に暦年較正プログラムや暦年較正曲線の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表している。暦年較正結果は、測定誤差 σ 、2 σ (σ は統計的に真の値が68%の確率で存在する範囲、2 σ は真の値が95%の確率で存在する範囲)双方の値を示す。また、表中の相対比は、 σ 、2 σ の範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

(3) 結果

放射性炭素年代測定および暦年較正結果を表 4 に示す。同位体効果による補正を行った測定年代(補正年代)は、No.1675が $2,030 \pm 20$ BP、No.2923が $2,040 \pm 20$ BPを示す。また、誤差を 2σ で計算した暦年

較正結果(確率1)は、№1675がcal BC104-cal AD25(相対比0.999)、№2923がcal BC111-cal AD23(相 対比0.984) である。

なお、測定に用いた炭化材は、一部を分割して樹種同定を併せて実施した。いずれも広葉樹であり、 No.1675がクスノキ科、No.2923がスダジイに同定された。各種類の解剖学的特徴を以下に記す。

・スダジイ(Castanopsis cuspidata var. sieboldii (Makino) Nakai) ブナ科シイ属

環孔性放射孔材で、道管は接線方向に1-2個幅で放射方向に配列する。孔圏部は3-4列、孔圏 外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状 に配列する。放射組織は同性、単列、1~20細胞高。

・クスノキ科 (Lauraceae)

散孔材で、道管壁は薄く、横断面では角張った楕円形、単独または2~3個が放射方向に複合して 散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1~2細胞幅、1~20 細胞高。柔組織は周囲状および散在状。柔細胞には油細胞が認められる。

表4 万		炭素年	代測	定結果													
調査·試	遺構	材質	処理	測定年代	δ 13 C	補正年代 (暦年較正用)				曆年	較正	結果					CodeNo.
料番号	層位	種類	方法	BP	(‰)	BP	誤差	cal	BC/	'AD			c	al BP		相対比	Coderio.
No.0531	m1204	炭化材				$2,030 \pm 20$	σ	cal BC 52	-	cal AD	2	cal I	3P 2	2001 -	1948	1.00	IAAA-
No.1675	6層	クスノキ科	AAA	$2,\!090\pm20$	-28.53 ± 0.32	(2.032 ± 21)	2 σ	cal BC 104	-	cal AD	25	cal l	BP 2	2053 -	1925	0.999	122618
110.1070	0/6	/// 111				(2,002 = 21)	20	cal AD 44	-	cal AD	46	cal l	BP 1	1906 -	1904	0.001	122010
							σ	cal BC 87	_	cal BC	78	cal I	3P 2	2036 -	2027	0.117	
No.0531	m1388	炭化材	AAA	$2,080 \pm 20$	-27.27 ± 0.23	$2,\!040\pm20$	U	cal BC 55	_	cal AD	1	cal I	3P 2	2004 -	1949	0.883	IAAA-
No.2923	42層	スジダイ	AAA	2,000 ± 20	- 21.21 ± 0.23	$(2,038 \pm 22)$	2 σ	cal BC 154	-	cal BC	140	cal l	BP 2	2103 -	2089	0.016	122619
							20	cal BC 111	_	cal AD	23	cal 1	BP 2	2060 -	1927	0.984	

※ 試料番号は遺物登録番号

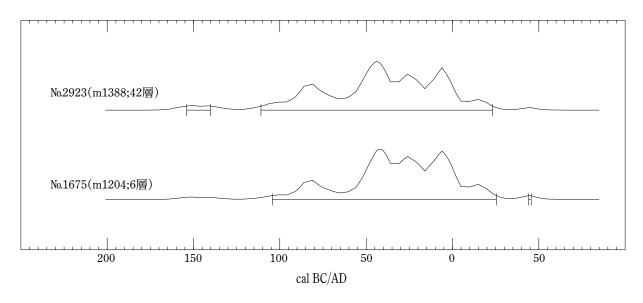


図7 歴年較正結果

¹⁾ 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用した。

²⁾ BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。付記した誤差は、測定誤差 σ (測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。

⁴⁾ 暦年の計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.0 (Copyright 1986-2010 M Stuiver and PJ Reimer) を使用した。暦年の計算に

(4) 考察

弥生時代後期の遺物が出土する溝(M1204)埋土 6 層から出土した炭化材(№1675)は、14 C 補正年代で2,030±20BP、暦年較正年代でcal BC104-cal AD25を示した。一方、谷斜面の弥生時代中期後半の遺物を伴う遺物包含層(M1338)の42層から出土した炭化材(№2923)は、補正年代で2,040±20BP、暦年較正年代でcal BC111-cal AD23を示した。これら2点の年代測定結果および暦年較正年代は、誤差範囲内で一致していた。また、これらの年代値は、北部九州の既存の測定事例(西本,2006)と比較すると、弥生時代中期末~後期初頭頃の年代値に相当している。

今回調査を実施した遺構は、出土遺物から見れば、若干の時期差が生じていることになるが、年代 測定結果からは有意な差をみいだすことができなかった。測定対象とした炭化材は、いずれも樹皮が 残存していない小破片であり、得られた測定値は実際の伐採・使用年代よりも古い年代を示している 可能性がある。そのため、ほぼ同時期の年代値を示した可能性がある。今後、各時期の土器付着物等 の年代測定による検証が必要と思われる。

引用文献

西本豊弘(編) 2006, 弥生時代の新年代 新弥生時代のはじまり第1巻 雄山閣 143p.

4. 今宿五郎江第11次調査出土木製品の樹種同定

小林克也(パレオ・ラボ)

(1) はじめに

高祖山麓の丘陵末端の、砂丘後背湿地への突出部に立地する今宿五郎江遺跡で出土した木製品について、樹種同定を行なった。

(2) 試料と方法

試料は、埋没した谷であるM1203から41点、凹地であるM1391から1点、凹地であるM1565から2点、凹地であるM2025から1点の、出土木製品45点である。時期については、発掘調査所見より、弥生時代後期~終末であると考えられている。各試料について、切片採取前に木取りの確認を行なった。生材の樹種同定では、材の横断面(木口)、接線断面(板目)、放射断面(柾目)について、カミソリで薄い切片を切り出し、ガムクロラールで封入して永久プレパラートを作製した。その後乾燥させ、光学顕微鏡にて検鏡および写真撮影を行なった。

(3) 結果

同定の結果、針葉樹であるカヤとマツ属複維管束亜属、スギの3分類群と、広葉樹であるノグルミとクリ、ツブラジイ、コナラ属アカガシ亜属(以下アカガシ亜属と呼ぶ)、コナラ属クヌギ節(以下クヌギ節と呼ぶ)、ムクノキ、クスノキ、クスノキ科、ツバキ属、サカキ、イスノキ、エゴノキ属、種不明の散孔材の13分類群の、計16分類群が産出した。

サカキが最も多く8点みられ、スギとクスノキが各5点、クリが4点、クヌギ節とムクノキ、イスノキが各3点、カヤとツブラジイ、アカガシ亜属、クスノキ科、ツバキ属が各2点、マツ属複維管束亜属とノグルミ、エゴノキ属、散孔材が各1点産出した。結果を表5に、一覧を付表6に示す。

次に、同定された材の特徴を記載し、図版に光学顕微鏡写真を示す。

1) カヤ Torreya nucifera (L.) Siebold et Zucc. イチイ科 図8 1a-1c (No.5351)

仮道管と放射組織で構成される針葉樹である。晩材部は薄く、早材から晩材への移行は急であるが、試料では 2 年輪をまたいで採取できなかった。放射組織は単列で、高さ $1\sim7$ 列となる。分野壁孔は小型のヒノキ型で、 $1\sim4$ 個みられる。また仮道管の内壁には 2 本 1 対のらせん肥厚がみられる。

カヤは暖温帯に分布する常緑高木の針葉樹である。材は比較的重硬で弾力性に富み、切削等の加工は容易で、水湿によく耐える。

2) マツ属複維管束亜属 Pinus subgen. Diploxylon マツ科 図8 2a-2c(No.12547)

仮道管と放射仮道管、放射組織、垂直および水平樹脂道で構成される針葉樹である。晩材部は厚く、 早材から晩材への移行は緩やかである。放射組織は、単列のものと、水平樹脂道を含む多列のものが みられる。分野壁孔は窓状で、放射仮道管の水平壁は内側に向かって鋸歯状に肥厚する。

マツ属複維管束亜属には、アカマツとクロマツがある。どちらも温帯から暖帯にかけて分布し、クロマツは海の近くに、アカマツは内陸地に生育する。アカマツもクロマツも材質は重硬で、切削等の加工は容易である。

3) スギ Cryptomeria japonica (L.f.) D.Don スギ科 図8 3a-3c (No.5525)

仮道管と放射組織、樹脂細胞で構成される針葉樹である。晩材部は厚く、早材から晩材への移行は緩やかである。放射組織は単列で、高さ1~9列となる。分野壁孔は大型のスギ型で、普通1分野に2個みられる。

スギは大高木へと成長する常緑針葉樹で、天然分布は東日本の日本海側に多い。比較的軽軟で切削などの加工が容易な材である。

4) ノグルミ Platycarya strobilacea Siebold et Zucc. クルミ科 図8 4a-4c(No.12530)

年輪のはじめに大型の道管が数列並び、晩材部では徐々に径を減じた道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織は短接線状となる。道管は単穿孔を有し、小道管の内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は同性で、 $1\sim5$ 列となる。

ノグルミは本州西南部、四国、九州に分布し、荒地や急傾斜地などに生育することの多い、陽樹の 落葉高木の広葉樹である。材はやや重く、割れにくい。

5) クリ Castanea crenata Siebold. et Zucc. ブナ科 図8 5a-5c(No.5895)

年輪のはじめに大型の道管が $1\sim3$ 列並び、晩材部では徐々に径を減じた道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は単列で同性となる。

クリは北海道の石狩、日高以南の温帯から暖帯にかけての山林に分布する落葉中高木の広葉樹である。材は重硬で、耐朽性が高い。

6) ツブラジイ Castanopsis sieboldii (Makino) Hatus. ex T.Yamaz. et Mashiba ブナ科 図8・9 6a-6c (No.7079)

年輪のはじめに大型の道管が不連続に1~3列並び、晩材部では急に径を減じた薄壁で角張った道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと集合放射組織がみられる。

スダジイは暖帯から亜熱帯に分布する常緑高木の広葉樹である。重さと強さは中庸で、やや耐朽性があるが、切削加工は困難でない。

7) コナラ属アカガシ亜属 Quercus subgen. Cyclobalanopsis ブナ科 図9 7a-7c(No.5748) 厚壁で丸い大型の道管が、放射方向に配列する放射孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと広放射組織がみられる。

表5 今宿五郎江第11次調査出土木製品の樹種同定結果

樹種/器種	斧柄	火鑽臼	刷毛目調整工具	横杵	紡錘車	網枠	網枠/部材	弓	鞘	盾	短甲	沓	櫛	簪	刳物壺	壺	高坏	盤	桶	筒形容器	筒形容器蓋	杓子	杓文字	案	椅子
カヤ						1										1									
マツ属複維管束亜属	1		_																						
スギ			2							1									1	1					
ノグルミ															1										
クリ																	1				1	1		1	
ツブラジイ									1																1
コナラ属アカガシ亜属			1																						
コナラ属クヌギ節	1			1																		1			
ムクノキ								2																	
クスノキ											1	1					1	1							
クスノキ科		2																							
ツバキ属													2												
サカキ	7						1																		
イスノキ					2									1											
エゴノキ属																							1		
散孔材																									
合計	9	2	3	1	2	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1

コナラ属アカガシ亜属は、材組織の観察では道管の大きなイチイガシ以外は種までの同定ができない。したがって、ここでのコナラ属アカガシ亜属はイチイガシ以外のアカガシ亜属である。アカガシ亜属にはアカガシやツクバネガシなどがあり、暖帯に分布する常緑高木の広葉樹である。材は重硬、強靭で耐水性があり、切削加工は困難である。

8) コナラ属クヌギ節 Quercus sect. Aegilops ブナ科 図9 8a-8c(No.5914)

年輪のはじめに大型の道管が1~2列並び、晩材部では径を減じた厚壁で丸い道管が、放射方向に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと広放射組織がみられる。

コナラ属クヌギ節にはクヌギとアベマキがあり、温帯から暖帯にかけて分布する落葉高木の広葉樹である。材は重硬で、切削などの加工はやや困難である。

9) ムクノキ Aphananthe aspera (Thunb.) Planch. ニレ科 図9 9a-9c (No.5733)

壁の厚い中型の道管が単独ないし2~3個複合して疎らに散在する散孔材である。軸方向柔組織は4列以上の帯状、周囲状である。道管は単穿孔を有する。放射組織は上下端1列が方形となる異性で、幅1~4列となる。放射組織内には菱形の結晶が見られる。

ムクノキは温帯の日当たりのよい適潤地を好み、海に近い所に比較的多い落葉高木の広葉樹である。 材の強さは中庸であるが、靭性があり割裂しにくい。切削加工等は中庸である。

10) クスノキ Cinnamomum camphora (L.) J.Presl クスノキ科 図9·10 10a-10c (No.5510)

単独ないし2~3個複合した中型の道管が、晩材部にかけて徐々に径を減じてゆく半環孔材である。 軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は上下端1列が方形となる異 性で、1~2列となる。また放射組織や木部繊維には、油細胞が確認できる。

クスノキは本州中南部、四国、九州などの暖帯から亜熱帯に分布する常緑高木の広葉樹である。材の堅さはやや軽軟~中庸で、切削加工等は容易である。また、材は精油分を含み水湿に強く、耐朽性、耐虫性が極めて高い。

11) クスノキ科 Lauraceae 図 9・10 11a-11c (No.1876)

やや小型の道管が単独ないし $2 \sim 3$ 個複合してやや疎らに散在する散孔材である。軸方向柔組織は周囲状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は上下端 1 列が直立する異性で、幅 $1 \sim 3$ 列となる。クスノキ科にはニッケイ属やタブノキ属、クロモジ属などがあり、暖帯を中心に分布する、主に常緑性の高木または低木である。

12) ツバキ属 Camellia ツバキ科 図10 12a-12c (No.4419)

角張った小型の道管がほぼ単独でやや密に散在する散孔材である。軸方向柔組織は短接線状となる。 道管は単穿孔を有する。放射組織は上下端1~3列が直立する異性で、幅1~3列となる。

ツバキ属にはヤブツバキやサザンカなどがあり、ヤブツバキは本州、四国、九州の温帯に、サザンカは山口県以南の温帯南部から亜熱帯に分布する常緑小高木の広葉樹である。材は重硬で、切削加工は困難である。

13) サカキ Cleyera japonica Thunb. ツバキ科 図10 13a-13c(No.5581)

小型の道管がほぼ単独で密に散在する散孔材である。道管は、20~30段程度の階段穿孔を有する。 放射組織は上下端2~4列が直立する異性で、1~2列となる。

サカキは日本海側で新潟県、太平洋側で関東以西の本州、四国、九州などの温帯から亜熱帯に分布 する常緑高木である。材は強靭、堅硬で、切削加工は困難である

14) イスノキ Distylium racemosum Siebold et Zucc. マンサク科 図10 14a-14c(No.3652)

小型の道管がほぼ単独でやや密に散在する散孔材である。道管は20~40段程度の階段穿孔を有し、内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は上下端1~3列が直立する異性で、幅1~2列となる。サカキは日本海側で新潟県、太平洋側で関東以西の本州、四国、九州などの温帯から亜熱帯に分布する常緑高木である。材は強靭、堅硬で、切削加工は困難である。

15) エゴノキ属 Styrax エゴノキ科 図10 15a-15c (No.6680)

小型の道管が単独ないし2~4個放射方向に複合してやや密に散在する散孔材である。軸方向柔組織は晩材部で線状となる。道管は10~20段程度の階段穿孔を有する。放射組織は上下端1~4列が直立となる異性で、幅1~4列となる。

エゴノキ属は温帯から亜熱帯の低山地、原野に分布する落葉小高木の広葉樹である。材はやや重くて靭性があり、切削加工などは容易である。

16) 散孔材 Diffuse porous wood

横断面で小型の道管がほぼ単独で散在するのが確認できたが、材の保存が悪くて接線断面が明瞭に確認できなかった。放射断面では、道管内に20~40段程度の階段穿孔がみられ、放射組織は上下端1~4列が直立する異性であった。そのため散孔材までの同定に留めた。

(4) 考察

最も試料数の多かった斧柄では、サカキが7点、マツ属複維管東亜属とクヌギ節が各1点みられた。またクヌギ節は横杵でも1点みられ、耐朽性を必要とする器種にみられた。サカキとクヌギ節は堅硬な樹種で、マツ属複維管東亜属も針葉樹の中では堅い部類に含まれる(伊東ほか,2011)。斧柄は強い負荷のかかる器種であり、堅硬な樹種を選択していたと考えられる。

他の堅硬な樹種では、アカガシ亜属が刷毛目調整工具でみられたが、それ以外にスギも2点みられた。木取りはいずれも柾目だが、スギの刷毛目調整工具は、土器の調整によって早材部が摩耗し、残存した晩材部によって特徴的な調整痕が残るようになっていた。アカガシ亜属の刷毛目調整工具は、調整による摩耗は確認できたが、特定の部位が残存するような摩耗はせず、全体的に摩耗していた。アカガシ亜属は堅硬であるのに対し、スギは軽軟な樹種である(伊東ほか、2011)。よって刷毛目調整工具では、異なる土器の調整痕を施すために、スギとアカガシ亜属という、材質の異なる2種類の樹種を選択利用していたと考えられる。

またイスノキでは紡錘車が2点と簪が1点みられ、ツバキ属では櫛が2点みられた。共に堅硬な樹種である(伊東ほか,2011)。北九州市金山遺跡VI区で出土した、弥生時代後期~古墳時代初頭の紡錘車はアカガシ亜属とイスノキ、櫛はイスノキがみられており、堅硬な樹種が選択されている(伊東・山田編,2012)。今宿五郎江遺跡でも堅硬な樹種が用いられ、同様の傾向を示した。

ムクノキでは、弓が2点と装飾部材が1点みられ、木取りはいずれも芯去削出であった。ムクノキの材は靭性があって割裂しにくく、加工性が中庸である(伊東ほか、2011)。弓はしならせるという動作が必要であり、そのため靭性の高いムクノキを利用したと考えられる。また割裂しにくく、ある程度加工性が良いため、装飾板として利用していた可能性がある。

クスノキは短甲と沓、高坏、盤、装飾板でみられた。クスノキは比較的軽軟だが加工性が良く、耐朽性、耐虫性が極めて高いという材質を持つ(伊東ほか、2011)。そのため長期間使用する木製品では、耐朽性が高いクスノキを選択していた可能性がある。福岡市の弥生時代後期~古墳時代初頭のカキ遺跡でも、クスノキは板や、刳物の椀や鉢といった木製品に利用されている(伊東・山田編、2012)。

九州地方の木製品の集成では、弥生時代中期の沓や弥生時代後期~古墳時代初頭の容器でのクスノ

キの利用や、竪櫛や紡錘車でイスノキやツバキ属の利用が報告されており(山口,2012)、今宿五郎 江遺跡における用材と同様の傾向を示した。しかし斧柄については、縄文時代晩期の北部九州地方で 石斧の斧柄に堅硬なアカガシ亜属が多く利用されることは確認されているが(山口,2012)、弥生時 代後期の傾向は不明であった。今回の斧柄の同定結果でも堅硬なサカキが多くみられ、弥生時代後期 の斧柄でも堅硬な樹種が好まれている可能性が高い。

引用文献

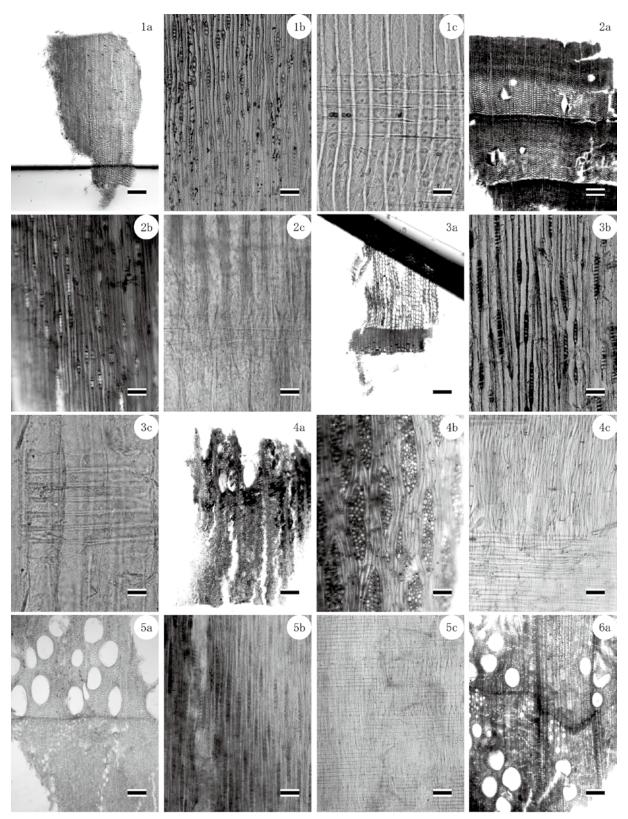
伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂(2011) 日本有用樹木誌 238p 青海社.

伊東隆夫・山田昌久編 (2012) 木の考古学 449p 青海社.

山口譲治(2012)九州・沖縄(1)一古代以前一 伊東隆夫・山田昌久編「木の考古学」;300-311 青海社.

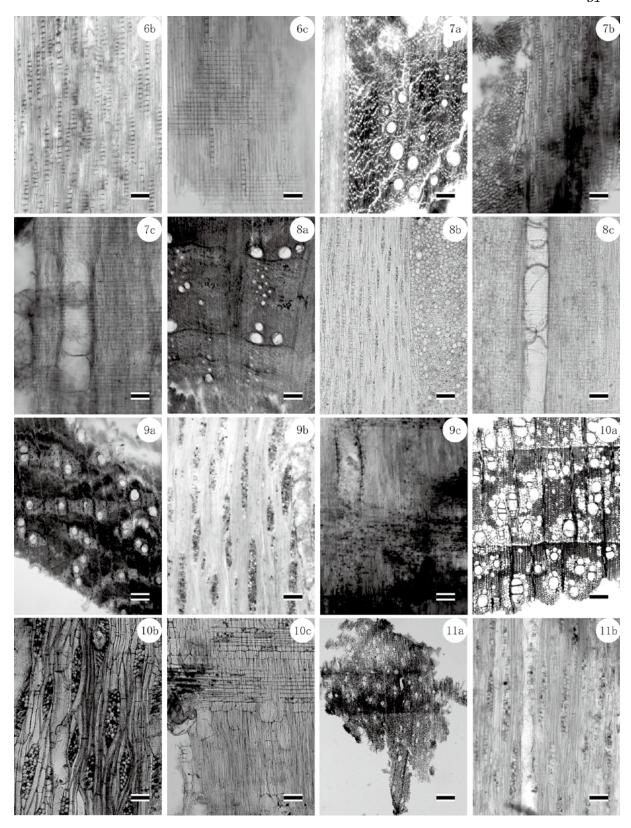
表6 今宿五郎江第11次調査出土木製品の樹種同定結果一覧

表6 今 No.	出土遺構	層位	器種		木取り	備 考 1	備 考 2
1647	M1203	23層	盾	スギ	追柾目	丹塗り盾	断片
1841	M1203	23層	盤	クスノキ	縦木取り	板状脚付盤	半ばを欠く
1842	M1203	23層	杓子	コナラ属クヌギ節	芯去削出		端部を欠く
1866	M1203	23層	鳥形	散孔材	芯去削出		部分を欠く
1876	M1203	23層	火鑽臼	クスノキ科	追柾目	未使用	一部を欠く
1881	M1203	23層	桶	スギ	板目	曲物底板/脚付/透かし入り	破片
2179	M1203	26層	短甲	クスノキ	追柾目	右前胴部材	袖部破片
2722	M1391	20/8	筒形容器	スギ	追柾目	白木刳り貫き	小破片
2947	M1203	44層	筒形容器/蓋	クリ	横木取り	漆塗	1/3破片
3652	M1203	28層	紡錘車	イスノキ	板目	未成品	完存
4419	M1203	19層	櫛	ツバキ属	柾目	竪櫛/挽き櫛	部分欠く、乾燥収縮
4767	M1565	19層	弓	ムクノキ	芯去削出		一端を欠く
5209	M1565	13)官		サカキ	芯去削出		末端部核
5351	M1203	45層	壺	カヤ	総木取り	台付	小破片
5510	M1203	45層	沓	クスノキ	板目	ווים	半ばを欠く
	M1203	45層	刷毛目調整工具	*	柾目	 凹型	年はを入く
5525						,	
5581	M1203	23層	斧柄	サカキ	芯持丸木		台部を部分的に欠く 櫛刃尖端を欠く
5583	M1203	23層	櫛ョ	ツバキ属	柾目	未成品/竪櫛	
5646	M1203	23層	弓	ムクノキ	芯去削出		一端を欠く
5647	M1203	23層	斧柄 北 オ コ	サカキ	芯持丸木	横斧膝柄	柄を欠く
5695	M1203	49層	火鑽臼	クスノキ科	芯持削出	II	一端を欠く
5696	M1203	49層	紡錘車	イスノキ	板目	片面膨隆	半ばを欠く
5733	M1203	49層	装飾部材	ムクノキ	芯去削出		部分的に欠く
5748	M1203	49b層		コナラ属アカガシ亜属	柾目 ## 七下 10	My Im-	ほぼ完存
5799	M1203		杓子	クリ	横木取り	斜め把手	杓子半ばを欠く
5828	M1203	49b層	斧柄	サカキ	芯持丸木	小型鉄斧横斧膝柄	中間部を欠く
5895	M1203	49b層	高坏	クリ	横木取り		坏部破片
5914	M1203	49b層	横杵	コナラ属クヌギ節	芯持丸木		柄端部を欠く
6318	M2025		案	クリ	板目	天板	半ばを欠く
6366	M1203	23層	斧柄	サカキ	芯持丸木		台部一部を欠く
6542	M1203	23層	椅子	ツブラジイ	芯去削出		脚部を含む小破片
6582	M1203	23層	斧柄	コナラ属クヌギ節	芯持丸木	袋状鉄斧用縦斧膝柄	柄の大部分を欠く
6772	M1203	23層	網枠/部材	サカキ	芯持丸木		柄基部破片
6787	M1203	49層	高坏	クスノキ	横木取り		脚部破片
6880	M1203	49層	杓文字	エゴノキ属	芯去削出		柄端部を欠く
6897	M1203	49b層	人形	コナラ属アカガシ亜属	芯持削出		部分的に欠く
7037	M1203	49b層	装飾板	クスノキ	柾目		一端を欠く
7079	M1203	49b層	鞘	ツブラジイ	追柾目		断片
7449	M1203	48層	刷毛目調整工具	スギ	柾目	凹型	腐食
7620	M1203	48層	簪	イスノキ	柾目	三本歯	頭部残存
12089	M1203	22層	斧柄	サカキ	芯持丸木	鉄斧縱斧膝柄	末端部欠く
12258	M1203	49b層(下)	斧柄	サカキ	芯持丸木	鉄斧用横斧膝柄	柄端部を欠く
12338	M1203	49層	網枠	カヤ	芯持丸木		半ばを欠く
12530	M1203	55層	刳物壺	ノグルミ	横木取り	無頸平底	端部を欠く
12547	M1203	11層	斧柄	マツ属複維管束亜属	芯持丸木	横斧膝柄	台部を部分的に欠く



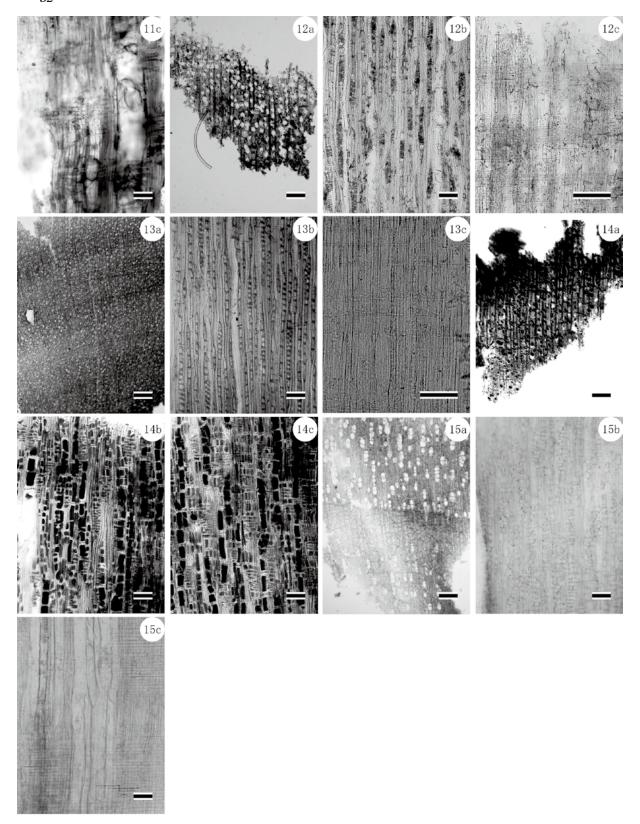
1a-1c.カヤ(No.5351)、2a-2c.マツ属複維管束亜属(No.12547)、3a-3c.スギ(No.5525)、4a-4c.ノグルミ(No.12530)、5a-5c.クリ(No.5895)、6a.ツブラジイ(No.7079) a:横断面 (スケール=250 μm)、b:接線断面 (スケール=100 μm)、c:放射断面 (スケール=1-3:25 μm・4-5:100 μm)

図8 今宿五郎江第11次調査出土木製品の光学顕微鏡写真(1)



6b-6c.ツブラジイ(No.7079)、7a-7c.コナラ属アカガシ亜属(No.5748)、8a-8c.コナラ属クヌギ節(No.5914)、9a-9c.ムクノキ(No.5733)、10a-10c.クスノキ(No.5510)、11a-11b.クスノキ科(No.1876) a:横断面(スケール=250 μ m)、b:接線断面(スケール=100 μ m)、c:放射断面(スケール=100 μ m)

図9 今宿五郎江第11次調査出土木製品の光学顕微鏡写真(2)



11c.クスノキ科(No.1876)、12a-12c.ツバキ属(No.4419)、13a-13c.サカキ(No.5581)、14a-14c.イスノキ(No.3652)、15a-15c.エゴノキ属(No.6880) a:横断面(スケール=250 μ m)、b:接線断面(スケール=100 μ m)、c:放射断面(スケール=100 μ m)

図10 今宿五郎江第11次調査出土木製品の光学顕微鏡写真(3)

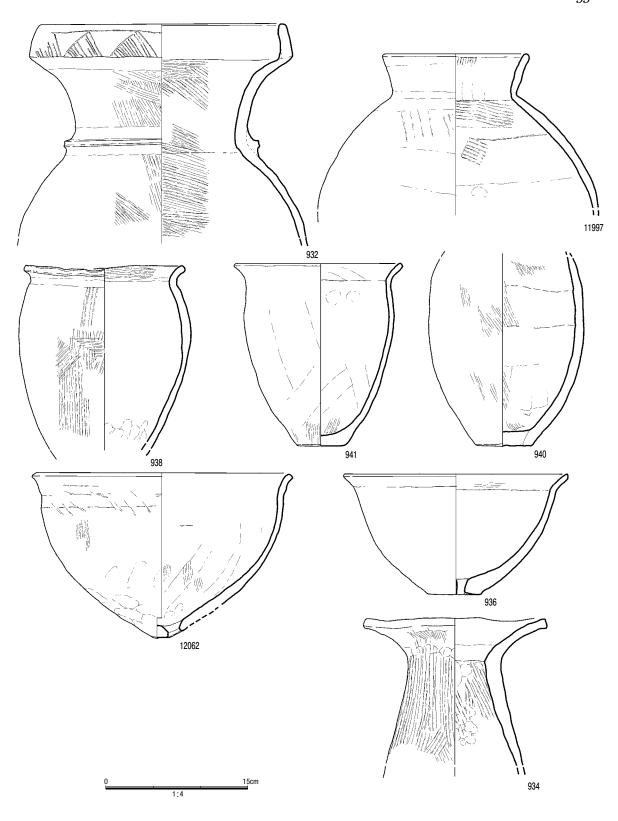


図11 谷1202 4層出土土器 (1:4)

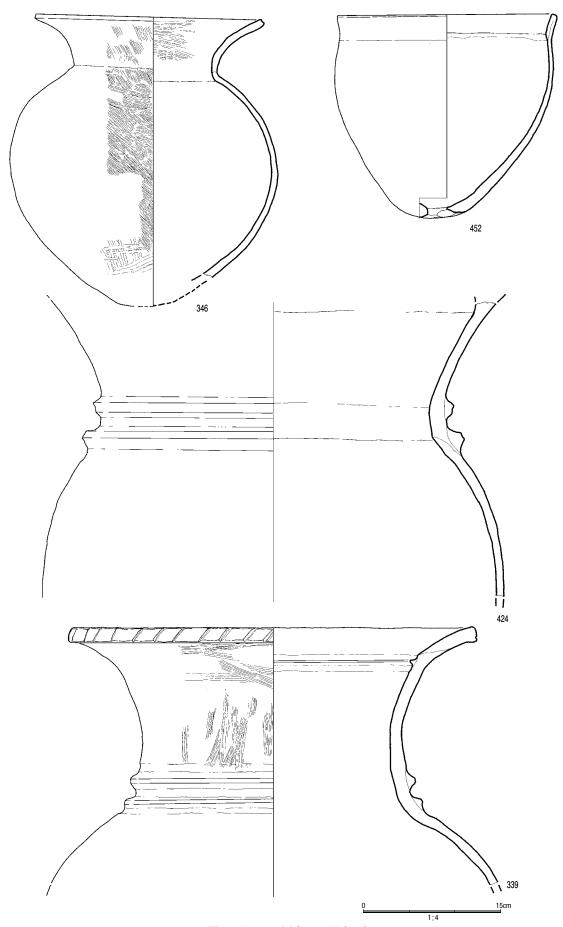


図12 谷1202 5層出土土器 (1:4)

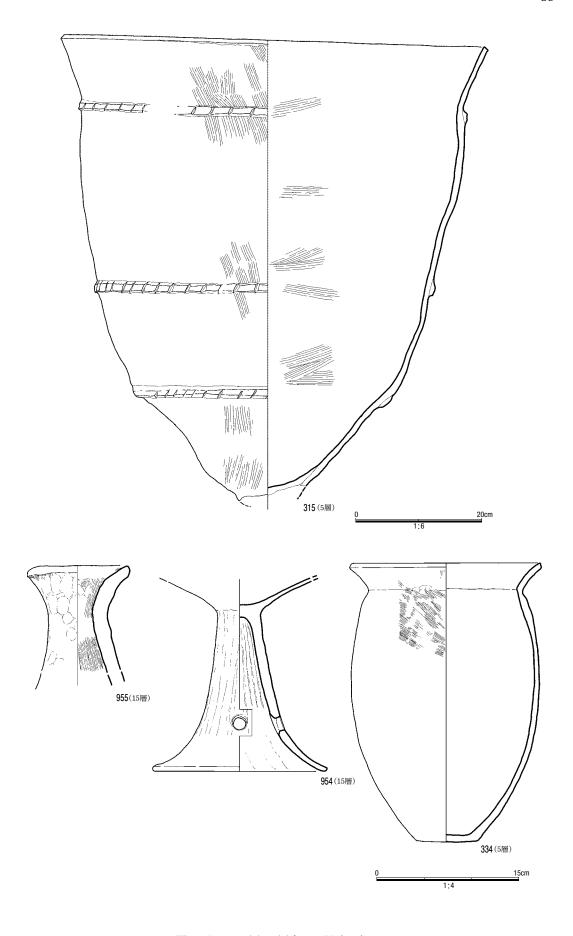


図13 谷1202 5層·15層出土土器 (1:4)

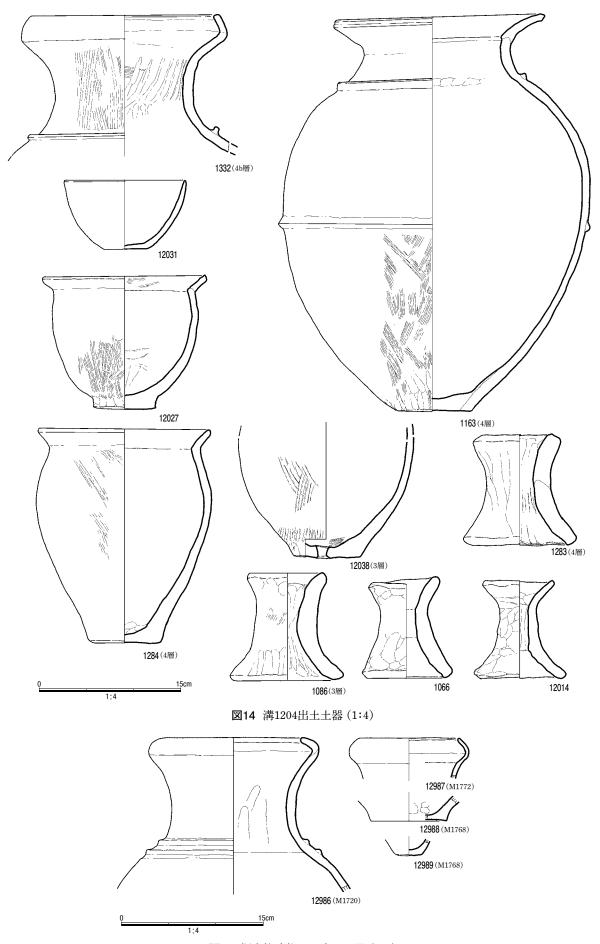


図15 掘立柱建物1831出土土器 (1:4)

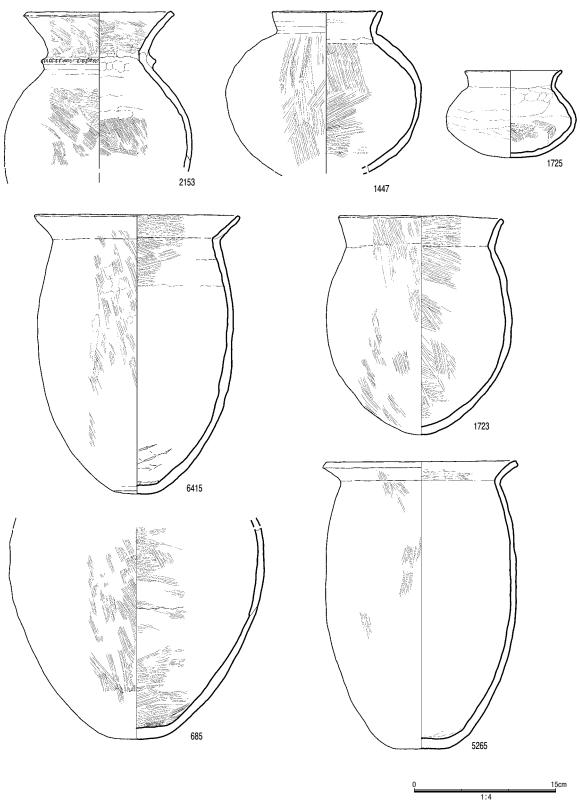


図16 谷1203 11層出土土器(1) (1:4)

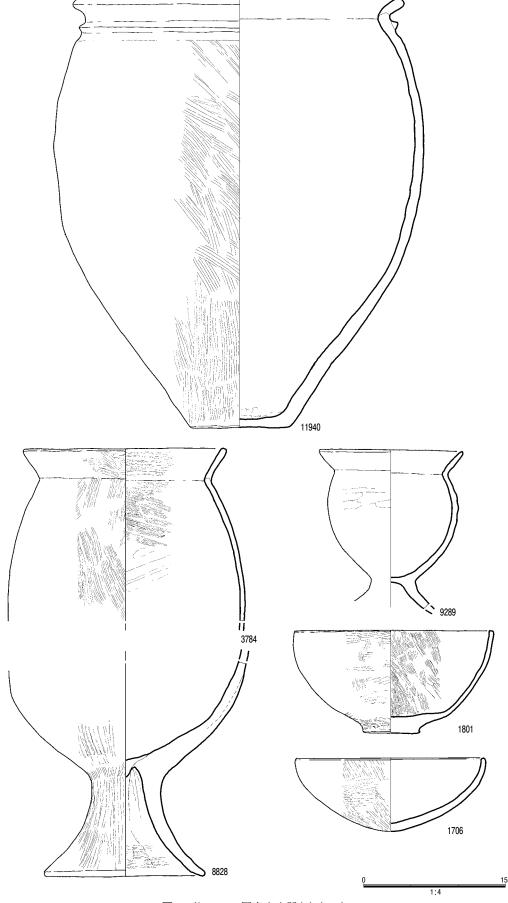


図17 谷1203 11層出土土器(2)(1:4)

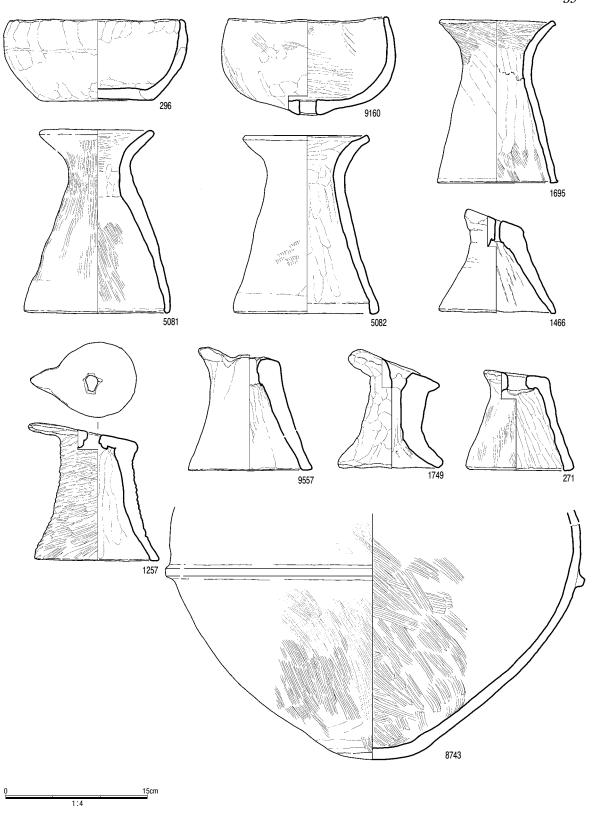


図18 谷1203 11層出土土器(3) (1:4)

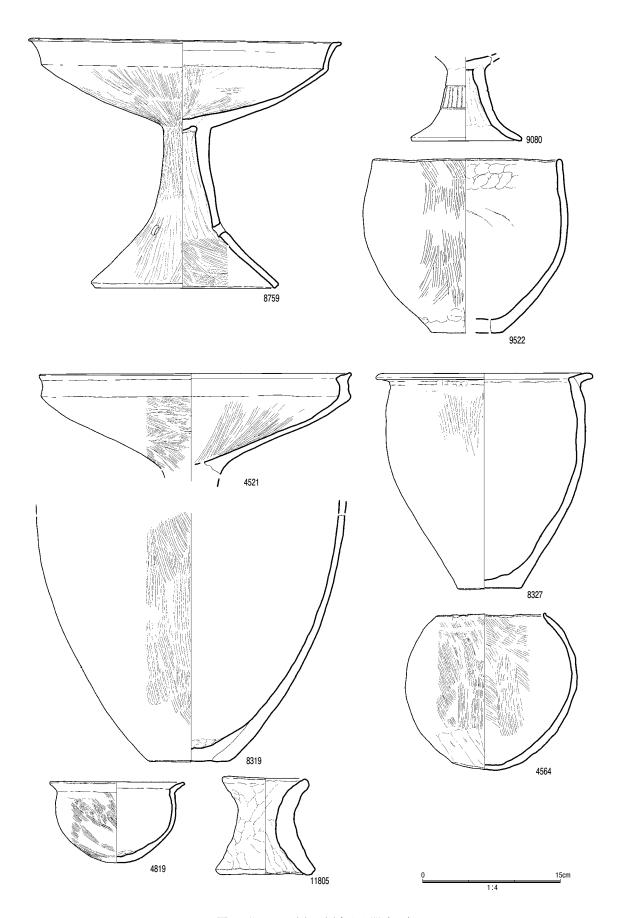


図19 谷1203 22層・19層出土土器 (1:4)

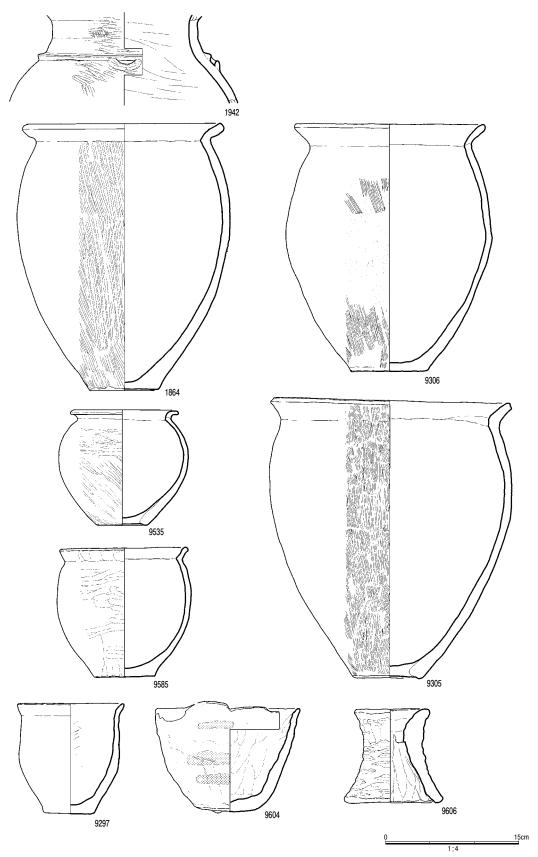


図20 谷1203 23層出土土器 (1:4)

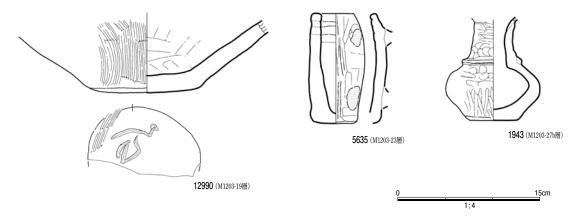


図21 谷1203 19層・27b層・39層出土土器 (1:4)

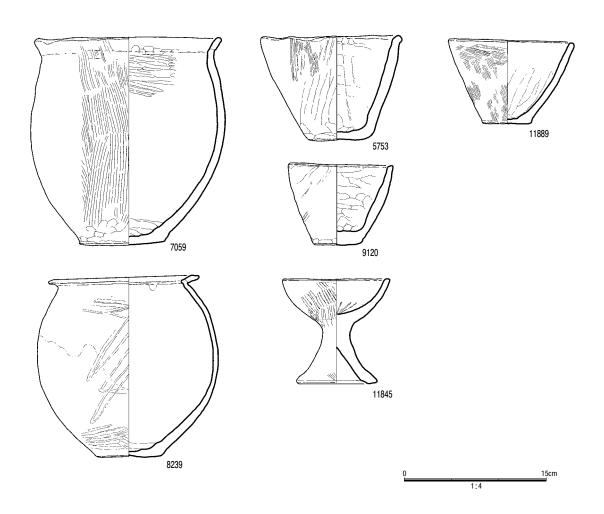


図22 谷1203 49層出土土器 (1:4)

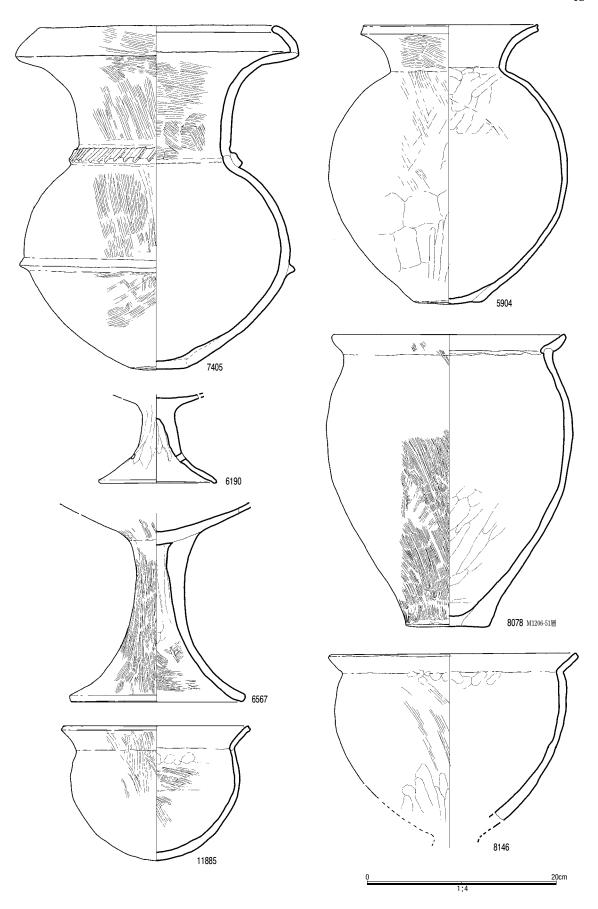


図23 谷1203 50層出土土器 (1:4)

M1203-50層

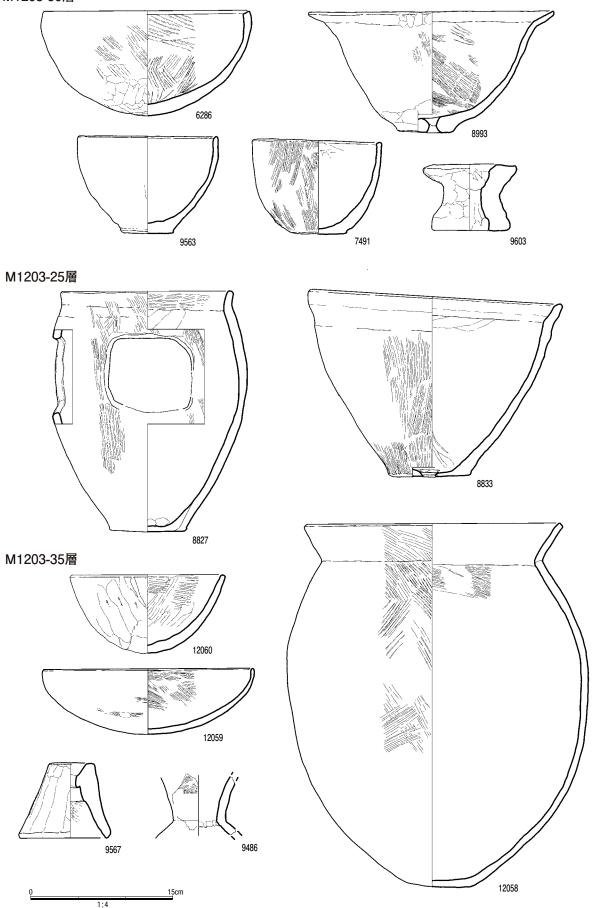


図24 谷1203 50層 • 25層 • 35層出土土器 (1:4)

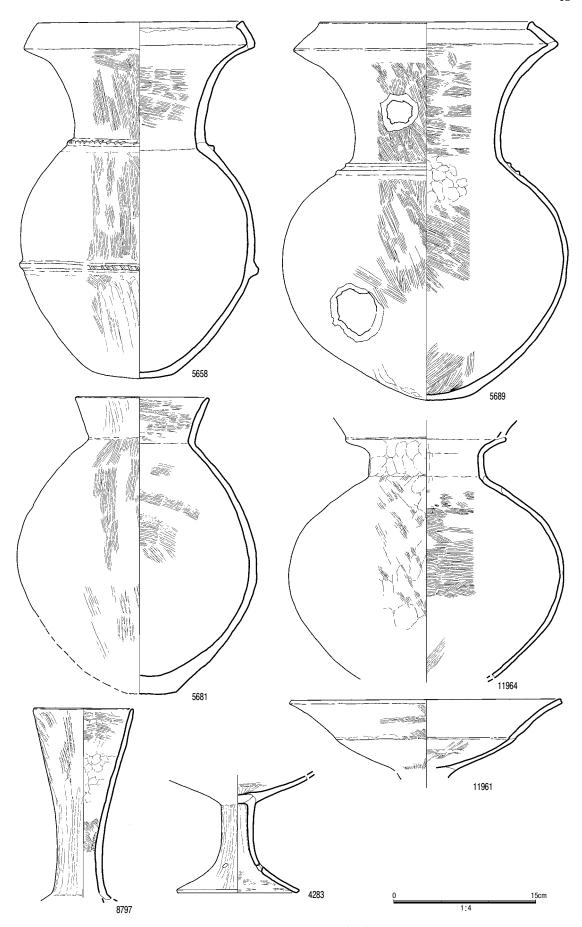


図25 谷1203 36層出土土器 (1:4)

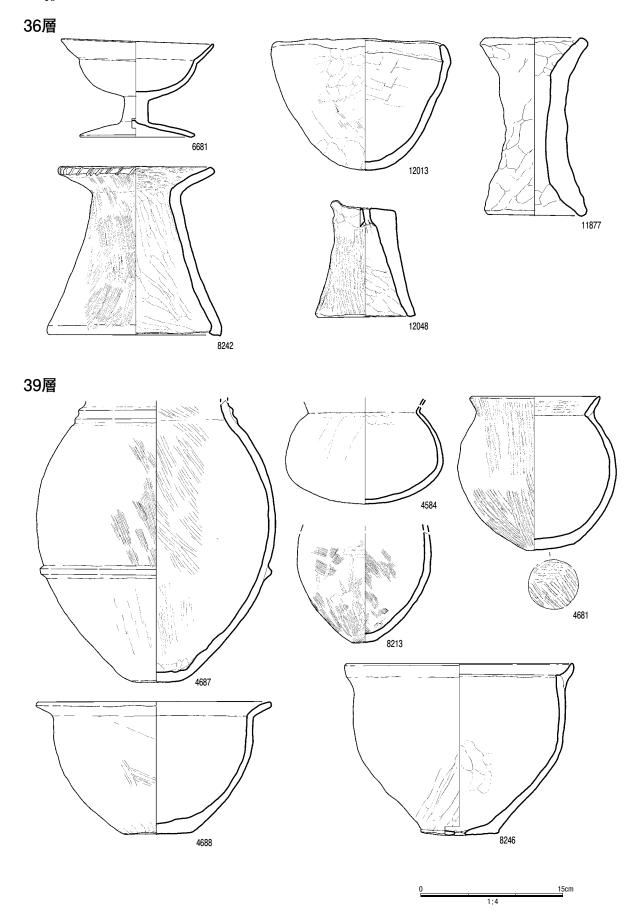


図26 谷1203 36層·39層出土土器 (1:4)

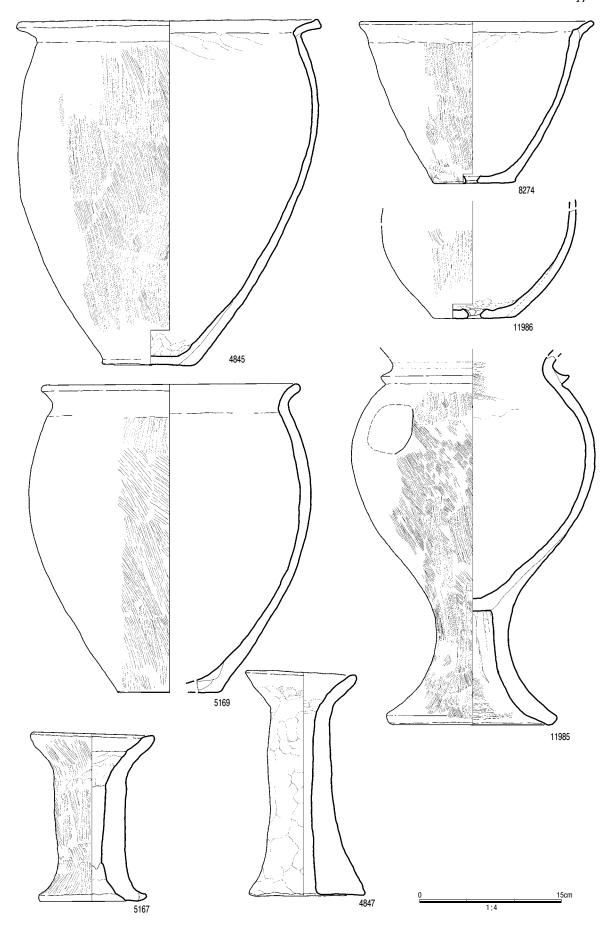


図27 谷1203 40層出土土器 (1:4)

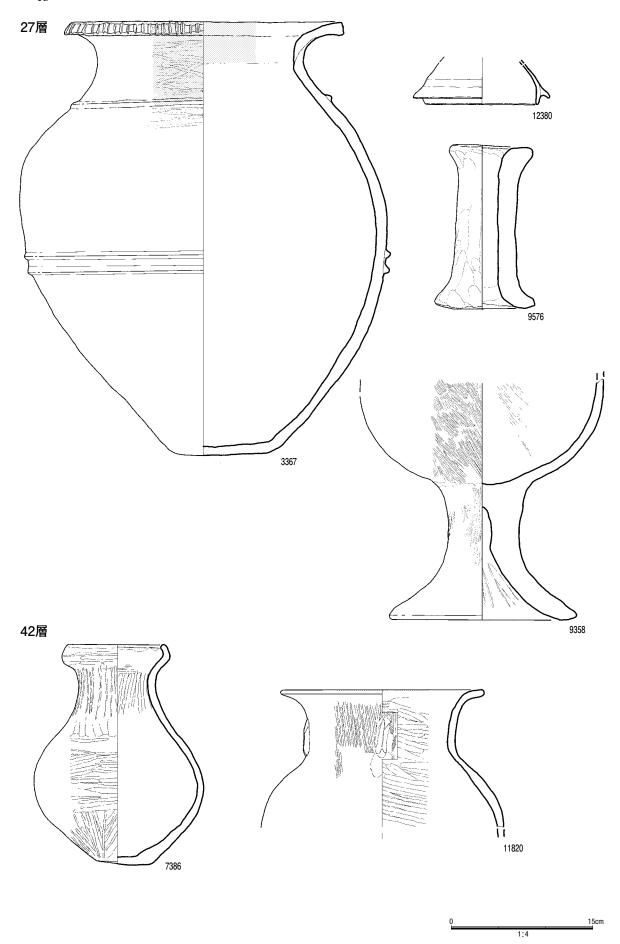


図28 谷1203 27層・42層出土土器 (1:4)

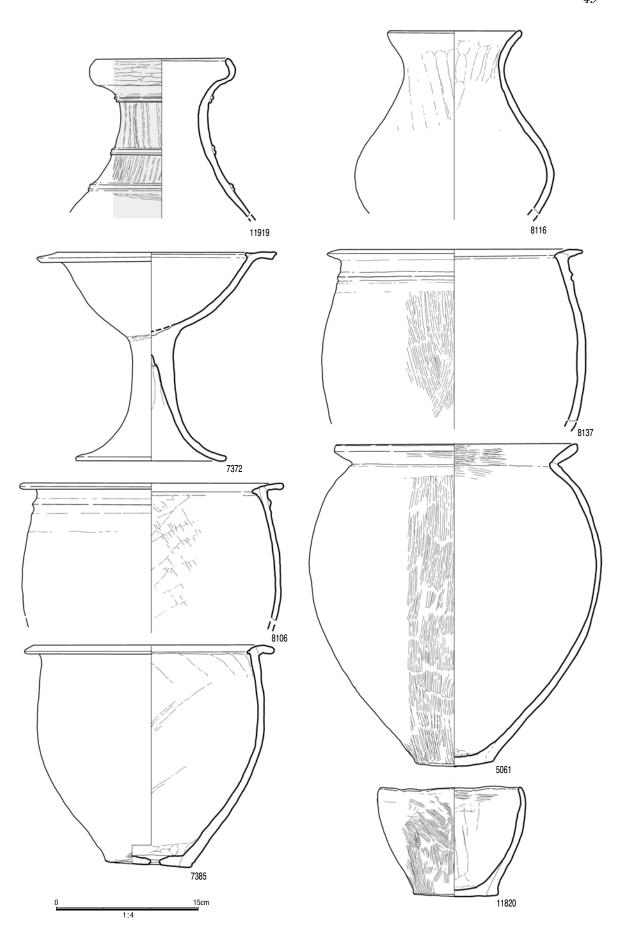


図29 谷1203 42層出土土器 (1:4)

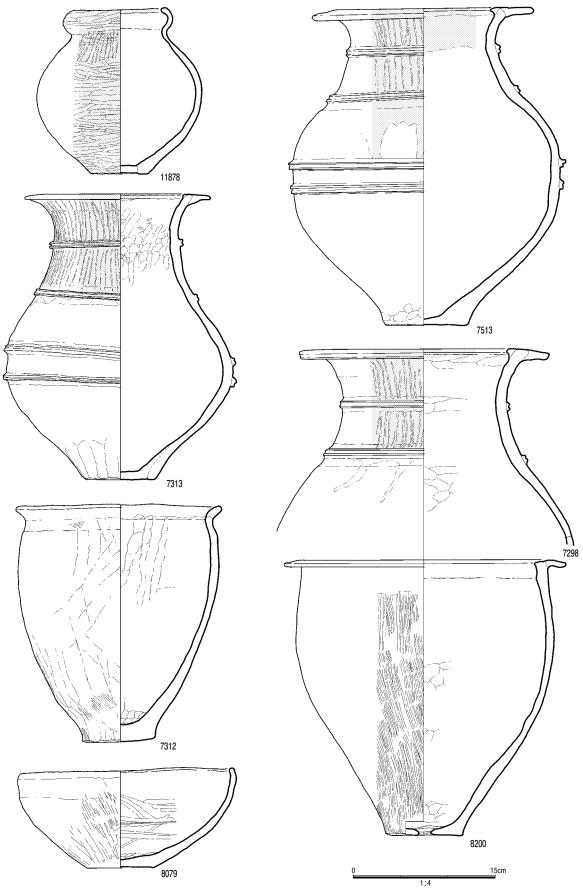


図30 谷1203 51層出土土器 (1:4)

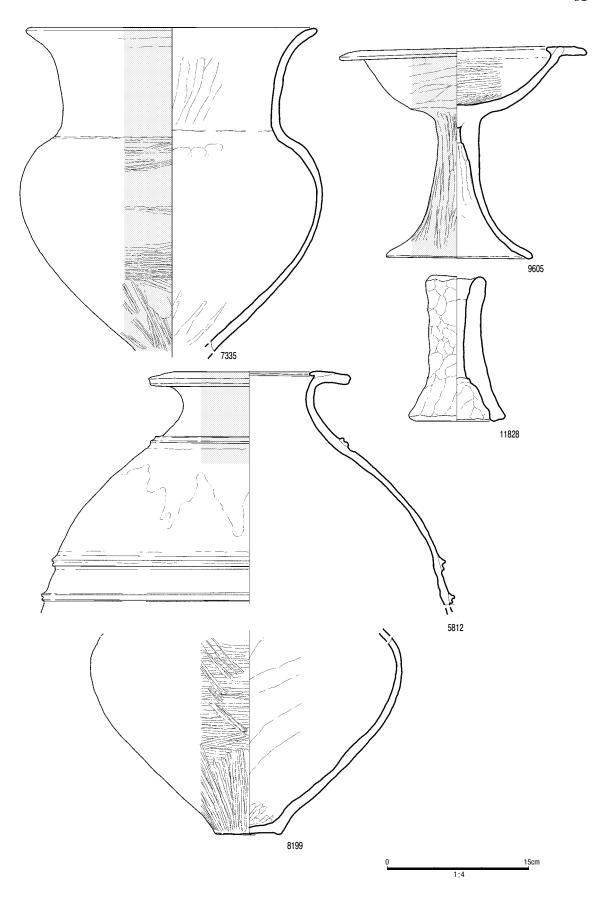
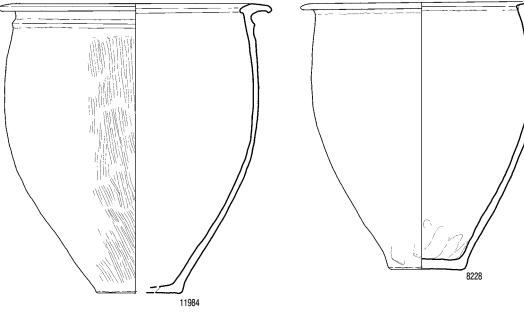
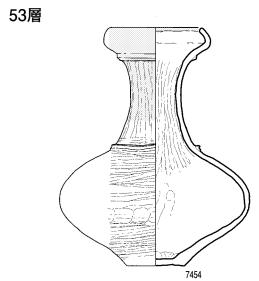


図31 谷1203 52層出土土器 (1:4)







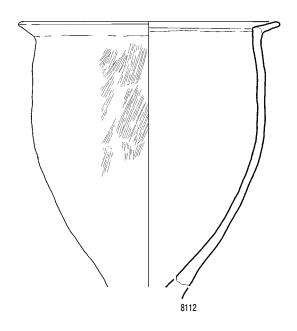
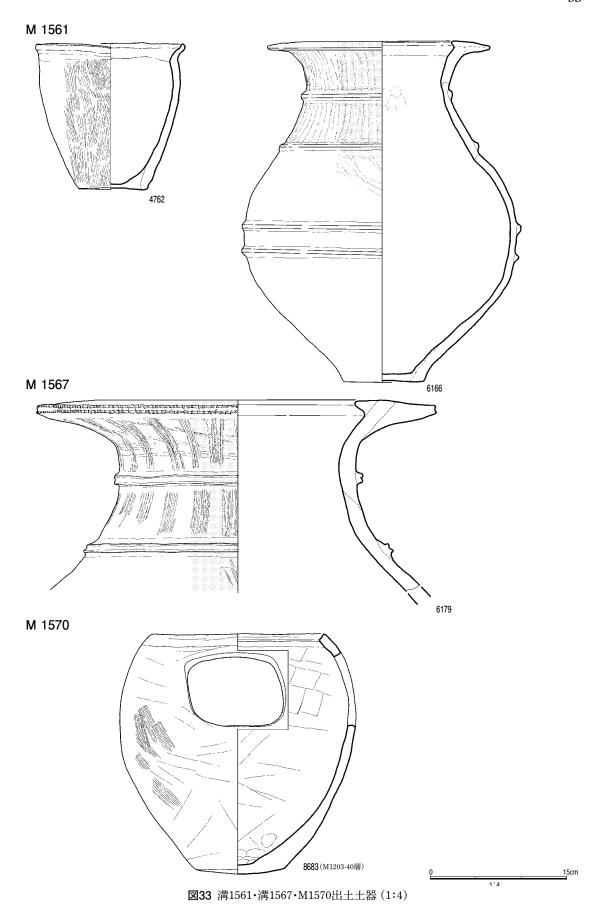
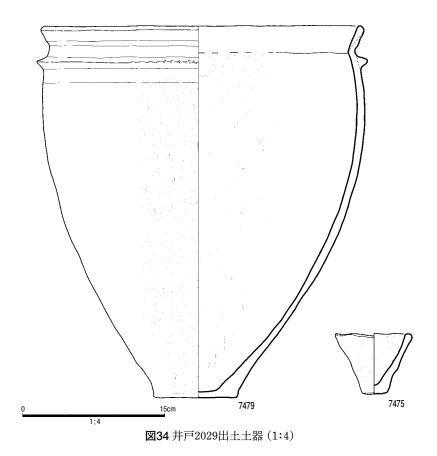






図32 谷1203 52層·53層·67層出土土器 (1:4)





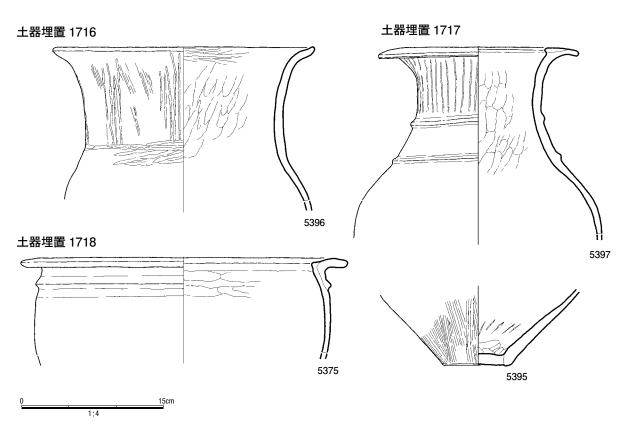


図35 土器埋置1716~1718 (1:4)

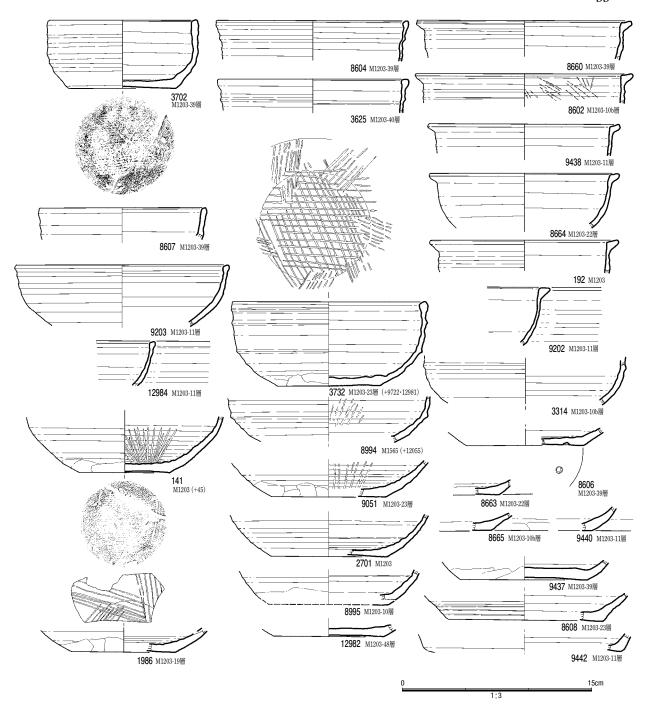
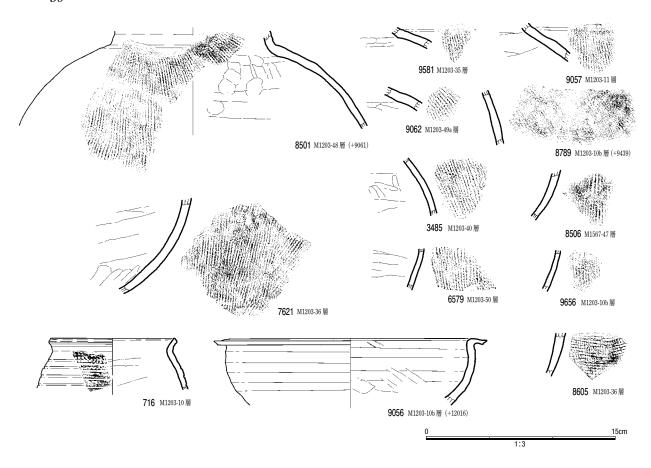


図36 楽浪系土器 (1:3)



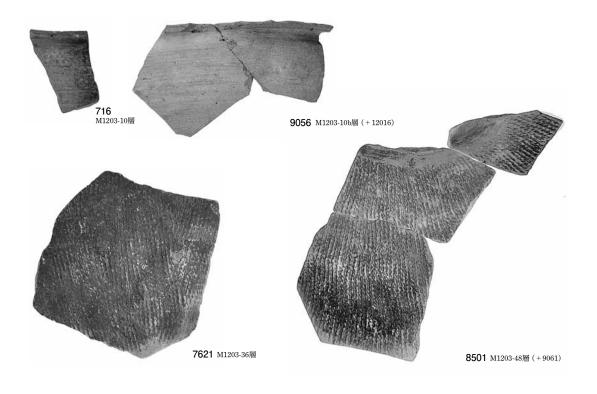


図37 瓦質土器·陶質土器 (1:3)

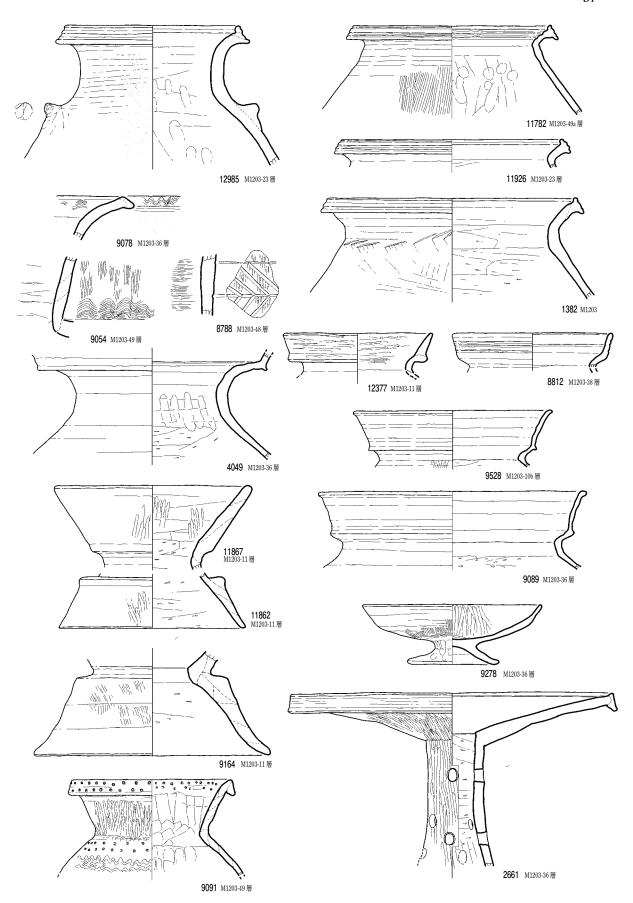


図38 異系統土器·土師器(1)(1:3)

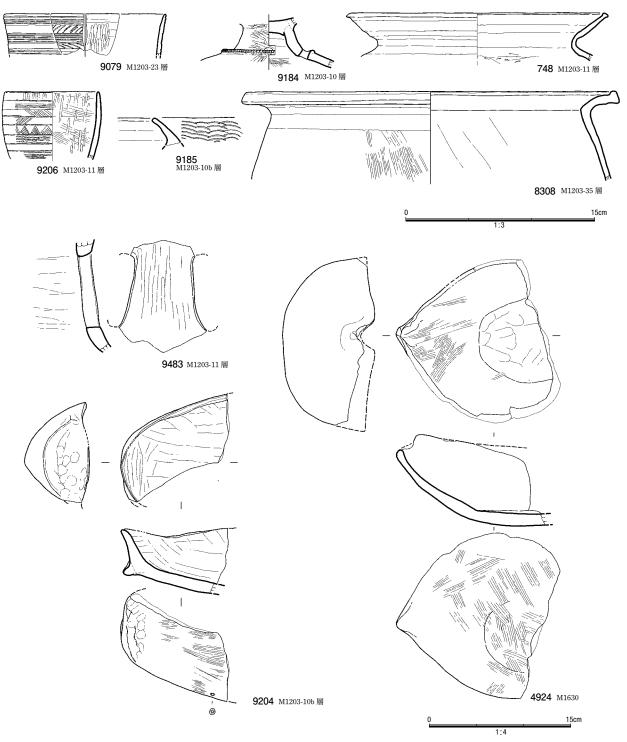


図39 異系統土器·土師器(2)(1:3、1:4)

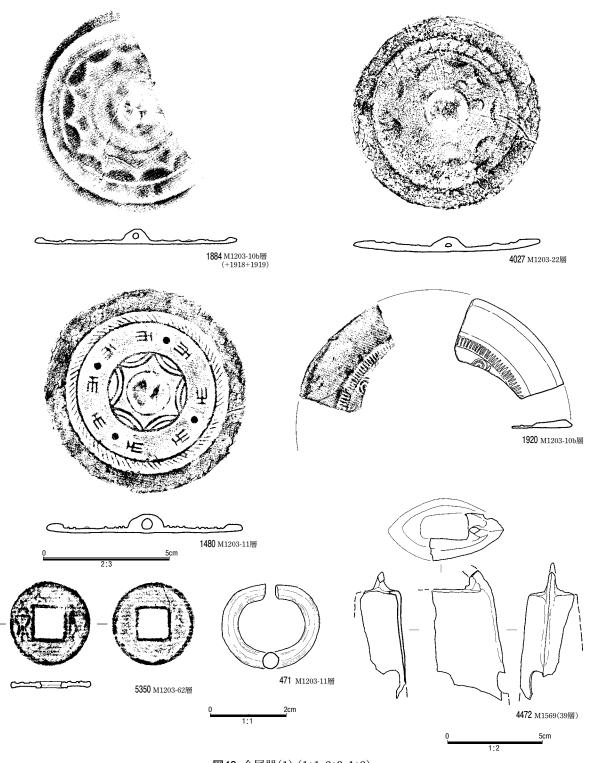


図40 金属器(1)(1:1、2:3、1:2)

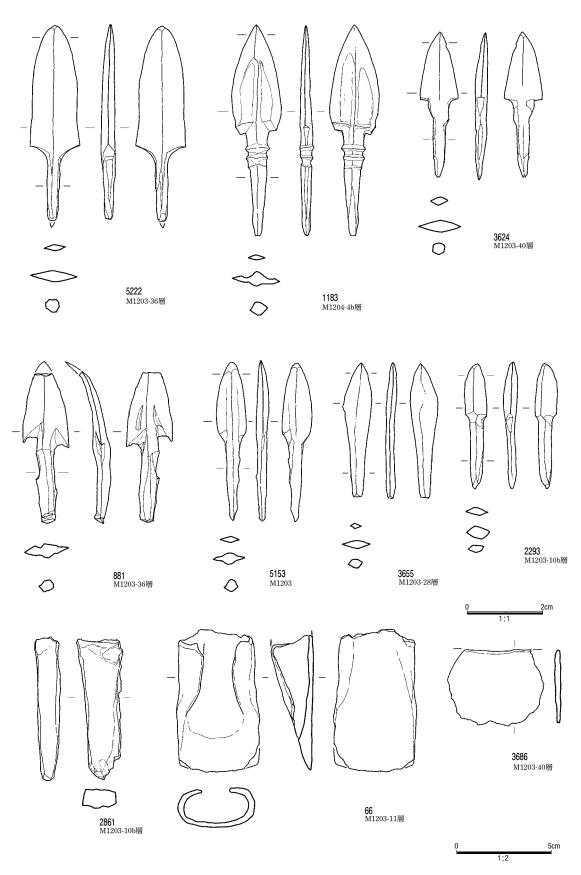


図41 金属器(2)(1:1、1:2)

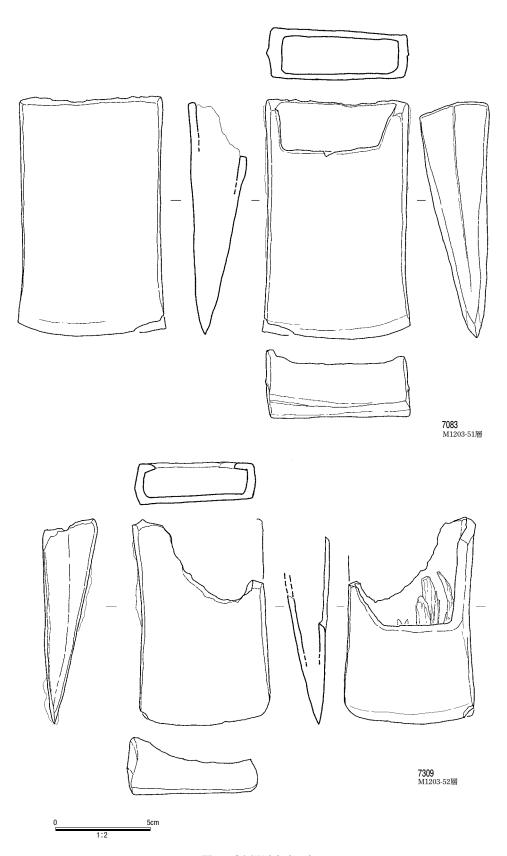
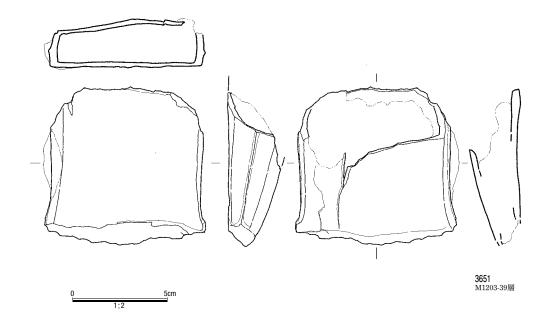


図42 金属器(3)(1:2)



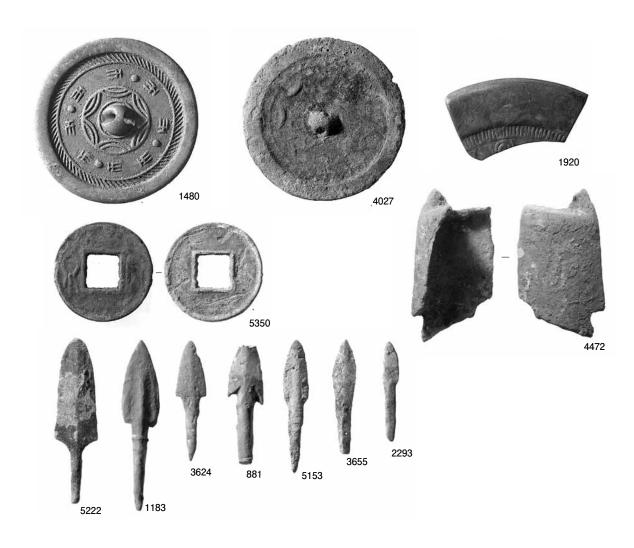


図43 金属器(4)(1:2)

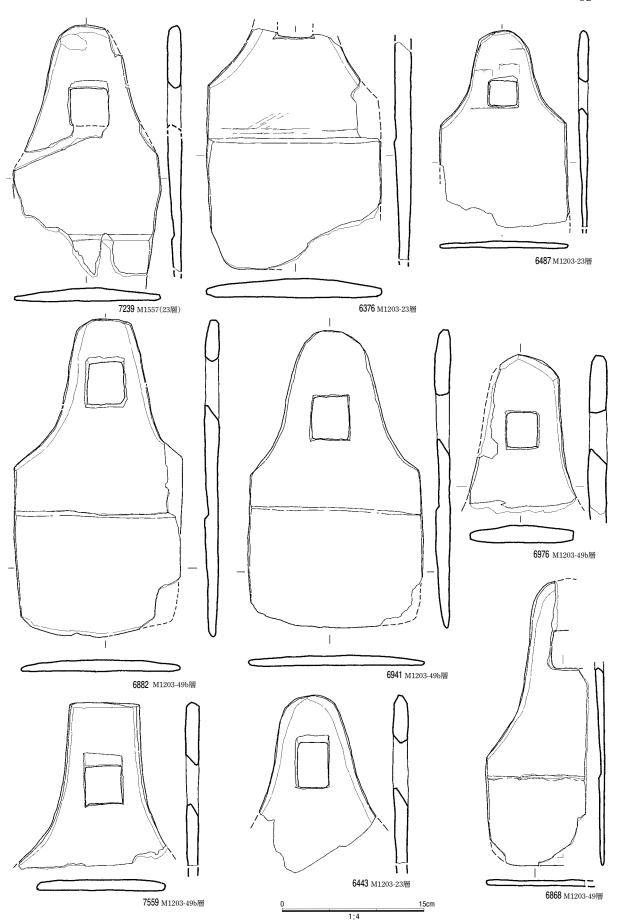


図44 鍬(1) (1:4)

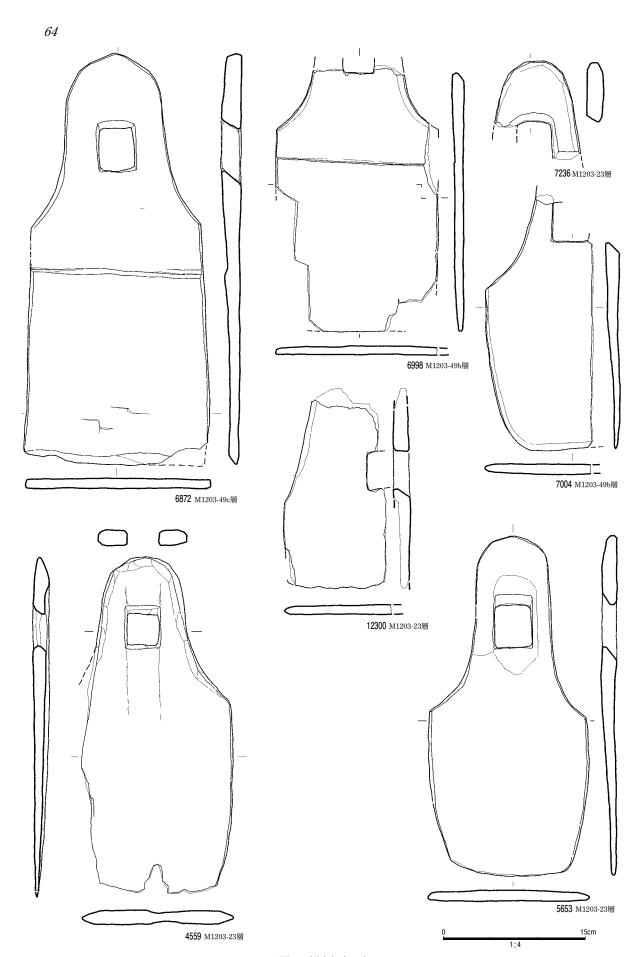


図45 鍬(2) (1:4)

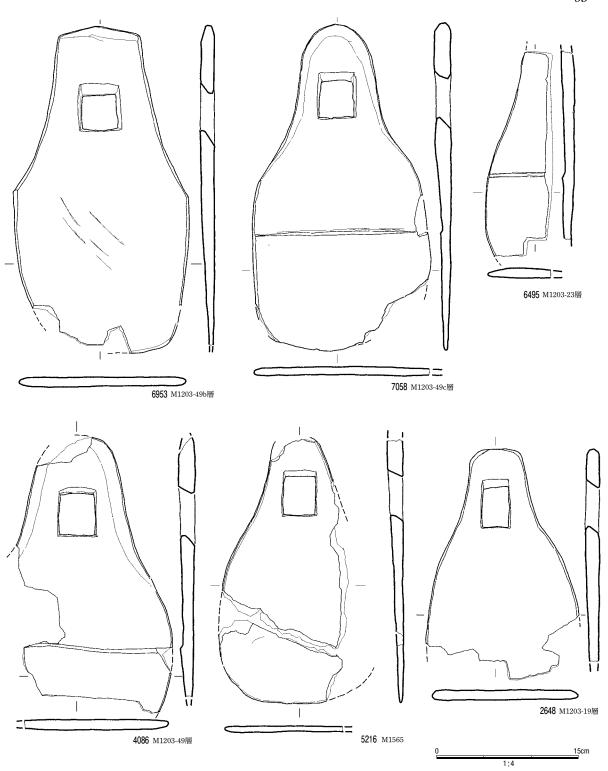


図46 鍬(3) (1:4)

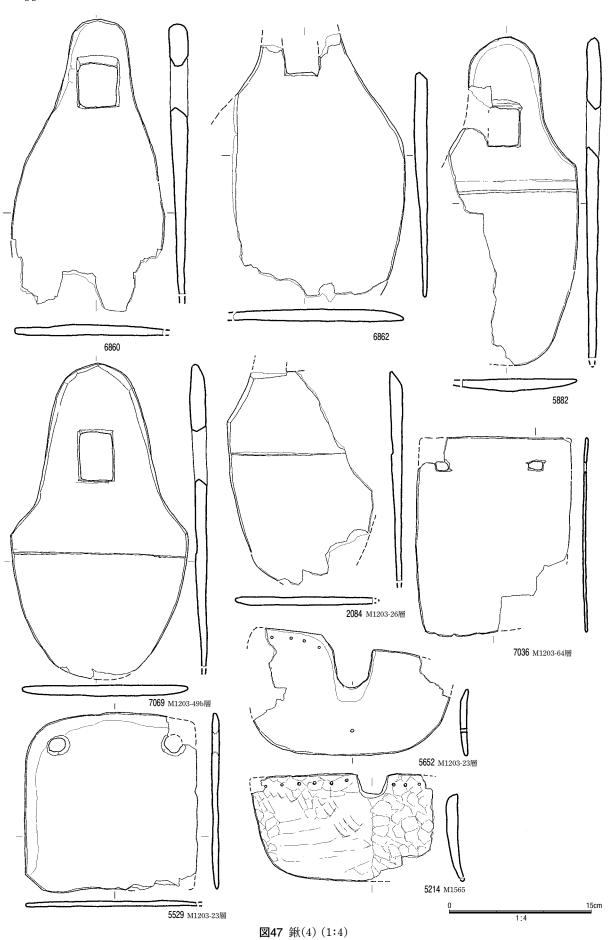


図48 鍬(5) (1:4)

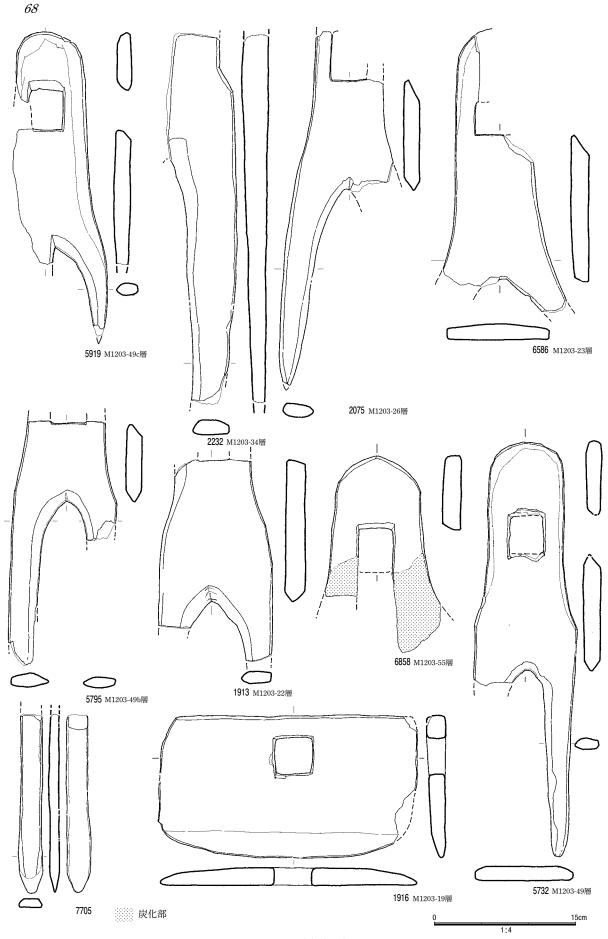


図49 鍬(6) (1:4)

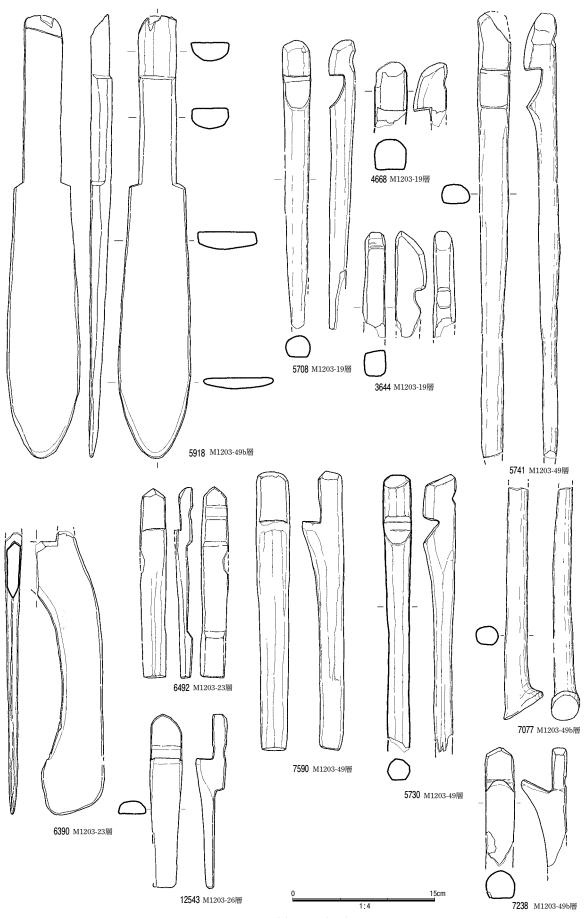


図50 鍬(7)・鍬柄(1:4)

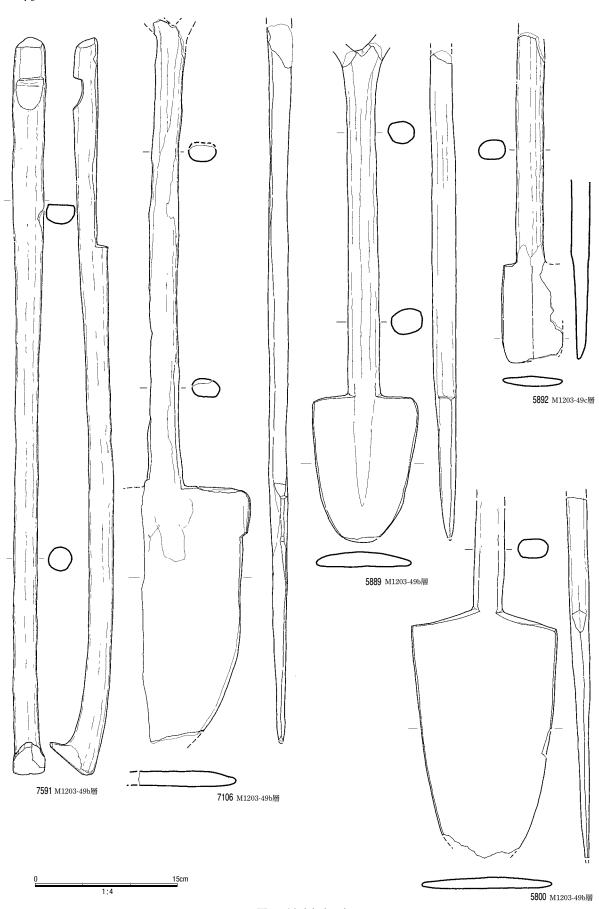


図51 鋤(1)(1:4)

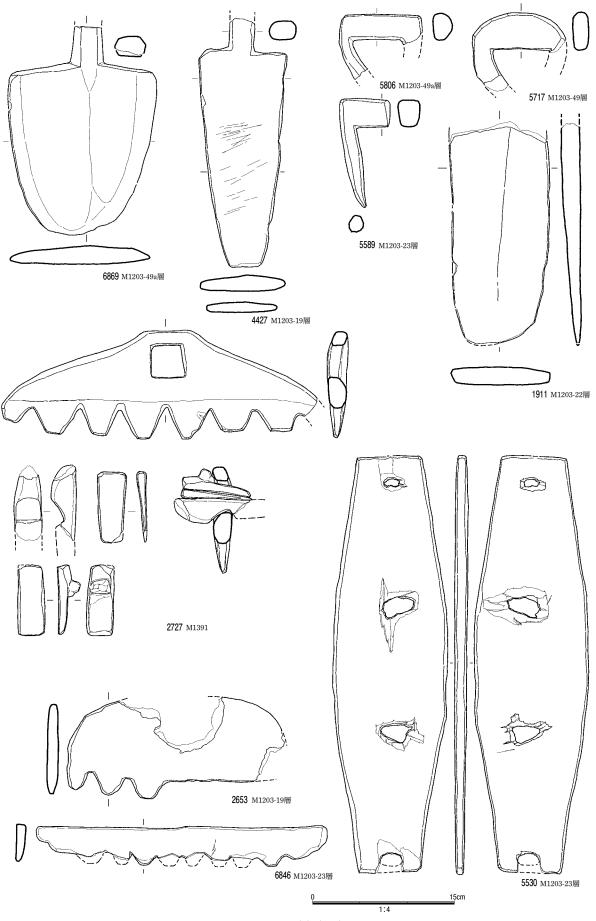


図52 鋤(2)(1:4)

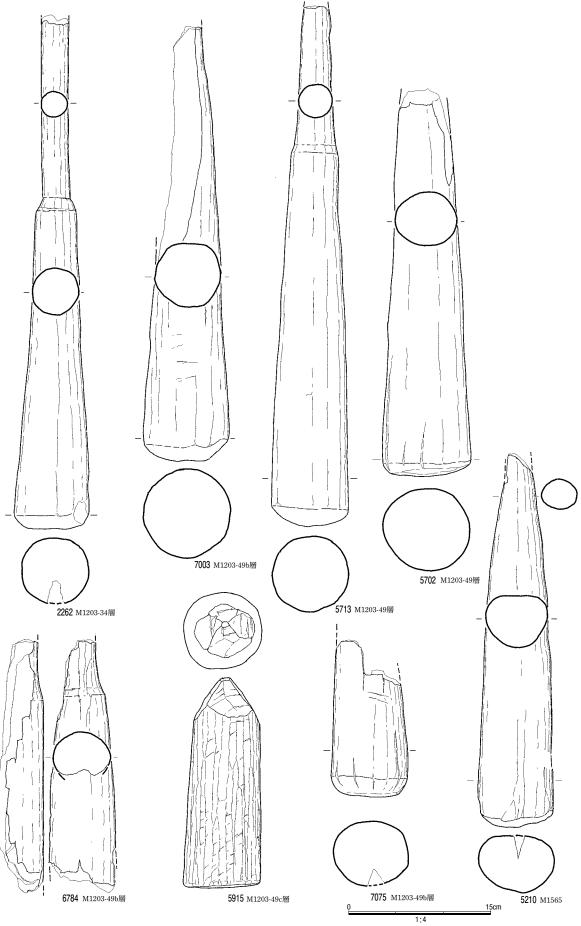


図53 杵(1)(1:4)

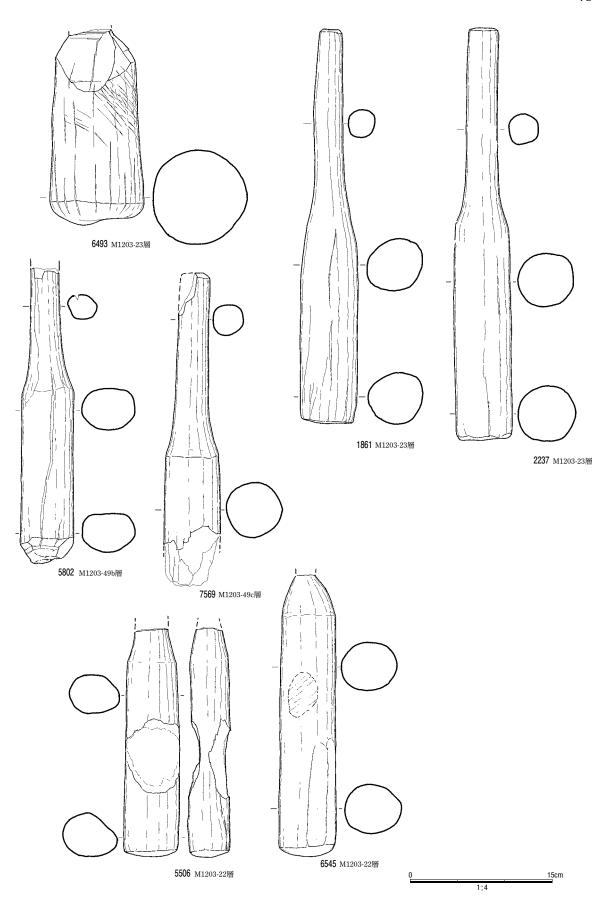


図54 杵(2)(1:4)

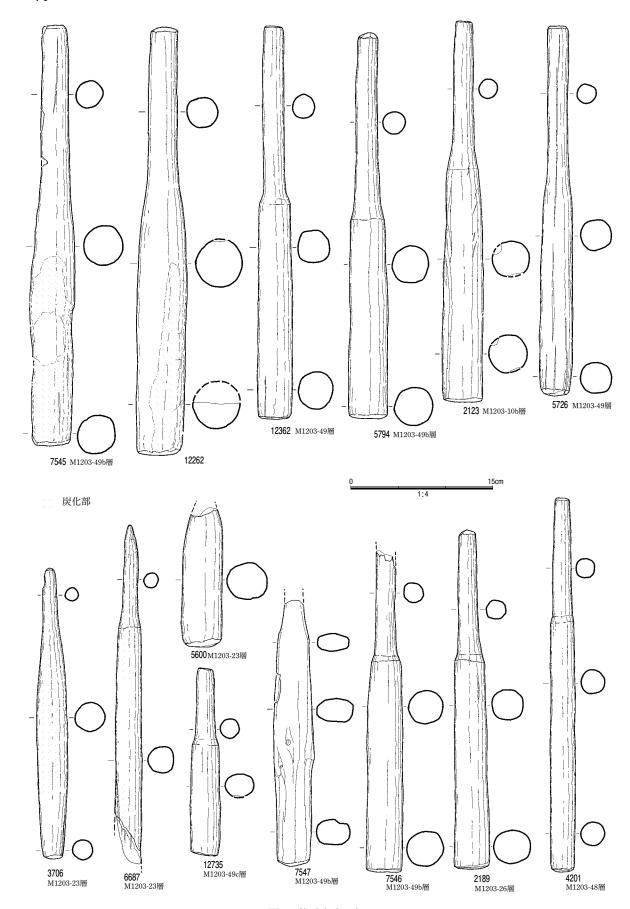


図55 杵(3)(1:4)

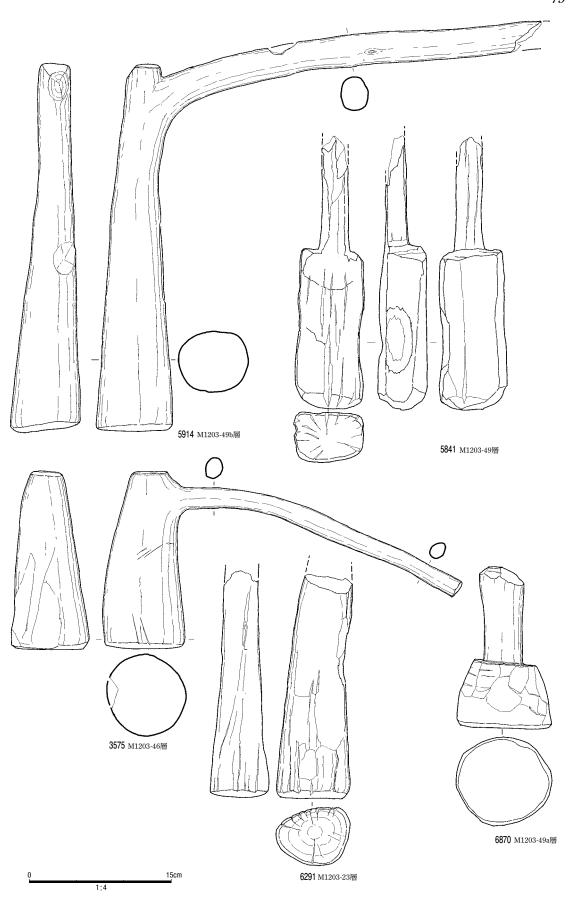


図56 杵(4)(1:4)

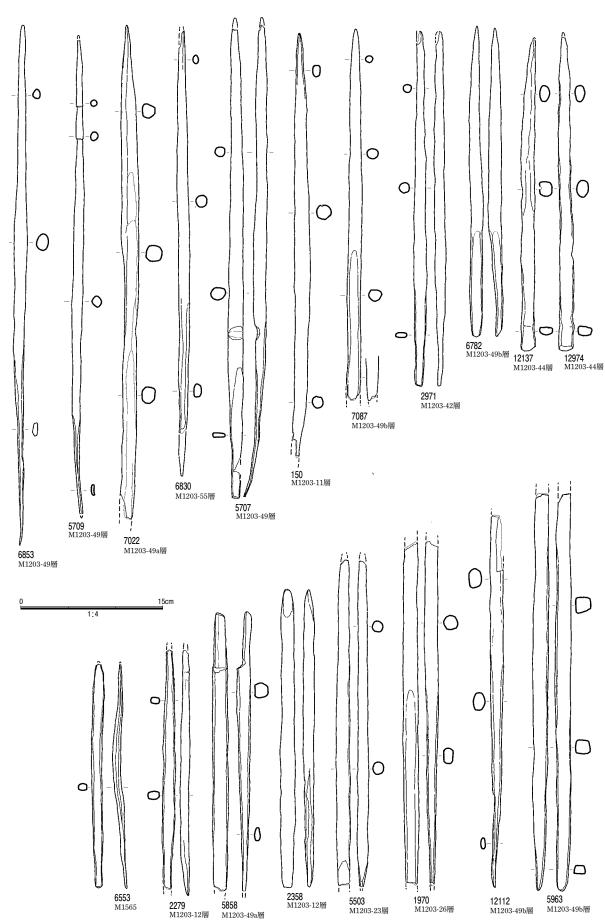


図57 簎(やす)(1)(1:4)

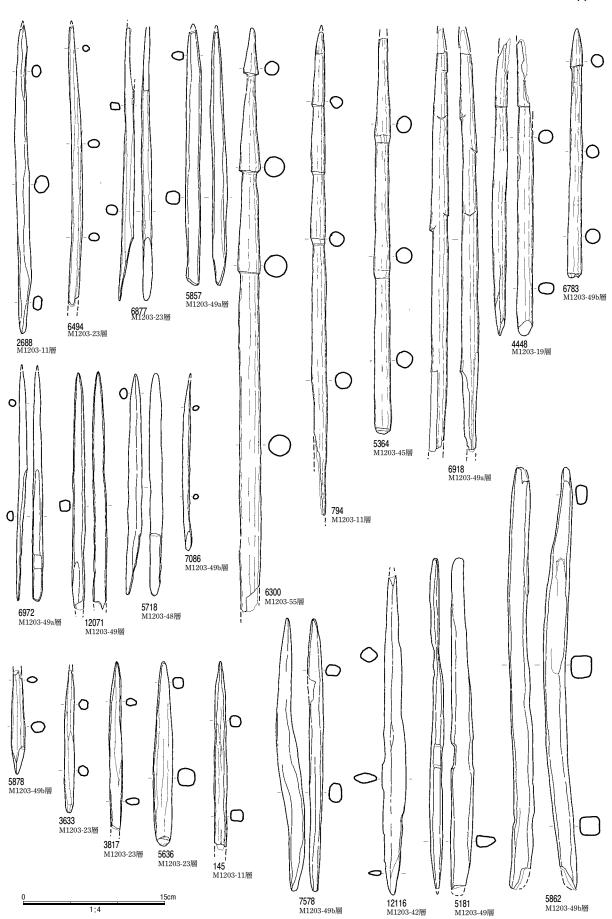


図58 簎(やす)(2)(1:4)

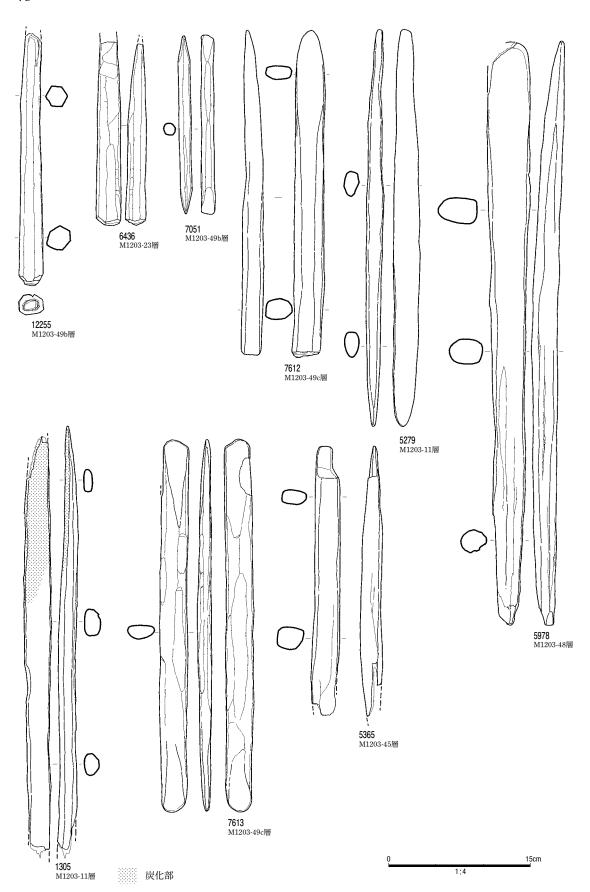


図59 尖頭器 (1:4)

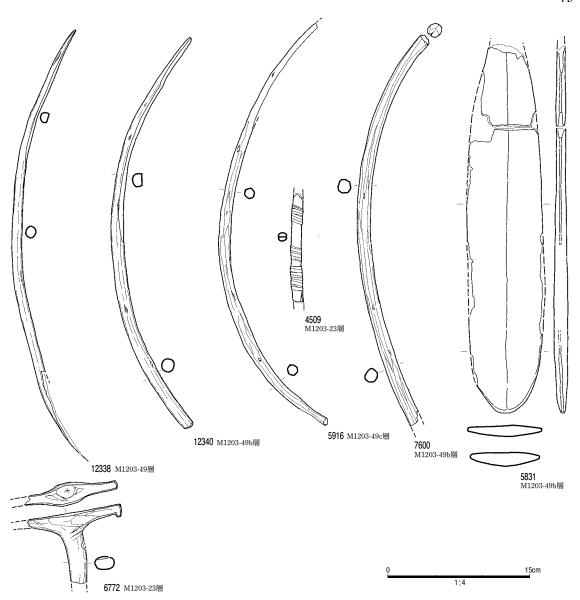


図60 網枠・櫂(1:4)

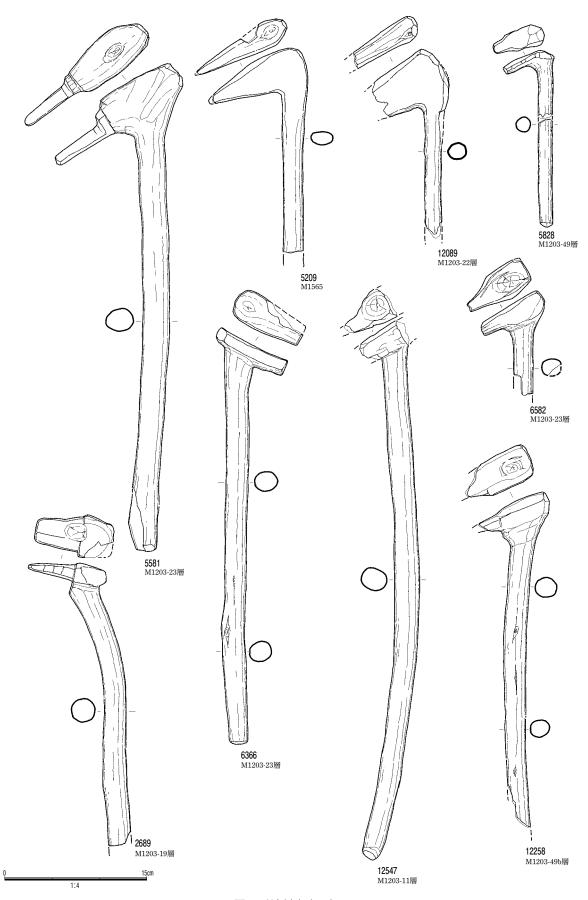


図61 斧柄(1)(1:4)

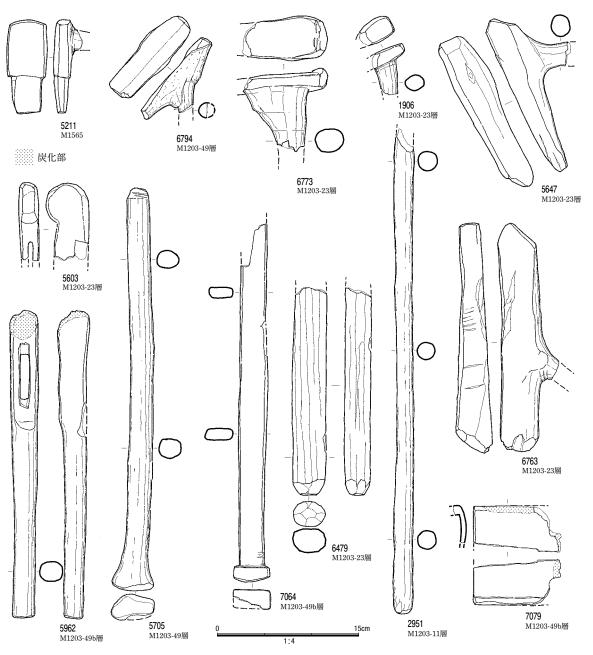


図62 斧柄(2)·鎌柄·柄(1:4)

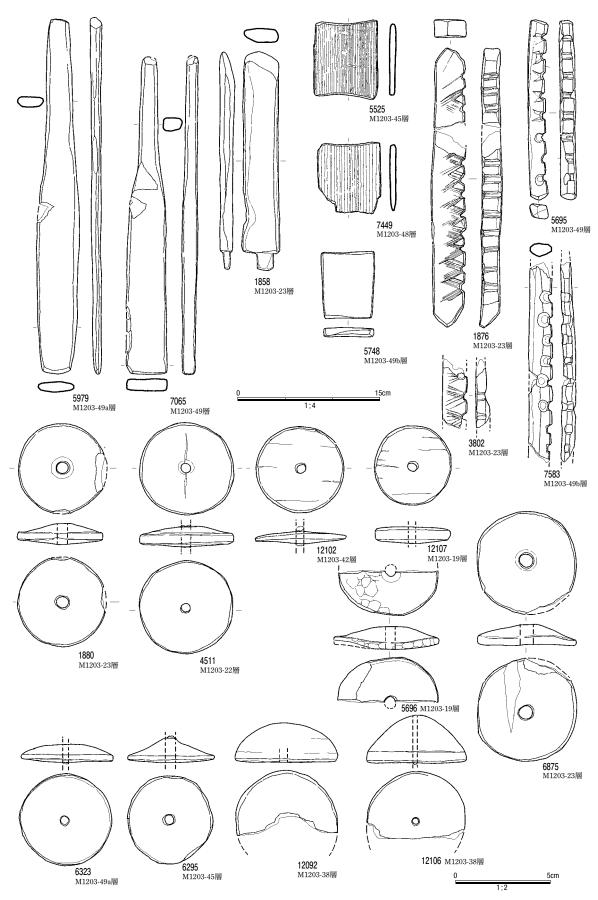


図63 工具·火鐟臼·紡錘車(1)(1:2、1:4)

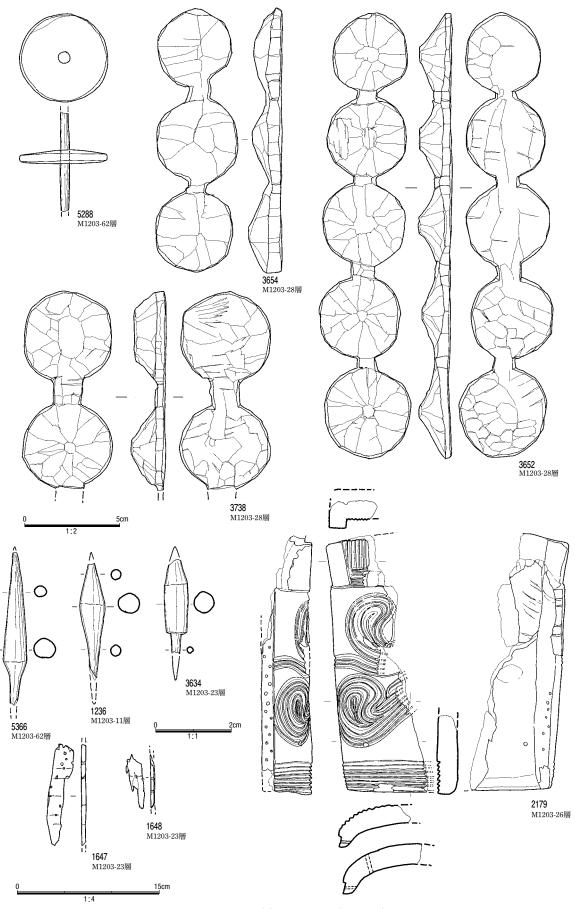


図64 紡錘車(2)·木鏃·短甲(1:2·1:4)

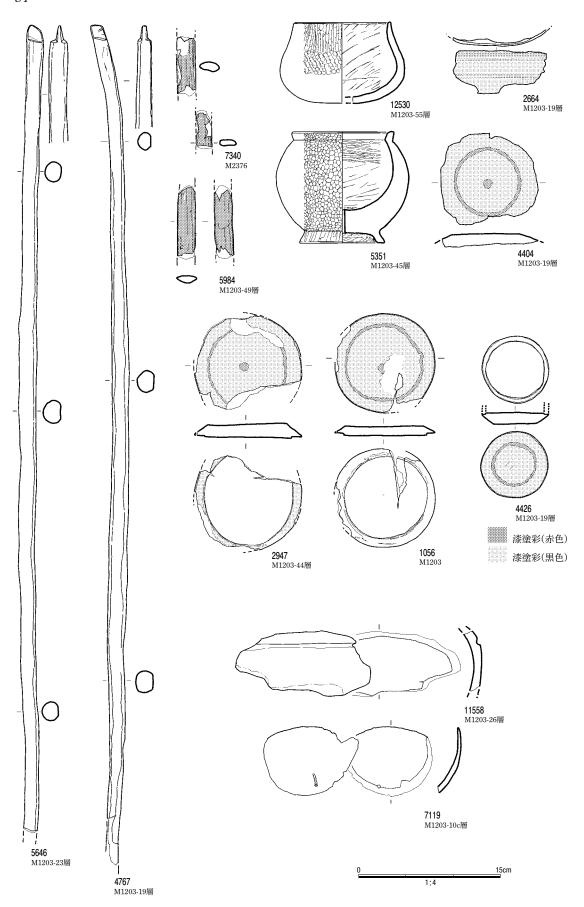


図65 弓·容器 (1) (1:4)

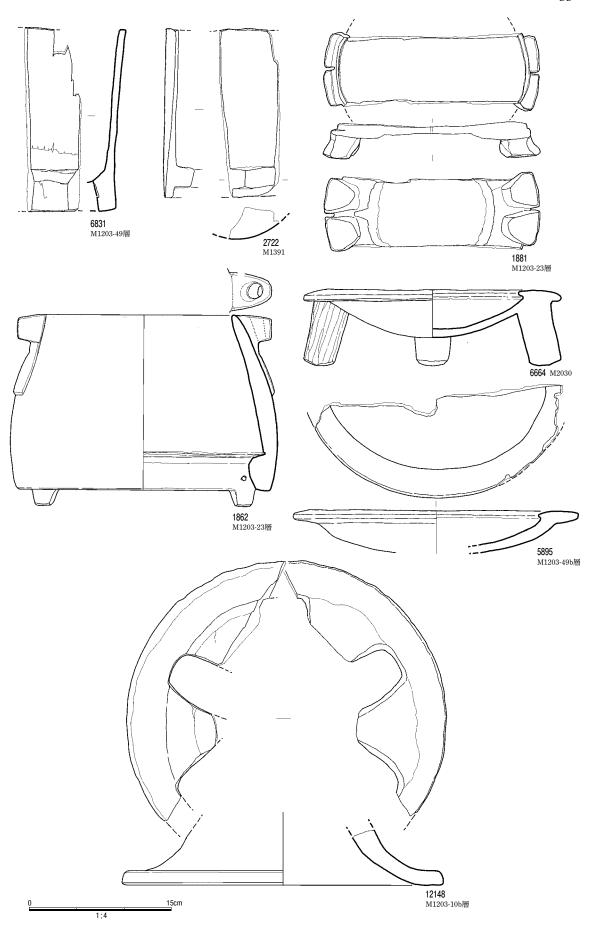


図66 容器 (2) (1:4)

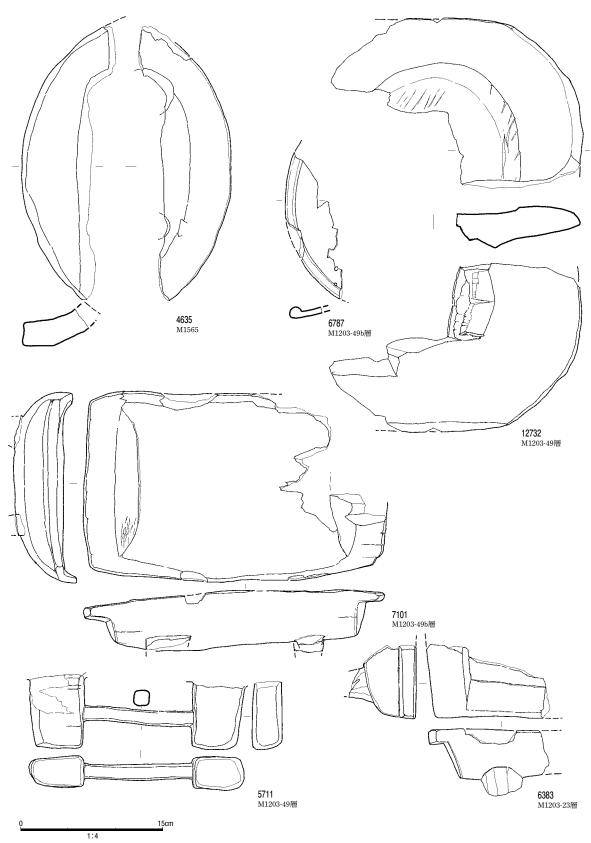


図67 容器 (3) (1:4)

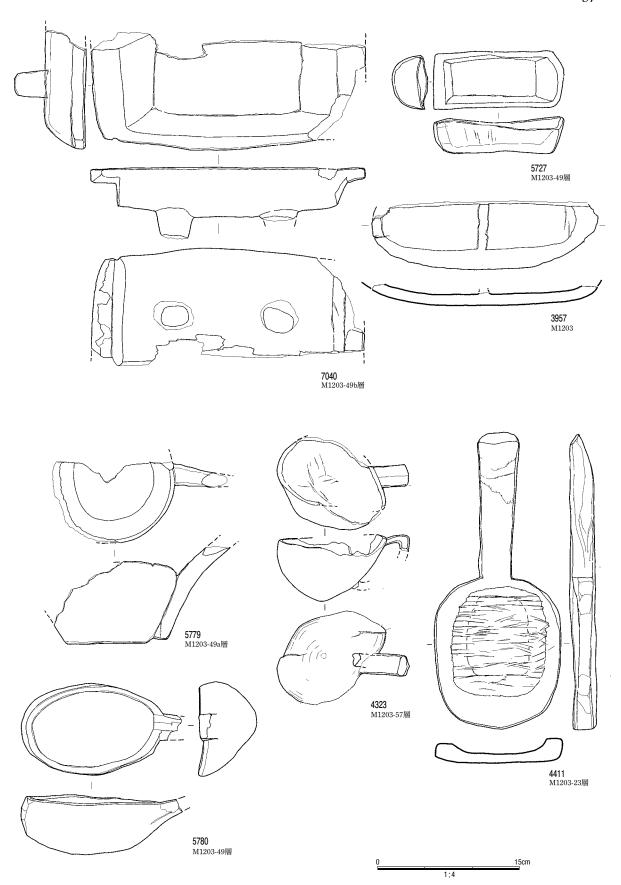


図68 容器 (4)·杓子 (1:4)

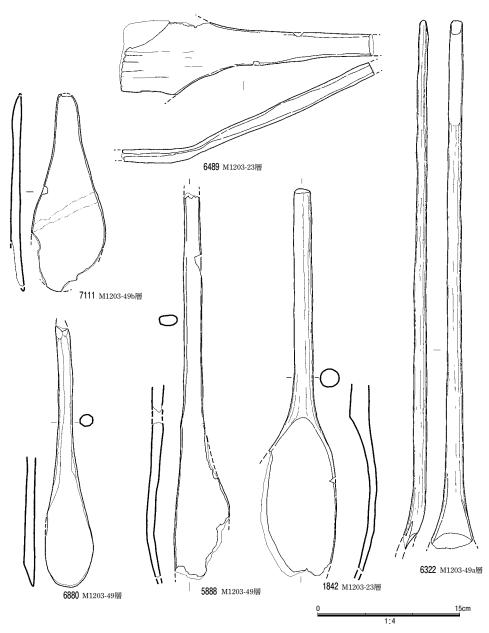


図69 杓文字 (1:4)

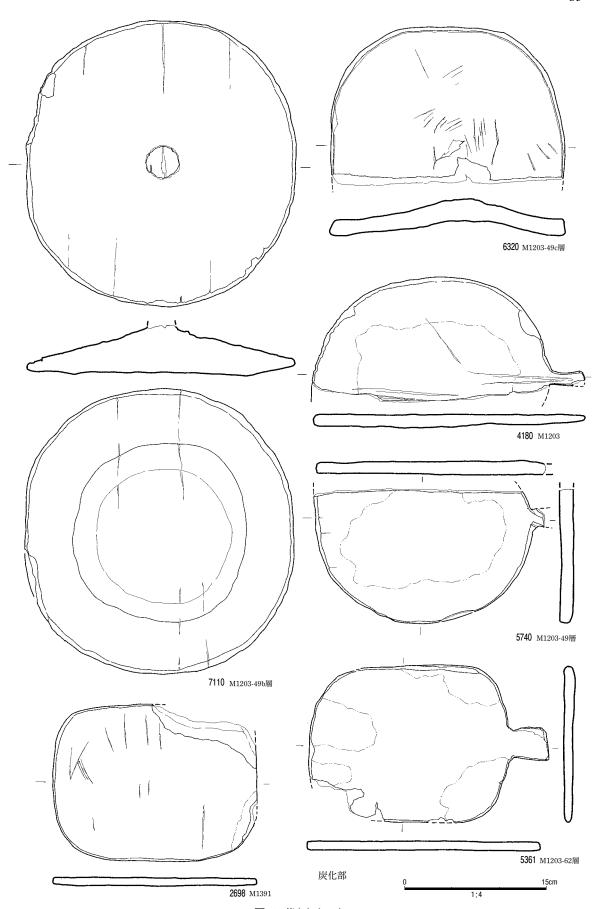


図70 蓋(1)(1:4)

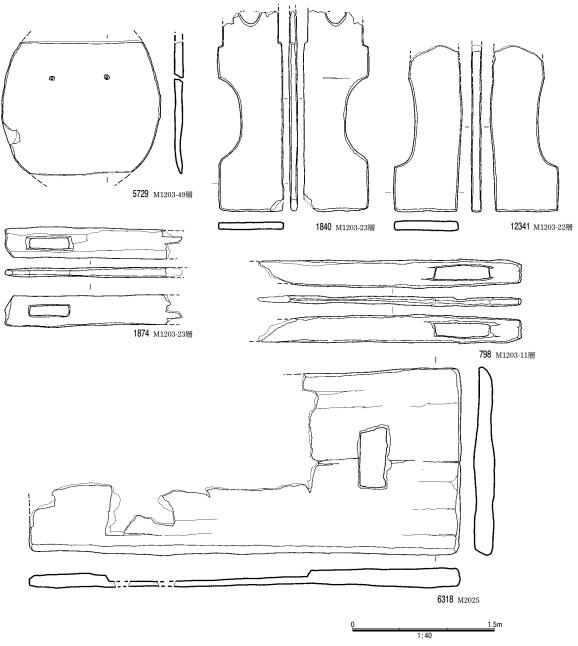


図71 蓋(2)・机(1:4)

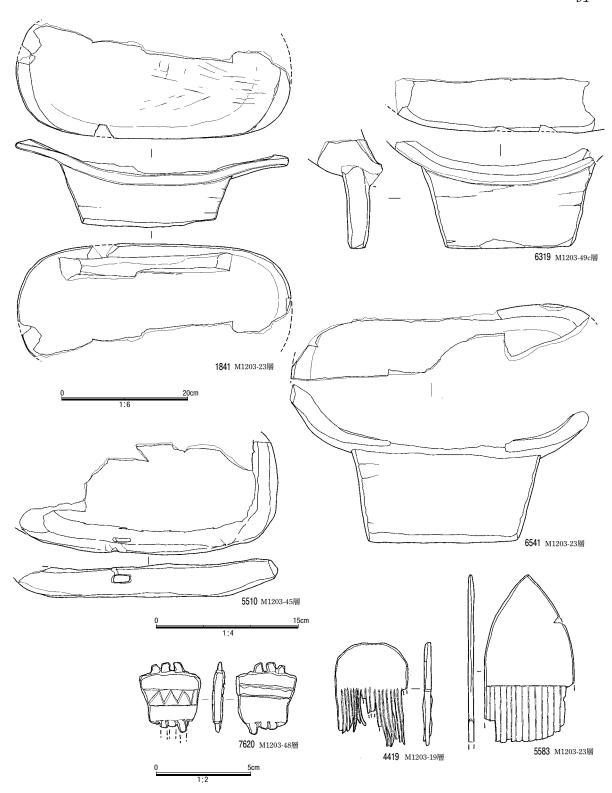


図72 椅子·服飾具 (1:4)

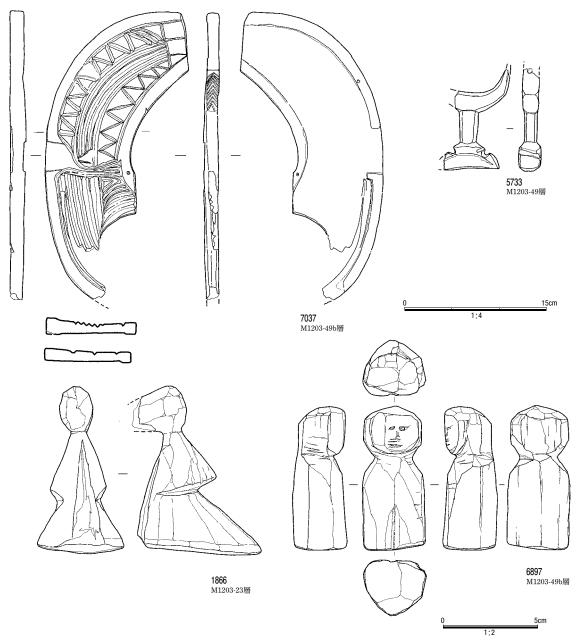


図73 装飾部材·形代 (1:4)

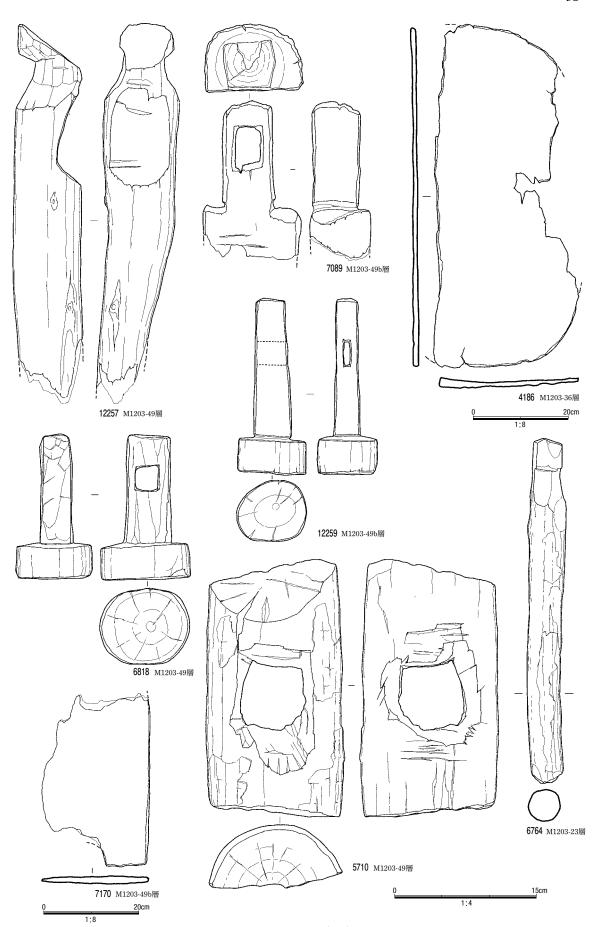


図74 部材·板材 (1:4)

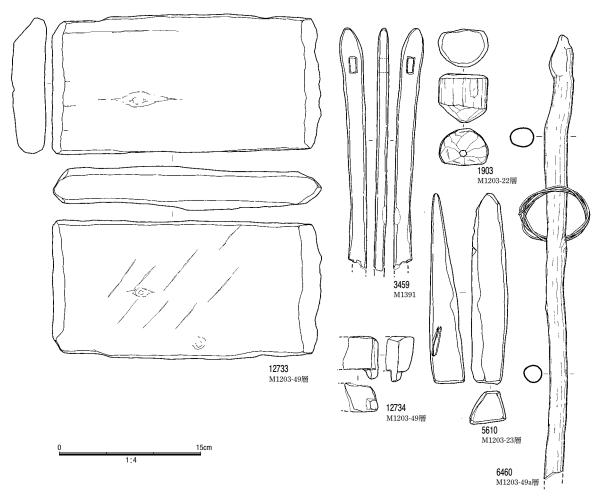


図75 部材·未分類(1:4)

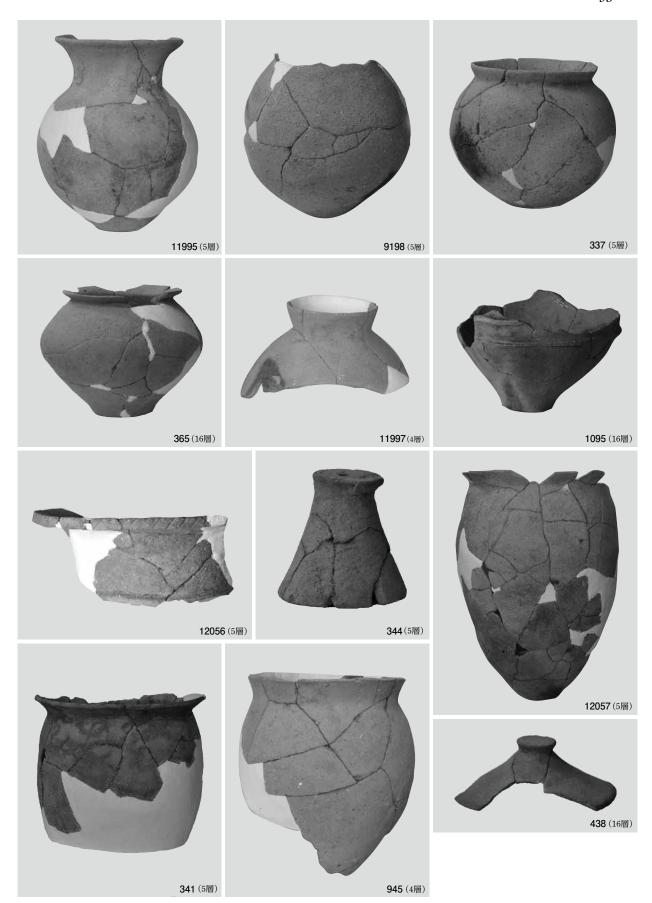


図76 谷1202出土土器

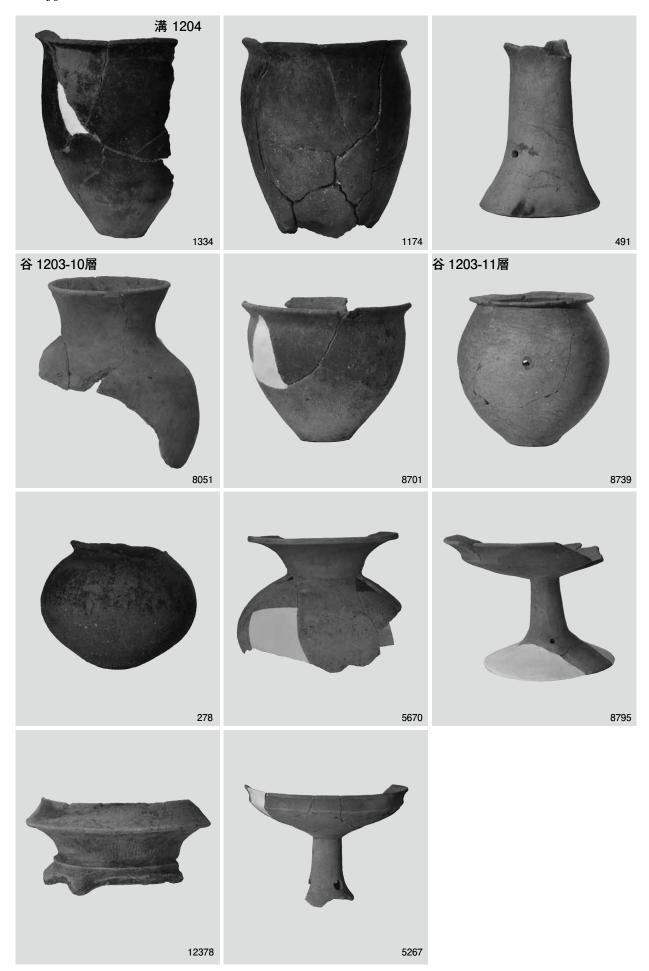


図77 谷1202,谷1203-10層·11層出土土器

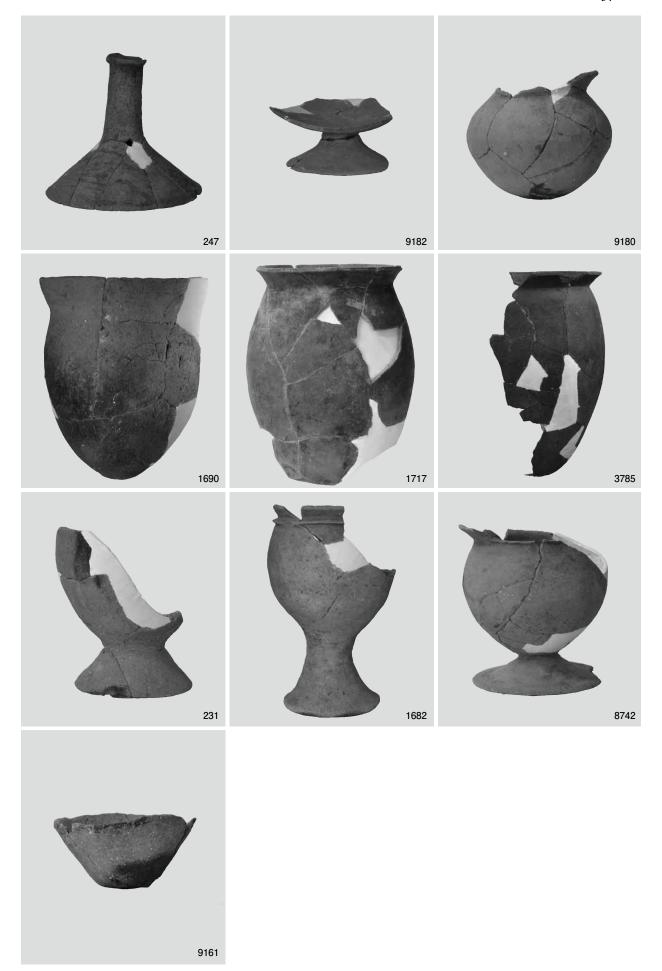


図78 谷1203-11層出土土器

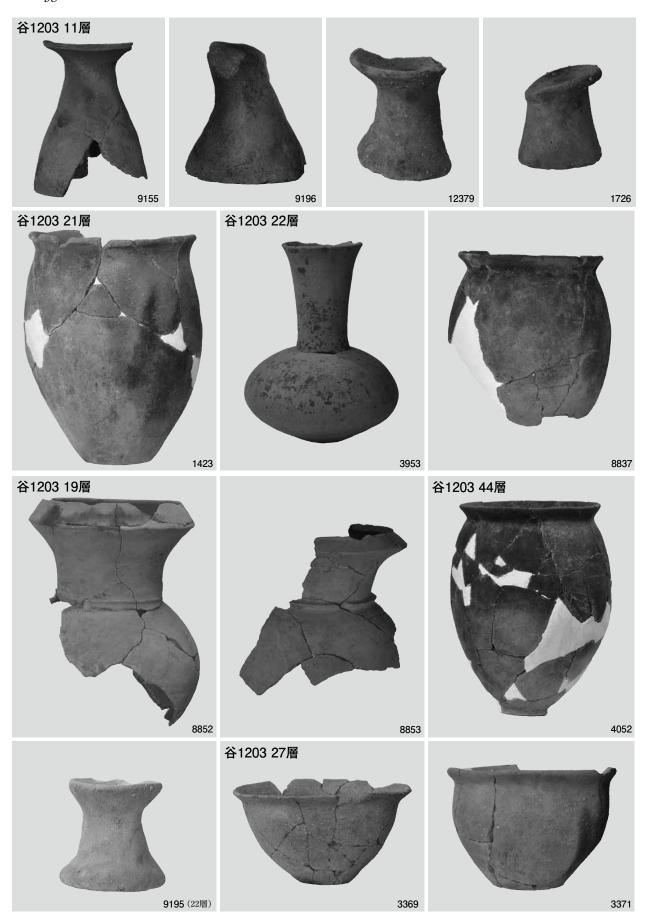


図79 谷1203 11層·21層·22層·19層·44層·27層出土土器

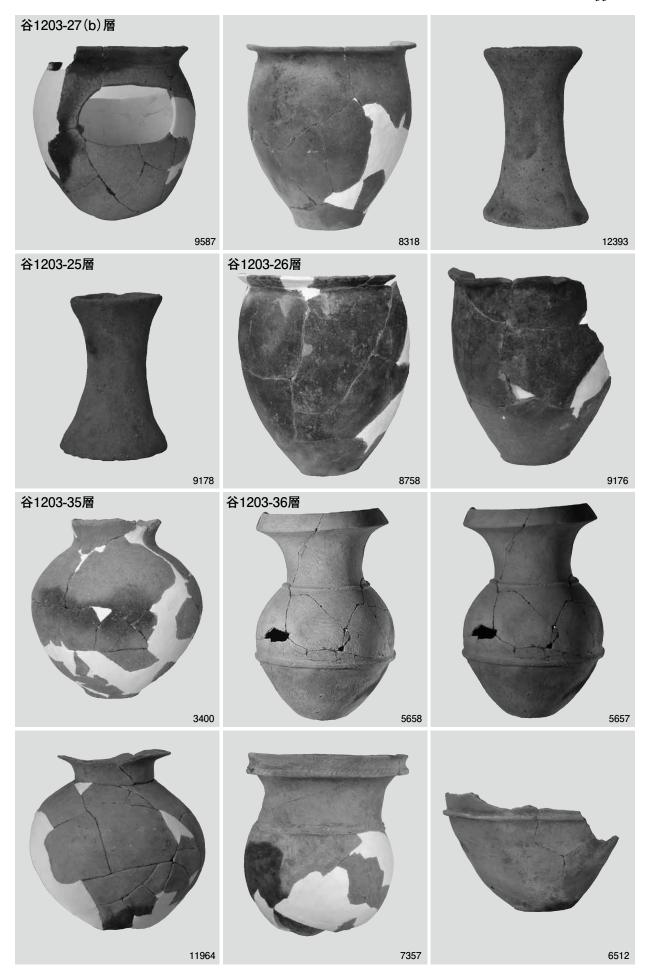


図80 谷1203 27(b)層・25層・26層・35層・36層出土土器



図81 谷1203 39層·40層出土土器

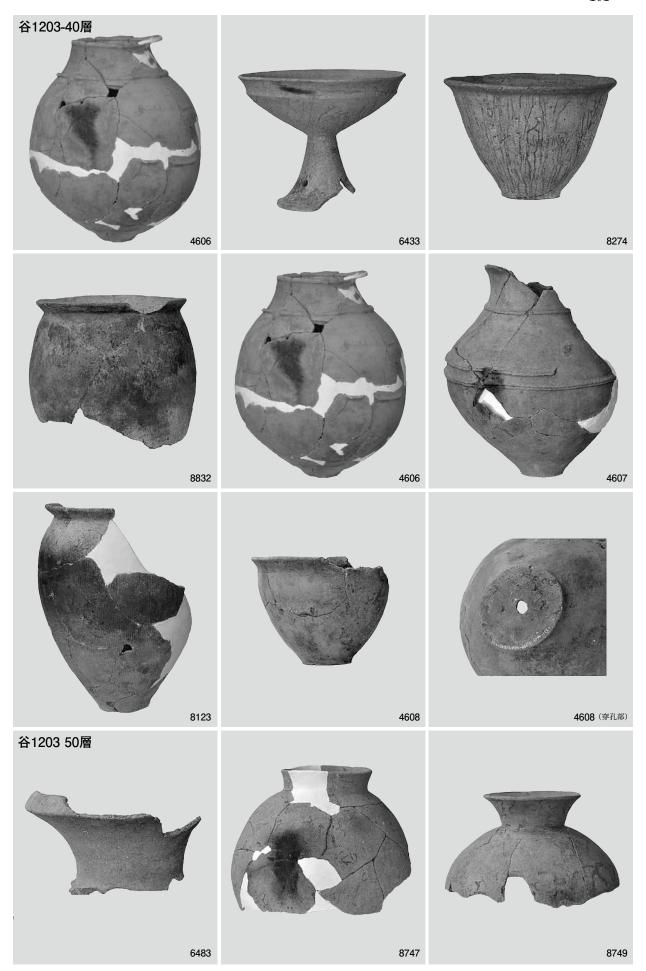


図82 谷1203 40層·50層出土土器

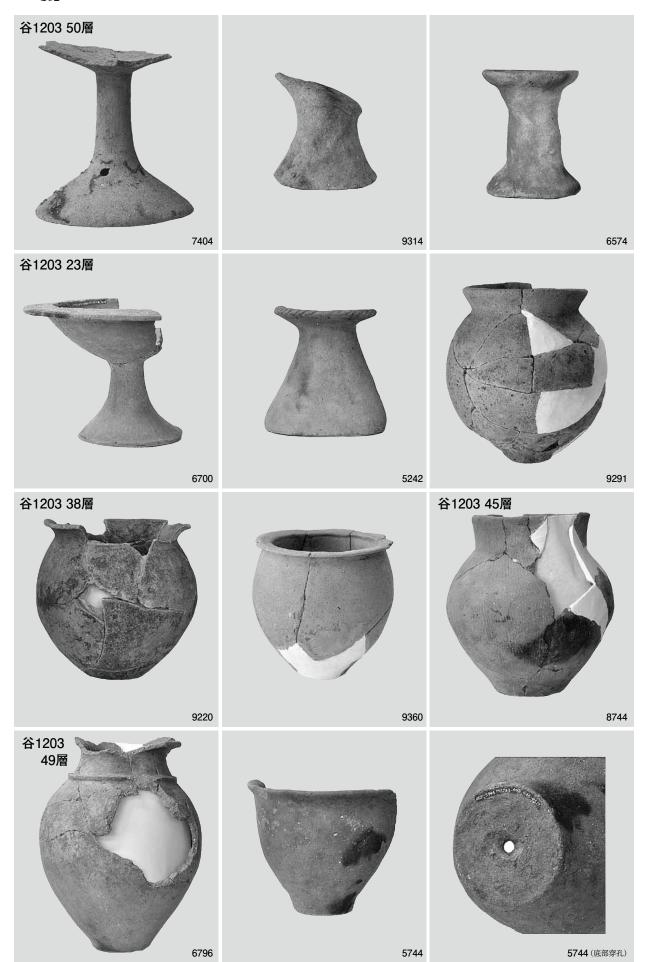


図83 谷1203 50層·23層·38層·45層·49層出土土器



図84 谷1203 49層·57層·42層出土土器

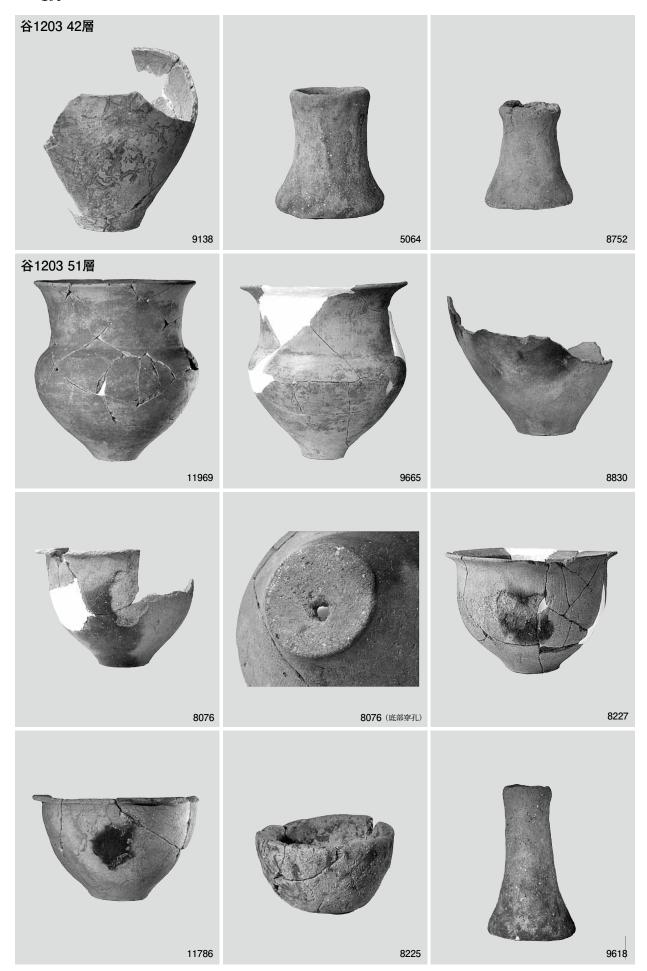


図85 谷1203 42層·51層出土土器



図86 谷1203 52層·凹地1557·凹地1565·溝状凹地1567出土土器

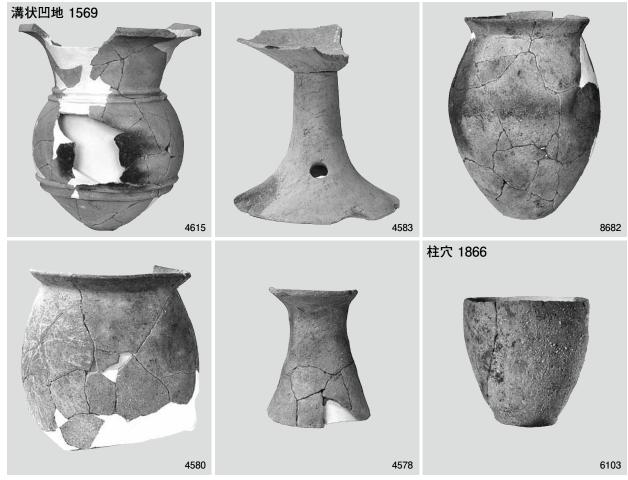


図87 溝状凹地1569出土土器

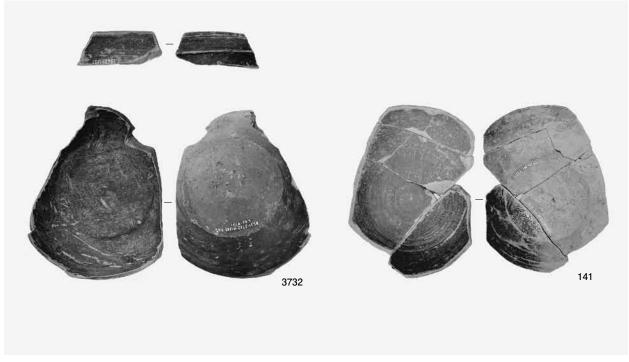


図88 楽浪系土器

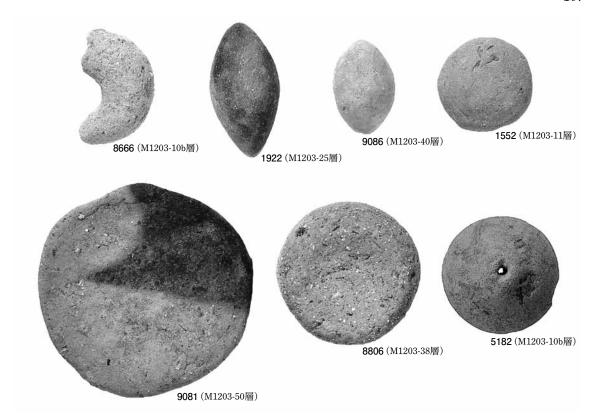


図89 土製品

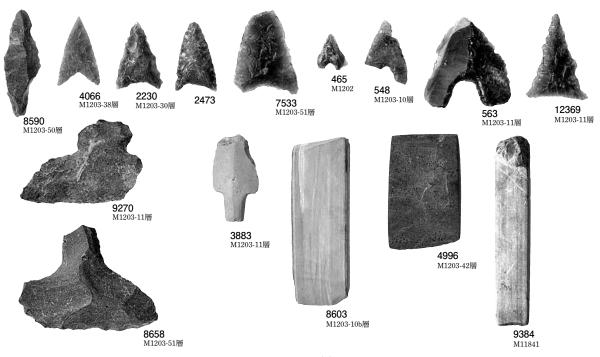


図90 石器(1)

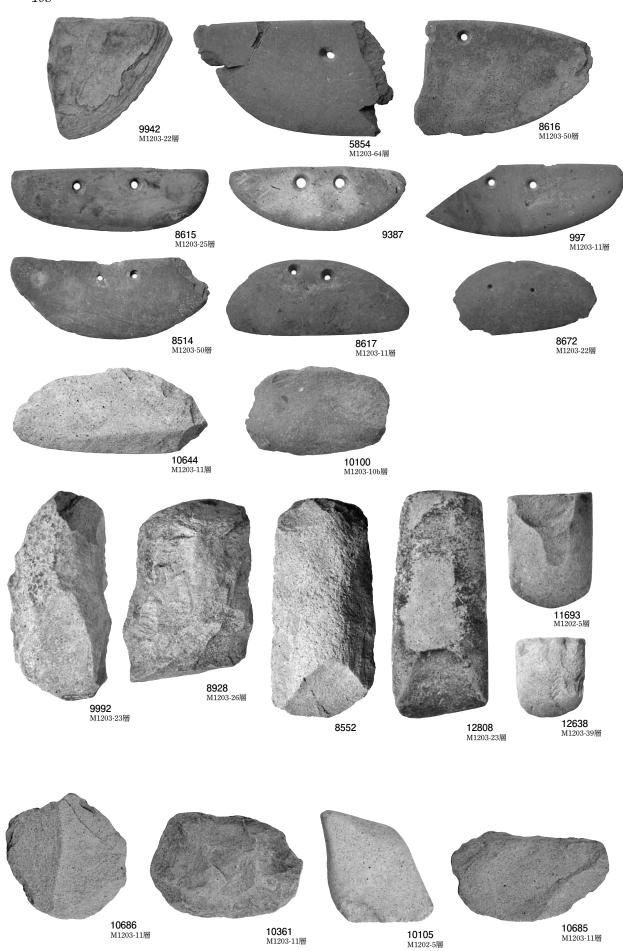


図91 石器(2)

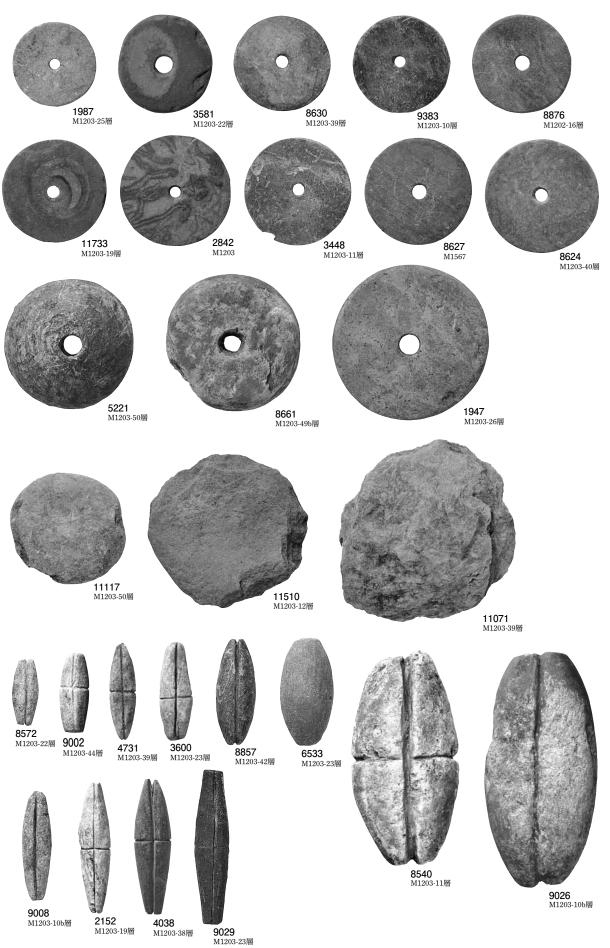


図92 石器(3)

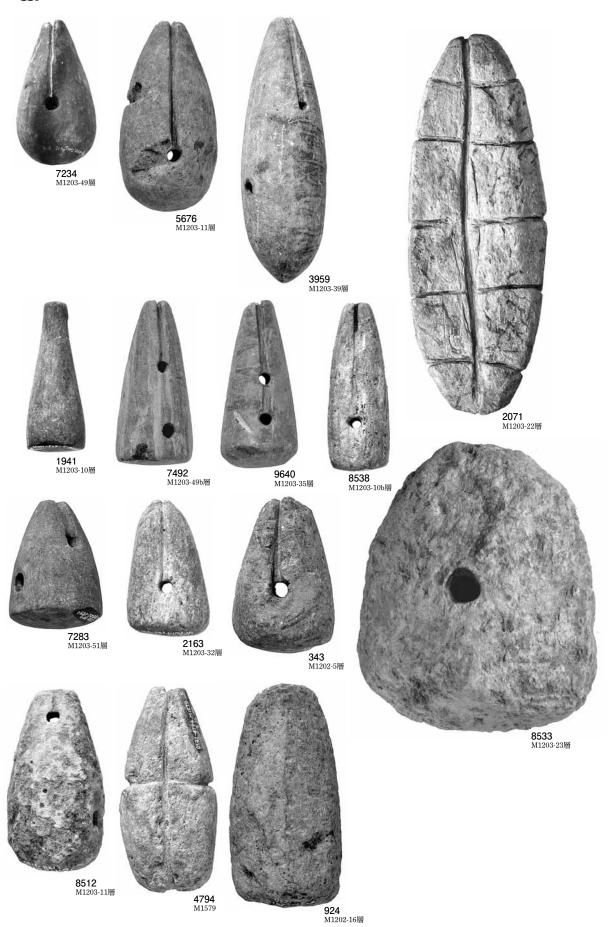


図93 石器(4)

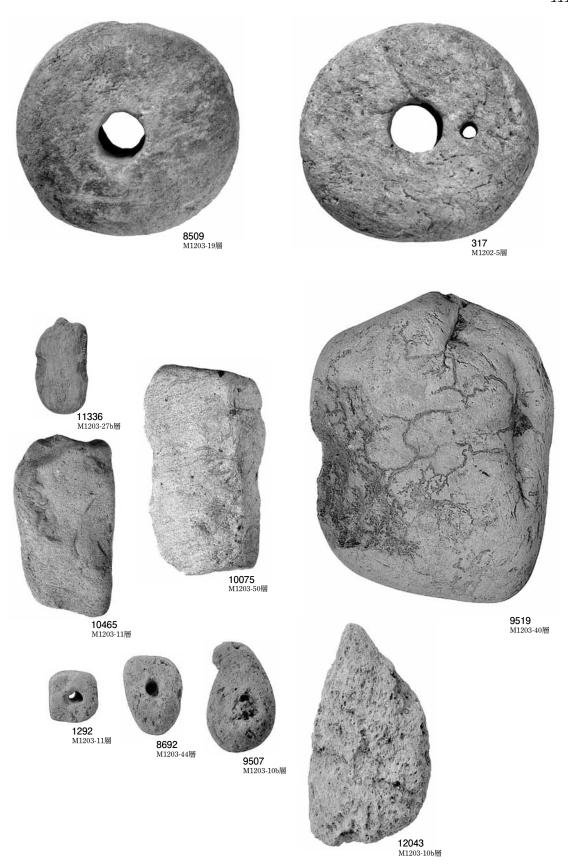


図94 石器(5)

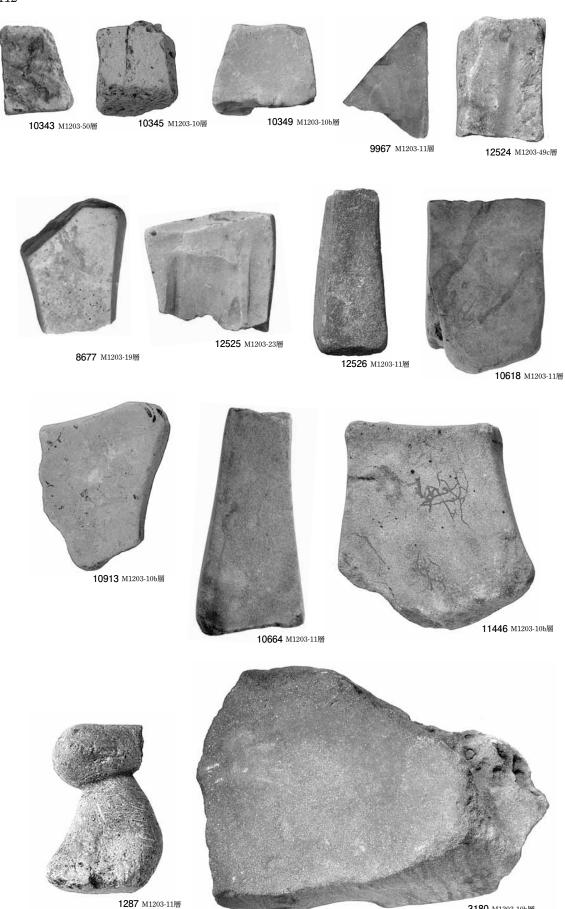


図95 石器(6)

M1203-10b層

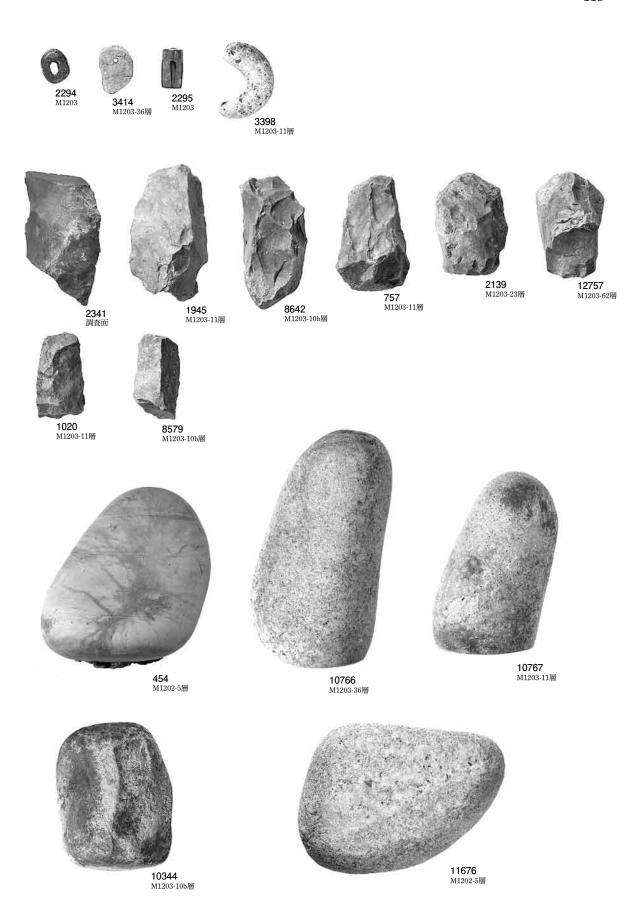


図96 石器(7)

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
33	11	932	弥生土器 壺(袋状	流路1202-4層 G47-6344
33	11	934	口縁壺) 弥生土器 器台	流路1202-4層 G47-6344
33	11	936	弥生土器 鉢(底部	流路1202-4層 G47-6344
33	11	938	穿孔鉢) 弥生土器 小形甕	流路1202-4層 647-6344
33	11	940	弥生土器 甕	流路1202-4層 G47-6354
33	11	941 11997	弥生土器 小形甕 弥生土器 壺	流路1202-4層 G47-6344 流路1202-4層 G47-62
33	11	12062	弥生土器 甑	流路1202-4層 G47-6322
34	12	339	弥生土器 大形壺	流路1202-5層 G47-6343
34	12	346	弥生土器 壺	流路1202-5層 G47-6333
34	12	424	弥生土器 大形甕	流路1202-5層 G47-6321
34	12	452	弥生土器 甑	流路1202-5層 G47-6333
35	13	315	弥生土器 大形甕	流路1202-5層 G47-6344
35	13	334	弥生土器 甕	流路1202-5層 G47-6344
35	13	954	弥生土器 高坏	流路1202-15層 G47- 6331
35	13	955	弥生土器 器台	流路1202-15層 G47- 6331
36	14	1066	弥生土器 器台	溝1204 G46-6240
36	14	1086	弥生土器 器台	溝1204-3層 G47-7210
36	14	1163	弥生土器 壺	溝1204-4層 G47-6253
36 36	14	1283 1284	弥生土器 器台 弥生土器 甕(小形)	溝1204-4層 G47-7213 溝1204-4層 G47-7213
36	14	1332	弥生土器 壺	溝1204-4b層 G47-6223
36	14	12014	弥生土器 器台	溝1204 G47-62
36	14	12027	弥生土器 甕(小形甕)	溝1204 G47-62
36	14	12031	弥生土器 鉢(小形鉢)	溝1204 G47-62
36 36	14 15	12038 12986	弥生土器 甑 弥生土器 壺(複合	溝1204-3層 G47-7210 柱穴1720
36	15	12987	口縁壺) 弥生土器 壺(袋状	柱穴1772
36	15	12988	口縁壺) 弥生土器 壺	柱穴1768
36	15	12989	弥生土器 小形手捏 ね土器	柱穴1768
37	16 16	685 1447	弥生土器 甕 弥生土器 壺(無頸	谷1203-11層 G47-9241 谷1203-11層 G46-8043
37	16	1723	壺) 弥生土器 甕	谷1203-11層 G46-8032
37	16	1725	弥生土器 無頸壺	谷1203-11層 G46-8032
37	16	2153	弥生土器 壺	谷1203-11層 G46-8033
37	16	5265	弥生土器 甕	谷1203-11層 G46-9634
37	16	6415	弥生土器 甕	谷1203-11層 G46-9721
38	17 17	1706 1801	弥生土器 鉢 弥生土器 鉢	谷1203-11層 G46-8045 谷1203-11層 G46-8034
38	17	3784	弥生土器 甕	谷1203-11層 G46-9631
38	17	8828	弥生土器 脚付甕	谷1203-11層 G46-9624
38	17	9289	弥生土器 台付甕	谷1203-11層 G46-8422
38	17	11940	弥生土器 甕 弥生土器 支脚(沓	谷1203-10層 G46-0812
39	18	271	形支脚) 弥生土器 鉢(平底	谷1203-11層 G47-9151
39	18	296		谷1203-11層 G47-9214
39	18	1257	形支脚)	谷1203-11層 G46-0924
39	18	1466	形支脚)	谷1203-11層 G46-8032
39 39	18 18	1695 1749	弥生土器 支脚(沓	谷1203-11層 G46-8034 谷1203-11層 G46-9945
			形支脚)	
39	18	5081	弥生土器 器台	谷1203-11層 G46-9721 公1203-11層 G46-9721
39 39	18 18	5082 8743	弥生土器 器台 弥生土器 大形壺	谷1203-11層 G46-9721 谷1203-11層 G47-9252
39	18	9160	弥生土器 浅鉢	谷1203-11層 G47-9252 谷1203-11層 G47-0212
39	18	9557	弥生土器 支脚	谷1203-11層 G47-0212 谷1203-22層 G46-9842
40	19	4521	弥生土器 高坏	谷1203-19層 G46-9821
40	19	4564	弥生土器 甕	凹地1565-19層 G46- 9723
40	19	4819	弥生土器 鉢	凹地1565-19層 G46- 9732

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
40	19	8319	弥生土器 甕	谷1203-44層 G46-9752
		8327	弥生土器 甕	凹地1565-40層 G46-
40	19			9713
40	19	8759	弥生土器 高坏	谷1203-22層 G46-9644
40	19	9080	弥生土器 高坏	谷1203-10b層 G46-9622
40	19	9522	弥生土器 鉢	谷1203-22層 G46-9822
40	19	11805	弥生土器 器台	谷1203-44層 G46-9643
41	20	1864	弥生土器 甕	谷1203-23層 G46-9833
41	20	1942	弥生土器 壺 弥生土器 小形手捏	谷1203-27b層 G46-8023
41	20	9297	ね土器 (甕)	谷1203-23層 G46-8052
41	20	9305 9306	弥生土器 甕 弥生土器 甕	谷1203-23層 G46-9642 谷1203-23層 G46-9752
41	20	9535	弥生土器 甕 (小形 甕)	谷1203-23ウ層 G46- 9631
41	20	9585	弥生土器 小形甕	谷1203-23層 G46-9535
41	20	9604	弥生土器 鉢	谷1203-23層 G46-9844
41	20	9606	弥生土器 器台	谷1203-28層 G46-8052
42	21	1943	弥生土器 手捏ね土 器(壺)	谷1203-27b層 G46-8023
42	21	5635	弥生土器 手捏ね土 器 (把手付杯)	谷1203-23層 G46-9631
42	21	12990	弥生土器 大形壺	谷1203-19層 G46-8023
42	22	5753	弥生土器 鉢	谷1203-49a層 G46-9534
42	22	7059	弥生土器 甕	谷1203-49c層 G46-8422
42	22	8239	弥生土器 甕 弥生土器 小形手捏	谷1203-48層 G46-8543
42	22	9120 11845	土器 (鉢) 弥生土器 高坏	谷1203-49b層 G46-8531 谷1203-45層 G46-9752
42	22	11889	弥生土器 鉢	谷1203-49b層 G46-7353
43	23	5904	弥生土器 壺	谷1203-50層 G46-7354
43	23	6190	弥生土器 高坏	谷1203-50層 G46-8423
43	23	6567	弥生土器 高坏	谷1203-50層 G46-7353
43	23	7405	弥生土器 壺(複合 口縁壺)	谷1203-50層 G46-8531
43	23	8078	弥生土器 甕	谷1203-51層 G46-8544
43	23	8149	弥生土器 壺	谷1203-23層 G46-9642
43	23	11885 6286	弥生土器 甕 弥生土器 鉢	谷1203-50層 G46-7355 谷1203-50層 G46-8412
44	24	7491	弥生土器 深鉢 弥生土器 甕(窓付	谷1203-50層 G46-7351
44	24	8827 8833	変) 弥生土器 甑	谷1203-25層 G46-9811 谷1203-25層 G46-9811
44	24	8993	弥生土器 甑	流路1202-5層 G47-6344
44	24	9486	須恵器 壺	谷1203-35層 G46-8413
44	24	9563	弥生土器 鉢	谷1203-50層 G46-7353
44	24	9567	弥生土器 支脚	谷1203-35層 G46-8544
44	24	9603	弥生土器 器台	谷1203-50層 G46-8412
44	24	12058 12059	弥生土器 甕 弥生土器 盤	谷1203-35層 G46-8543 谷1203-35層 G46-8543
44	24	12060	弥生土器 鉢(丸底)	谷1203-35層 G46-8543
45	25	4283	弥生土器 高坏	谷1203-48層 G46-9722
45	25	5658	弥生土器 壺	谷1203-36層 G46-7353
45	25	5681	弥生土器 壺 (無頸 壺)	谷1203-36層 G46-7354
45	25	5689	弥生土器 壺	谷1203-36層 G46-7353
45	25	8797	弥生土器 長頸壺	谷1203-36層 G46-7341
45 45	25 25	11961 11964	弥生土器 高坏 弥生土器 壺(二重	谷1203-36層 G46-8314 谷1203-36層 G46-8421
			口縁壺) 弥生土器 壺 (無頸	土器投棄1569-39層
46	26	4584	壺) 弥生土器 甕 (小形	G46-9614
46	26	4681	甕)	土器投棄1569 G46-8652
46	26	4687	弥生土器 壺	土器投棄1569 G46-9612
46	26	4688	弥生土器 鉢	土器投棄1569 G46-9612
46	26	6681	弥生土器 高坏 弥生土器 甕(小形	谷1203-39層 G46-9611
46	26	8213	甕)	谷1203-39層 G46-9611
46 46	26 26	8242 8246	弥生土器 器台 弥生土器 甑	谷1203-36層 G46-8354 谷1203-39層 G46-8545
46	26	11877	弥生土器 器台	谷1203-36層 G46-7353
46	26	12013	弥生土器 鉢(丸底	谷1203-36層 G46-8422
46	26	12048	深鉢) 弥生土器 支脚	谷1203-36層 G46-8411
47	27	4845	弥生土器 甕	上器投棄1570-41層 G46-8752
	L		l .	010 0102

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
47	27	4847	弥生土器 器台	土器投棄1570-41層
47	27	5167	弥生土器 器台	G46-8752 土器投棄1570 G46-8751
		5169		
47	27	8274	弥生土器 甕 弥生土器 甑	土器投棄1570 G46-8751 谷1203-40層 G46-9715
47	27	11985	弥生土器 台付甕 (窓付)	谷1203-64層 G46-7441
47	27	11986	弥生土器 甑	土器投棄1570-40層 G46-8654
48	28	3367	弥生土器 壺	谷1203-27層 G46-8024
48	28	7386	弥生土器	谷1203-42層 G46-8644
48	28	9358	弥生土器 台付甕 (窓付)	谷1203-27層 G46-8024
48	28	9576	弥生土器 支脚	谷1203-27a層 G46-8014
48	28	11820	弥生土器 壺	谷1203-42層 G46-8645
48	28	12380	弥生土器 蓋	谷1203-27a層 G46-8013
49	29	5061	弥生土器 甕	谷1203-42層 G46-8645
49	29 29	7372 7385	弥生土器 高坏 弥生土器 甑	谷1203-42層 G46-8751 谷1203-42層 G46-8644
49	29	8106	弥生土器 甕	谷1203-42層 G46-8751
49	29	8116	弥生土器 壺	谷1203-42層 G46-8644
49	29	8137	弥生土器 甕	谷1203-42層 G46-8751
49	29	8735	弥生土器 鉢	谷1203-42層 G46-8645
49	29	11919	弥生土器 壺 (袋状 口縁壺)	谷1203-42層 G46-8644
50	30	7298	ロ 核 型 / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	谷1203-51層 G46-8322
50 50	30	7312 7313	弥生土器 甕 弥生土器 壺	谷1203-51層 G46-7331 谷1203-51層 G46-7331
50	30	7513	弥生工器 壺	谷1203-51層 G46-7331 谷1203-51層 G46-8531
50	30	8079		
			弥生土器 鉢	谷1203-51層 G46-8544
50	30	8200	弥生土器 甑 弥生土器 壺(小形	谷1203-51層 G46-8414
50	30	11878	袋状口縁壺)	谷1203-52b層 G46-8413
29	31	5812	弥生土器 壺	谷1203-52層 G46-8425
29	31	7335	弥生土器 壺(広口 壺)	谷1203-52層 G46-8414
29 29	31 31	8199 9605	弥生土器 壺 弥生土器 高坏	谷1203-52層 G46-8414 谷1203-52層 G46-8641
29	31	11828	弥生土器 支脚	谷1203-52b層 G46-8415
30	32	7454	弥生土器 壺(袋状 口縁細頸壺)	谷1203-53層 G46-9533
30	32	7528	弥生土器 壺	谷1203-67層 G46-9633
30	32	8112	弥生土器 甕	谷1203-53層 G46-9523
30	32	8228	弥生土器 甕	谷1203-52層 G46-8414
30	32	11984	弥生土器 甕	谷1203-52層 G46-8414
53	33	4762	弥生土器 甕 (小形 甕)	溝状凹地1561 G46-0713
53	33	6166	弥生土器 壺	溝状凹地1567 G46-8322
53	33	6179	弥生土器 壺 (壺棺)	溝状凹地1567 G46-8334
53	33	8683	弥生土器 窓付土器	土器投棄1570-41層
24	34	7475	(無頸壺形) 弥生土器 小形手捏	G46-8752 井戸2029
			土器	
24	34	7479	弥生土器 甕	井戸2029
54	35	5375	弥生土器 甕	上器埋置1718
54	35	5395	弥生土器 壺 弥生土器 壺(広口	土器埋置1718
54	35	5396	壶)	土器埋置1716
54	35	5697	石器/利器 石包丁	谷1203-49層 G46-9514
55	36	141	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層 G47-8253
55	36	192	楽浪系土器 鉢(平 底鉢)	谷1203-11層 G47-9254
55	36	1986	楽浪系土器 鉢	谷1203-19層 G46-8032
55	36	2701	楽浪系土器 鉢	谷1203-10層 G46-8031
55	36	3314	楽浪系土器 鉢	谷1203-10b層 G46-7235
55	36	3625	楽浪系土器 椀	谷1203-40層 G46-9714
55	36	3702	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層 G46-8654
55	36	3732	楽浪系土器 鉢	谷1203-23層 G46-9721
55	36	8602	楽浪系土器 鉢	谷1203-10b層 G46-9812
55	36	8604	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層 G46-9713
55	36	8606	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層 G46-9614
55	36	8607	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層 G46-8654 公1202-22層 C46-0221
55	36	8608	楽浪系土器 大型鉢 楽浪系土器 鉢	谷1203-23層 G46-9821 公1203-30層 C46-0713
55 55	36 36	8660 8663	楽浪系土器 鉢 楽浪系土器 鉢	谷1203-39層 G46-9713 谷1203-22層 G46-9831
55	36	8664	楽浪系土器 鉢	谷1203-22層 G46-9821
99	50	0004	小 八八 100 100	7H 1400 44 官 UHU-3041

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置		
55	36	8665	楽浪系土器 鉢	谷1203-10b層 G46-9831		
55	36	8994	楽浪系土器 鉢	凹地1565 G46-9733		
55	36	8995	楽浪系土器 鉢	谷1203-10層 G46-0011		
55	36	9051	楽浪系土器 鉢	谷1203-23層 G46-9843		
55 55	36 36	9202 9203	楽浪系土器 鉢 楽浪系土器 鉢	谷1203-11層 G47-9135 谷1203-11層 G47-9153		
55	36	9437	楽浪系土器 鉢	谷1203-34層 G46-0923		
55	36	9438	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層 G46-9824		
55	36	9440	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層 G46-8542		
55	36	9442	楽浪系土器 大型鉢	谷1203-11層 G46-9051		
55	36	12982	楽浪系土器 鉢	谷1203-48層 G46-8551		
55	36 37	12984 716	<u>楽浪系土器 鉢</u> 三韓系瓦質土器 鉢	谷1203-11層 G47-9214 谷1203-10層 G46-9924		
56 56	37	3485	三韓系瓦質土器 鉢 三韓系瓦質土器 壺	谷1203-10層 G46-9924 谷1203-40層 G46-7355		
56	37	6579	三韓系瓦質土器 碗	谷1203-50層 G46-7354		
56	37	7621	三韓系土器	谷1203-36層 G46-7352		
56	37	8501	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-48層 G46-8313		
56	37	8506	三韓系瓦質土器 壺	溝状凹地1567-47層		
				G46-8323		
56	37	8605	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-36層 G46-8411		
56	37	8789	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-10b層 G46-9534		
			PARE LEE AL	W		
56	37	9056	陶質土器 鉢	谷1203-10b層 G46-9851		
56	37	9057	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-11層 G46-9743		
56	37	9062	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-49a層 G46-8312		
56	37	9581	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-35層 G46-8412		
56	37	9656	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-10b層 G46-8235		
			外来系弥生土器	65		
57	38	1382	甕(山陰か) 壺	谷1203 G46-8023		
			外来系弥生土器			
57	38	2661	(近畿西部系) 器	谷1203-36層 G46-8542		
			台			
57	38	4049	外来系弥生土器 (山陰系) 壺	谷1203-36層 G46-8435		
			外来系弥生土器			
57	38	8788	(山陰系) 壺	谷1203-48層 G46-8551		
57	38	8812	外来系弥生土器	谷1203-38層 G46-7352		
01	50	0012	(山陰系) 小型甕	石1200 00個 040 1002		
	20	0054	外来系弥生土器	※1909 40 屋 €4€ 9499		
57	38	9054	(西部瀬戸内系) 毒	谷1203-49a層 G46-8433		
			外来系弥生土器			
57	38	9078	(西部瀬戸内系)	谷1203-36層 G46-8422		
			壺			
57	38	9089	外来系土師器甕(山	谷1203-36層 G46-8423		
٠.		0000	<u>陰系) 甕</u> 外来系弥生土器	11800 00/H 010 0180		
57	38	9091	外米米弥生工器 (近畿系河内か)	谷1203-49層 G46-7351		
37	30	9091	虚 (以 載 示 刊) 7 7	台1203-49周 G40-7331		
			外来系弥生土器			
57	38	9164	(山陰系) 器台	谷1203-11層 G46-9014		
			(鼓形器台)	A		
57	38	9278	外来系弥生土器	谷1203-36層 G46-8553		
			(山陰系) 低脚杯	7		
57	38	9528	外来系弥生土器 (山陰系) 甕	谷1203-10b層 G46-9822		
	0.0	11700	外来系弥生土器	※1000 40 日 040 041		
57	38	11782	(瀬戸内系) 甕	谷1203-49a層 G46-8445		
			外来系弥生土器			
57	38	11862	(山陰系) 鼓形器	谷1203-11層 G46-9032		
			台 外来系弥生土器			
57	38	11867	(山陰系) 鼓形器	谷1203-11層 G46-9032		
31	30	11007	台	行1203 II/音 040 9032		
	0.0	11000	外来系弥生土器	W1000 00 R 040 0010		
57	38	11926	(瀬戸内系) 甕	谷1203-23層 G46-9612		
		40	外来系弥生土器	W4000 4: 🖫		
57	38	12377	(山陰系) 壺(小型	谷1203-11層 G47-9312		
			甕) 外来系弥生土器			
57	38	12985	(瀬戸内系) 壺	谷1203-23層 G46-9735		
FC	0.0	F.40	土師器	₩1000 11 B 0/2 000=		
58	39	748	甕(布留式系) 壺	谷1203-11層 G46-9935		
58	39	4924	外来系弥生土器 広	柱穴1630 G46-88		
00	00	1041	片口三耳鉢			
58	39	8308	外来系弥生土器	流路1388-35層 G46-		
			(豊前系) 甕 外来系弥生土器 壺	7235		
58	39	9079	(高杯)	谷1203-23層 G46-9821		
EO	20	0104	外来系弥生土器/土	次1909_10屋 040 9041		
58	39	9184	師器 高坏	谷1203-10層 G46-8041		

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置		
58	39	9185	外来系弥生土器	谷1203-22層 G46-9942		
58	39	9204	(豊前系) 壺 外来系弥生土器 広	谷1203-10b層 G46-8035		
58	39	9206	片口三耳鉢 外来系弥生土器 鉢	谷1203-11層 G46-8055		
58	39	9483	外来系弥生土器	谷1203-11層 G46-9833		
36	40	471	(肥前型) 器台 青銅器 耳環	谷1203-11層 G46-9052		
36	40	1480	青銅器 小形仿製鏡	谷1203-11層 G46-8042		
36	40	1884	青銅器 小形仿製鏡	谷1203-10b層 G46-9512		
36	40	1920	青銅器 銅鏡	谷1203-10b層 G46-9512		
36	40	4027	青銅器 小形仿製鏡	谷1203-22層 G46-9634		
36	40	4472	青銅器 小銅鐸	土器投棄1569 G46-8654		
36	40	5350	青銅器貨泉	谷1203-62層 G46-9634		
37	41	66	鉄器/利器 鉄斧(袋 状鉄斧)	谷1203-11層 G47-9145		
37	41	881	青銅器 銅鏃	谷1203-11層 G46-9815		
37	41	1183 2293	青銅器 銅鏃	溝1204-4b層 G47-6212 谷1203 G46-8413		
37	41	2861	鉄器 鑿状鉄器	谷1203-10b層 G46-9553		
37	41	3624	青銅器/利器 銅鏃	谷1203-40層 G46-8754		
37	41	3655	青銅器 銅鏃 鉄器 不整板状鉄製	谷1203-28層 G46-8044		
37	41	3686	П	谷1203-40層 G46-9615		
37	41	5153	青銅器/利器 銅鏃	谷1203-10b層 G46-9753		
37	41	5222 7083	青銅器 銅鏃 鉄器 鋳造鉄斧	谷1203-36層 G46-8543 谷1203-51層 G46-7353		
38	42	7309	鉄器/利器 鉄斧(鋳	谷1203-52b層 G46-7354		
39	43	881	造鉄斧) 青銅器 銅鏃	谷1203-520層 G46-7354 谷1203-11層 G46-9815		
39	43	1183	青銅器 銅鏃	溝1204-4b層 G47-6212		
39	43	1480	青銅器 小形仿製鏡	谷1203-11層 G46-8042		
39	43	1920	青銅器 銅鏡	谷1203-10b層 G46-9512		
39	43	2293 3624	青銅器 銅鏃 青銅器/利器 銅鏃	谷1203 G46-8413 谷1203-40層 G46-8754		
39	43	3651	鉄器 鋳造鉄斧	谷1203-39層 G46-8751		
39	43	3655	青銅器 銅鏃	谷1203-28層 G46-8044		
39	43	4027 4472	青銅器 小形仿製鏡	谷1203-22層 G46-9634 土器投棄1569 G46-8654		
39	43	5153	青銅器/利器 銅鏃	谷1203-10b層 G46-9753		
39	43	5222	青銅器 銅鏃	谷1203-36層 G46-8543		
39	43	5350	青銅器 貨泉 平鍬(有肩有段)	谷1203-62層 G46-9634		
40	44	6376 6443	平鍬 (有肩有段) 平鍬 (有肩)	谷1203-23層 G46-9741 谷1203-23層 G46-9744		
40	44	6487	平鍬 (有肩無段)	谷1203-23層 G46-9642		
40	44	6868	平鳅(有肩有段)	谷1203-49a層 G46-8434		
40	44	6882	平鍬 (有肩有段)	谷1203-49b層 G46-8435		
40	44	6941	平鳅 (有肩有段)	谷1203-49b層 G46-8424		
40	44	6976	平鍬	谷1203-49b層 G46-8422		
40	44	7239	平鍬(有肩有段)	凹地1557 G46-8041		
40	44	7559	平鍬 (有肩)	谷1203-49b層 G46-7354		
41	45	4559	木器 平鍬	凹地1565-23層 G46- 9732		
41	45	5653	木器 平鋤(有肩無 段)	谷1203-23層 G46-9632		
41	45	6872	平鍬 (有肩有段)	谷1203-49a層 G46-8434		
41	45	6998	平鍬 (有肩有段)	谷1203-49b層 G46-8423		
41	45	7004	平鳅(有肩有段)	谷1203-49b層 G46-8434		
41	45 45	7236 12300	平鍬 (有肩有段)	谷1203-23層 G46-8051 谷1203-23層 G46-9643		
42	46	2648	平鍬(撫肩無段)	谷1203-19層 G46-8032		
42	46	4086	平鍬 (有肩有段)	谷1203-49層 G46-8315		
42	46	5216 6495	平鍬 (撫肩無段) 平鍬 (撫肩有段)	凹地1565 G46-9722 谷1203-23層 G46-9632		
42	46	6753	弥生土器	谷1203-49c層 G46-9515		
42	46	7058	平鍬 (撫肩有段)	谷1203-49c層 G46-8422		
	47	2084	平鍬(有肩有段/円	谷1203-26層 G46-9955		

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置	
43	47	5214	鍬柄 (泥除け/紐固 定)	凹地1565 G46-9723	
43	47	5529	鍬柄 (泥除け/紐固	谷1203-23層 G46-9632	
43	47	5652	定) 木器 鍬柄 (泥除け/	谷1203-23層 G46-9632	
43	47	5882	紐固定) 平鍬(丸刃有肩有	谷1203-49b層 G46-9513	
43	47	6860	段) 平鍬 (撫肩無段)	谷1203-49a層 G46-8432	
43	47	6862	広鍬	谷1203-49a層 G46-8411	
43	47	7036	鍬柄 (泥除け)	谷1203-64層 G46-7355	
43	47	7069	平鍬(円刃有肩有段)	谷1203-49b層 G46-7353	
44	48	2649 3644	<u>三叉鍬(有肩)</u> 木器 平鍬	谷1203-19層 G46-8032 谷1203-19層 G46-9733	
44	48	5504	狭鍬 (有肩)	谷1203-23層 G46-9645	
44	48	5649	三叉鍬 (撫肩)	谷1203-23層 G46-9525	
44	48	6797	三叉鍬(有肩)	谷1203-49c層 G46-9513	
44	48	6861	狭鍬 (有肩)	谷1203-49a層 G46-8411	
44	48	12295	狭鍬 (無肩)	谷1203-23層 G46-9632	
45	49	1913 1916	二叉鍬 (撫肩)	谷1203-22層 G46-9942 谷1203-19層 G46-9923	
45 45	49	2075	横鍬 三叉鍬(撫肩)	谷1203-19層 G46-9923 谷1203-26層 G46-9924	
45	49	2232	三人歌 (無用) 叉鋤 (有肩)	谷1203-26層 G46-9924 谷1203-34層 G46-9032	
45	49	5732	木器 二叉鍬(有肩)	谷1203-49層 G46-9523	
45	49	5795	二叉鍬(撫肩)	谷1203-49b層 G46-9535	
45	49	5919	三叉鍬(撫肩)	谷1203-49c層 G46-8552	
45	49	6586	二叉鍬(撫肩)	谷1203-23イ層 G46- 9741	
45	49	6858	叉鍬 (有肩)	谷1203-55層 G46-8432	
45	49	7705	木器 三叉鳅	0	
46	50	3644	木器 平鍬	谷1203-19層 G46-9733	
46	50	4668	木器 鍬柄(鍬柄)	谷1203-23層 G46-9734	
46	50	5708	鋤 (柄部)	谷1203-49層 G46-9524	
46	50	5730	鍬柄 (鍬柄)	谷1203-49層 G46-9513	
46	50	5741	鍬柄 (鍬柄)	谷1203-49層 G46-8552	
46	50			谷1203-49b層 G46-8542	
46	50	6390	二叉鍬 (撫肩)	谷1203-23層 G46-9735	
46	50	6492			
46	50	7077	鍬柄 (鍬柄)	谷1203-49b層 G46-8434	
46	50	7238	鍬柄 (鍬身固定具)	谷1203-49b層 G46-7334	
46	50	7590	鍬柄 (鍬身固定具)	谷1203-49b層 G46-8314	
46	50	12543	木器 鳅柄(鳅身固 定具)	谷1203-26層 G46-9923	
47	51	5800	一木鋤	谷1203-49b層 G46-9514	
47	51	5889	一木鋤(小形鋤)	谷1203-49b層 G46-8553	
47	51	5892	一木鋤 (小形)	谷1203-49b層 G46-9513	
47	51	7106	一木鋤	谷1203-49b層 G46-8314	
47	51	7591	鳅柄 (鳅柄)	谷1203-49b層 G46-8314	
48	52	1911	鋤	谷1203-22層 G46-9942	
48	52	2653	柄振	谷1203-19層 G46-8021	
48	52	2727	柄振 (細点)	土壙1391 G46-8033	
48	52	4427	一木鋤(細身)	谷1203-19層 G46-9921	
48	52	5530	田下駄/部材(和カ ンジキ形/横板部材)	谷1203-23層 G46-9631	
48 48	52 52	5589 5717	尖頭具 (柄付) 鋤 (柄部)	谷1203-23層 G46-9643 谷1203-49層 G46-9524	
48	52	5806	鋤(柄部)	谷1203-49a層 G46-8552	
48	52	6846	柄振	谷1203-23層 G46-9632	
48	52	6869	一木鋤	谷1203-49a層 G46-8434	
49	53	2262	竪杵(有肩長涙滴 形)	谷1203-34層 G47-9123	
49	53	5210	木器 竪杵 (撫肩)	凹地1565 G46-9723	
49	53	5702	竪杵 (長涙滴形)	谷1203-49層 G46-9524	
49	53	5713	竪杵(長涙滴形)	谷1203-49層 G46-9514	
49	53	5915	竪杵	谷1203-49c層 G46-8551	

50 54 5506 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5802 砧 谷1203-23層 G46 50 54 6493 竪杵 谷1203-23層 G46 50 54 6545 竪杵 (有肩) 谷1203-23 屬 G46 50 54 7569 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-49c層 G46 51 55 2123 扇 谷1203-23層 G46 51 55 2123 扇 谷1203-23 屬 G46 51 55 3706 木器 ・ 田 (細形) 谷1203-23 屬 G46 51 55 4201 木器 ・ 田 (細形) 谷1203-23 屬 G46 51 55 5600 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23 屬 G46 51 55 5726 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49 屬 G46 51 55 5726 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49 屬 G46 51 55 5794 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49 屬 G46 51 55 7545 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49 屬 G46 51 55 7545 竪杵 (単頭無肩) 谷1203-49 屬 G46 51 55 7547 竪杵 (単頭無肩) 谷1203-49 屬 G46 51 55 7547 野杵 (半頭有肩細形) 谷1203-49 屬 G46 51 55 12362 竪杵 (単頭無肩) 杭群2086 G46 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49 屬 G46 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49 屬 G46 52 56 6870 竪杵 (再段単頭短 谷1203-23 屬 G46 52 56 6870 竪杵 (再段単頭短 谷1203-23 ⑥ G46 ○日 (日203-23 ⑥ G	16-8434 16-8434 16-8434 16-9823 1-9823 1-9824 16-8535 16-8535 16-7352 16-7352 16-7352 16-7352 16-7352 16-7352 16-7352 16-9051 16-9051 16-9535 16-8552 16-8552 16-8552
49 53 7075 竪杵 谷1203-49b層 G4 50 54 1861 木器 砧 (撫肩) 谷1203-23層 G46 50 54 2237 砧 (撫肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5506 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5802 砧 谷1203-23層 G46 50 54 6493 竪杵 谷1203-23層 G46 50 54 6545 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 50 54 7569 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-49c層 G4 51 55 2123 木器 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-49c層 G46 51 55 2189 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23層 G46 51 55 2189 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23層 G46 51 55 3706 木器 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23層 G46 51 55 4201 肩細形) 谷1203-23層 G46 51 55 5600 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23層 G46 51 55 5726 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-23層 G46 51 55 5726 竪杵 (単頭有肩細 谷1203-49b層 G46 51 55 5754 竪杵 (単頭有肩細 谷1203-49b層 G46 51 55 7545 竪杵 (単頭無肩) 谷1203-49b層 G46 51 55 7546 医牡杵 (東頭有肩細 谷1203-49b層 G46 51 55 7547 田形) 谷1203-49b層 G46 51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G46 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G46 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49e G46 52 56 6291 横椎 谷1203-23	16-8434 16-9823 16-9824 16-9645 16-8535 16-8535 16-7352 16-7352 16-7352 16-7352 16-9051 16-9913 16-9524 16-9535 16-8552 16-8552 16-8552
50 54 1861 木器 砧 (撫肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5237 砧 (撫肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5506 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 50 54 6545 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 分1203-23層 G46 分1203-23層 G46 分1203-23層 G46 分1203-23層 G46 分1203-23月層 G46 分1203-23月月 G46 分12	3-9823 3-9824 3-9645 3-9645 3-9632 3-9632 3-9632 3-9735 3-9913 3-9743 3-9524 3-9645 3-9535 3-9645 3-9645 3-9645
50 54 2237 砧 (撫肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5506 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 50 54 6545 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 分1203-23月	6-9824 6-9645 16-8535 6-9632 646- 66-7352 6-9051 6-9913 6-9743 6-9524 6-9535 16-8552 6-9645
50 54 2237 品 (無肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5506 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 50 54 5802 品 谷1203-23層 G46 50 54 6545 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 分1203-23月層 G46 分1203-23月層 G46 分1203-23月層 G46 分1203-49c層 G46 分1203-23層 G46 分1203-49b層 G48 分1203-49b層 G48 分1203-49b層 G48 分1203-49b層 G48 分1203-49c月 G48 分1203-4	6-9824 6-9645 16-8535 6-9632 646- 66-7352 6-9051 6-9913 6-9743 6-9524 6-9535 16-8552 6-9645
50 54 5506 竪杵 (有肩) 谷1203-23層 G46 50 54 6493 竪杵 谷1203-23層 G46 50 54 6545 竪杵 (有肩) 谷1203-237層 G46 50 54 6545 竪杵 (有肩) 谷1203-237 層 G46 50 54 7569 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-49c層 G46 51 55 2123 扇 谷1203-10層 G46 51 55 2123 木器 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23層 G46 51 55 3706 木器 丘 (細形) 谷1203-23層 G46 51 55 4201 木器 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23層 G46 51 55 5600 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-23層 G46 51 55 5726 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49b層 G46 51 55 5726 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49b層 G46 51 55 5794 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49b層 G46 51 55 7545 竪杵 (単頭無肩) 谷1203-49b層 G46 51 55 7547 竪杵 (単頭無肩) 谷1203-49b層 G46 51 55 7547 野杵 (半頭有肩細形) 谷1203-49b層 G46 51 55 12362 竪杵 (単頭無肩) 杭群2086 G46 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G46 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49e	6-9645 6-8535 6-8535 6-8532 646- 6-7352 6-9051 6-9913 6-9743 6-9645 6-9535 6-8552 6-9645
50 54 5802 6493 SE丼 公1203-49b層 648 6493 SE丼 公1203-237 646 6493 SE丼 公1203-237 646 6493 SE丼 (有肩) 公1203-237 646 6493 SE丼 (単頭有肩) 公1203-49c層 648 641 64	6-8535 6-9632 6-67352 6-7352 6-9051 6-9913 6-943 6-9645 6-9535 6-8552 6-8552
50 54 6545 竪杵(有肩)	646- 6-7352 6-9051 6-9913 6-9743 6-9524 6-9645 6-9535 6-8552 6-9645
50 54 7569 SEPT (早頭有肩) 9741	6-7352 6-9051 6-9913 6-9743 6-9524 6-9645 6-9535 6-8552 6-9645
51 55 2123 木器 竪杵 (単頭有 谷1203-10層 G46 51 55 2189 竪杵 (単頭有肩) 谷1203-23層 G46 51 55 3706 木器 医杵 (単頭有 谷1203-23層 G46 石間 石間 〇月203-23層 G46 〇月203-23層 G46 〇月203-23層 G46 〇月203-23層 G46 〇月203-23層 G46 〇月203-49層 G46 〇月203-49層 G46 〇月203-49月 G46 〇月203-49月 G46 〇月203-49月 G46 〇月203-49月 G47 〇月203-23月 G47 〇月2	6-9051 6-9913 6-9743 6-9524 6-9645 6-9535 6-8552 6-9645
51 55 2123 肩	6-9913 6-9743 6-9524 6-9645 6-9535 46-8552 6-9645
51 55 3706 木器 砧 (細形) 谷1203-23層 G46 51 55 4201 木器 竪杵 (単頭有 洞細形) 谷1203-48層 G46 51 55 5600 竪杵 (単頭撫肩細 形) 谷1203-23層 G46 51 55 5726 竪杵 (単頭無肩細 形) 谷1203-49層 G46 51 55 5794 竪杵 (単頭有肩細 形) 谷1203-49b層 G46 51 55 6687 竪杵 (単頭有肩細 谷1203-49b層 G46 公1203-49b層 G46 51 55 7546 竪杵形の木器未成品 谷1203-49b層 G46 公1203-49b層 G46 51 55 7547 竪杵 (未成品)有肩 谷1203-49b層 G46 公1203-49b層 G46 51 55 12262 竪杵 (単頭有肩細 分) 杭群2086 G46 51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細 分) 台1203-49c層 G46 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G46 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G46 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49c層 G46 52 56 5914 横杵 谷1203-49c層 G46 52	6-9743 6-9524 6-9645 6-9535 46-8552 6-9645
51 55 4201 末器 竪杵(単頭有 肩細形) 谷1203-48層 G46 51 55 5600 竪杵(単頭撫肩細 形) 谷1203-23層 G46 51 55 5726 竪杵(単頭無肩細 形) 谷1203-49♭層 G46 51 55 5794 竪杵(単頭有肩細 形) 谷1203-49♭層 G4 51 55 6687 形) 谷1203-23層 G46 51 55 7545 竪杵(単頭撫肩) 谷1203-49♭層 G4 51 55 7546 竪杵形の木器未成品 (未成品) 谷1203-49♭層 G4 51 55 7547 竪杵(串頭撫肩) 杭群208-6 G46 51 55 12262 竪杵(単頭有肩細 形) 杭群208-6 G46 51 55 12362 竪杵(単頭有肩細形) 台1203-49ヶ層 G4 51 55 12735 砧(単頭有肩細形) 台1203-49ヶ層 G4 51 55 12735 砧(単頭有肩細形) 台1203-49ヶ層 G4 52 56 5841 砧(粗製) 谷1203-49ヶ層 G4 52 56 5914 横杵 谷1203-49ヶ層 G4 52 56 6291 横椎 谷1203-23層 G4 52 56 6291 横椎 谷1203-23層 G4 52 56 6291 横椎 谷1203-23層 G4	6-9524 6-9645 6-9535 6-8552 6-9645
51 55 5600 図件 (無肩) 谷1203-48層 G42 6	6-9645 6-9535 6-8552 6-9645
51 55 5726 竪杵 (単頭無肩細形) 谷1203-49層 G46 51 55 5794 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49b層 G46 51 55 6687 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-23層 G46 51 55 7545 竪杵 (単頭無肩) 谷1203-49b層 G4 51 55 7546 竪杵 (未成品) 谷1203-49b層 G4 51 55 7547 窓杵 (未成品) 谷1203-49b層 G4 51 55 12262 竪杵 (単頭撫肩) 杭群2086 G46 51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G4 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G4 52 56 3575 横槌 出場1391-46層 G4 52 56 5914 横杵 谷1203-49b層 G4 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G4	6-9535 16-8552 6-9645
51 55 5726 形 日東有肩細 谷1203-49層 G48 日東有肩細 谷1203-496 G48 形 日東有肩細 谷1203-496 G48 形 日東有肩細 谷1203-496 G48 日東有肩細 〇十四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	6-8552 6-9645
51 55 5794 竪杵 (単頭有肩細 形) 谷1203-49b層 64 51 55 6687 竪杵 (単頭有肩細 形) 谷1203-23層 646 51 55 7545 竪杵 (単頭撫肩) 谷1203-49b層 64 51 55 7546 竪杵形の木器未成品 (未成品) 谷1203-49b層 64 51 55 7547 駅杵 (未成品) 谷1203-49b層 64 51 55 12262 竪杵 (単頭撫肩) 杭群2086 646 51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 64 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 64 52 56 3575 横槌 出域1391-46層 64 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49e層 64 52 56 5914 横杵 谷1203-23層 64 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 64 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 64 52 56 6870 竪杵 (有段単頭短 公1203-49e層 64	5-9645
151 55 6687 医杵 (単頭有肩細 谷1203-23層 G46 下) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	5-9645
151 55 7545 竪杵(単頭撫肩) 谷1203-49b層 G4 51 55 7546 竪杵の木器未成品 (未成品) 谷1203-49b層 G4 51 55 7547 竪杵(未成品/有肩 細形) 台1203-49b層 G4 51 55 12262 竪杵(単頭撫肩) 杭群2086 G46 51 55 12362 竪杵(単頭有肩細 谷1203-49c層 G4 51 55 12735 砧(単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G4 52 56 3575 横槌 土壙1391-46層 G4 52 56 5914 横杵 谷1203-49b層 G4 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G46 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G46 52 56 6870 竪杵(有段単頭短 公1203-49c	
51 55 7546 堅杵形の木器未成品 (未成品) 谷1203-49b層 64 51 55 7547 竪杵 (未成品)有肩 (公元公司) 谷1203-49b層 64 51 55 12262 竪杵 (単頭撫肩) (本群2086 646 51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細 (公元公司) 谷1203-49c層 64 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 64 52 56 3575 横槌 (独製) (公元公司) 公1203-49層 64 52 56 5914 横杵 (有段単頭短 (公1203-23層 646) 52 56 6870 竪杵 (有段単頭短 (公1203-49c) 公1203-49c)	to 0041
51 55 7546 (未成品) 台1203-496層 G4 51 55 7547 經杵 (未成品/有肩細形) 台1203-496層 G4 51 55 12262 竪杵 (単頭無肩) 杭群2086 G46 51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細形) 台1203-49c層 G4 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 台1203-49c層 G4 52 56 3575 横槌 出壙1391-46層 G4 52 56 5841 砧 (粗製) 台1203-49層 G4 52 56 6914 横杵 台1203-23層 G4 52 56 6870 竪杵 (有段単頭短 公1203-049 層 G4 52 56 6870 竪杵 (有段単頭短 公1203-049 層 G4	
51 55 12262 堅杵 (単頭撫肩) 杭群2086 G46 51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細 谷1203-49c層 G46 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G46 52 56 3575 横槌 土壙1391-46層 G803 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49層 G46 52 56 5914 横杵 谷1203-23層 G46 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G46 52 56 6870 堅杵 (有段単頭短 公1203-049 層 G46	
51 55 12362 竪杵 (単頭有肩細 形) 谷1203-49c層 G4 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 谷1203-49c層 G4 52 56 3575 横槌 土壙1391-46層 G8033 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49層 G46 52 56 5914 横杵 谷1203-49b層 G4 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G46 52 56 6870 竪杵 (有段単頭短 公1203-049 層 G4	19-8541
51 55 12362 形) 台1203-49c層 64 51 55 12735 砧 (単頭有肩細形) 台1203-49c層 64 52 56 3575 横槌 土壙1391-46層 68 52 56 5841 砧 (粗製) 台1203-49層 64 52 56 6914 横杵 台1203-49b層 64 52 56 6291 横槌 台1203-23層 64 52 56 6870 堅杵(有段単頭短 公1203-049局 64	
51 55 12735 砧(単頭有肩細形) 谷1203-49c層 64 52 56 3575 横槌 出域1391-46層 68 52 56 5841 砧(粗製) 谷1203-49層 64 52 56 5914 横杵 谷1203-49h層 64 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 64 52 56 6870 堅杵(有段単頭短 公1203-049局 64	6-9633
52 56 35/5 模槌 8033 52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49層 G46 52 56 5914 横杵 谷1203-49b層 G46 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G46 52 56 6870 竪杵 (有段単頭短 公1203-49a層 G46	16-8541
52 56 5841 砧 (粗製) 谷1203-49層 G4€ 52 56 5914 横杵 谷1203-49b層 G4€ 52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G4€ 52 56 6870 堅杵(有段単頭短 公1203-049 層 G4€	G46-
52 56 6291 横槌 谷1203-23層 G46	5-95 <u>12</u>
52 56 6870 竪杵(有段単頭短 公1203-40a層 C4	
1 59 1 56 1 6870 1 = 1	5-9742
52 50 6070 形) 171203 434/ 64	6-8434
7.0.7	7-9221
53 57 1970 尖頭器(簎) 谷1203-126層 G46	
53 57 2279 尖頭器(簎) 谷1203-12層 G47	
53 57 2358	
53 57 2971 尖頭器(簎)(基部両 谷1203-42層 G46	6-8655
田田(10)	
	5-9645 5-9524
小頭哭(籍)(其郊面	
55 57 5709 面削ぎ) 日 本男 生殖界(笹)	
53 57 5858 (基部両面削ぎ) 谷1203-49a層 G4 大器 尖頭器(籍)	16-8553
53 57 5963 (未成品(基部両面削 谷1203-49b層 G4 ぎ))	6-9513
53 57 6553 尖頭器(籍) (箆状) 凹地1565 G46-97	41
53 57 6782 木器 尖頭器(籍) 谷1203-49b層 G4 (脇部)	6-8542
53 57 6830 尖頭器(簎) 谷1203-55層 G46	5-8423
53 57 6853 尖頭器(簎)(長形) 谷1203-49層 G46	9545
53 57 7022 尖頭器(籍) 谷1203-49a層 64	16-8324
53 57 7087 尖頭器(籍) 谷1203-49b層 64	16-8422
53 57 12112 木器 尖頭器(籍) 谷1203-49b層 64	6-8531
53 57 12137 木器 尖頭器(籍) 谷1203-44層 G4€	
53 57 12974 木器 籍谷1203-44 層 G46	5-9743
54 58 145 木器 尖頭器(簎) 谷1203-11層 G47	5-9743 5-9743
54 58 794 木器 尖頭器(簎) 谷1203-11層 G46	
54 58 2688 尖頭器(簎) 谷1203-11層 G46	5-9743
54 58 3633 尖頭器 (短形) 谷1203-23層 G46	3-9743 7-9135
	5-9743 7-9135 5-8054 5-9514 5-9735
	5-9743 7-9135 5-8054 5-9514 5-9735 5-9734
54 58 5181 尖頭器(籍) (未成	5-9743 7-9135 5-8054 5-9514 5-9735

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置	
54	58	5364	尖頭器(簎)(中軸 部)	谷1203-45層 G46-9643	
54	58	5636	尖頭器 (太形円基)	谷1203-23層 G46-9631	
54	58	5718	木器 尖頭器(簎)	谷1203-48層 G46-8554	
54	58	5857	(基部片面削ぎ) 木器 尖頭器(籍)	谷1203-49a層 G46-8553	
54	58	5862	(未成品) 柄		
			大頭器 (短形基部	谷1203-49b層 G46-9535	
54	58	5878	削ぎ) 尖頭器(簎)(基部両	谷1203-49b層 G46-8551	
54	58 58	6300	面削ぎ) 尖頭器(簎)	谷1203-55層 G46-8425	
54 54	58	6494 6783	木器 尖頭器(簎)	谷12個8-6236-9632 谷1203-49b層 G46-8542	
54	58	6877	(中軸部) 尖頭器(籍)(基部片	谷1203-23層 G46-9642	
54	58	6918	面削ぎ) 木器 尖頭器(籍)		
			(中軸部材) 尖頭器(簎)(基部片	谷1203-49b層 G46-8435	
54	58	6972	面削ぎ)	谷1203-49c層 G46-8423	
54	58	7086	尖頭器(簎)	谷1203-49b層 G46-8422	
54	58	7578	尖頭器(簎)	谷1203-49b層 G46-8551	
54	58	12071	尖頭器(簎) (未成 品)	谷1203-44層 G46-9754	
54	58	12116	木器 尖頭器(籍) (太形)	谷1203-42層 G46-8751	
55	59	1305	尖頭器 (篦形)	谷1203-11層 G46-9014	
55	59	5279	尖頭器 (箆形)	谷1203-11層 G46-9633	
55	59	5365	両端を箆状に整形する木製品。(箆状)	谷1203-45層 G46-9643	
55	59	5978	掘り棒	谷1203-49a層 G46-9525	
55	59	6436	尖頭器 (箆状) 両端を楔状に整形す	谷1203-23層 G46-9633	
55	59	7051	る木製品(両端両面削ぎ)	谷1203-49b層 G46-8422	
55	59	7612	尖頭器 (箆状)	谷1203-49c層 G46-8541	
55	59	7613	両端を箆状に整形す る木製品。 (箆状)	谷1203-49c層 G46-8541	
55	59	12255	尖頭器 (太形)	杭群2086-49b層(下) G46-7953	
56	60	4509	網枠	谷1203-23層 G46-9821	
56	60	5831	櫂	谷1203-49b層 G46-9524	
56	60	5916	網枠	谷1203-49c層 G46-8551	
56	60		網枠/部材	谷1203-23層 G46-9634	
56	60	7600	網枠	谷1203-49b層 G46-8314	
56	60	12338	網枠	谷1203-49層 G46-8411	
56	60	12340	網枠	谷1203-49b層 G46-8422	
57	61	2689	木器 斧柄(鉄斧用 横斧膝柄/逃げ角)	谷1203-19層 G46-8032	
57	61	5209	木器 斧柄(鉄斧用 縦斧膝柄)	凹地1565 G46-9723	
57	61	5581	木器 斧柄 (袋状鉄 斧用縦斧膝柄)	谷1203-23層 G46-9633	
57	61	5828	斧柄 (小形鉄斧横斧 膝柄)	谷1203-49b層 G46-9524	
57	61	6366	条柄(鉄斧用横斧 柄)	谷1203-23層 G46-9744	
57	61	6582	所	谷1203-23層 G46-9744	
57	61	12089	条柄(鉄斧縦斧膝 柄)	谷1203-22層 G46-9835	
57	61	12258	所) 斧柄(鉄斧用横斧膝 柄)	杭群2086-49b層(下) G46-7953	
57	61	12547	木器 斧柄(横斧膝柄)	谷1203-11層 G46-9514	
58	62	1906	木器 斧柄 (小形鉄 製横斧柄)	谷1203-26層 G46-9922	
58	62	2951	柄 (直柄)	谷1203-11層 G46-9645	
58	62	5211	斧柄 (横斧膝柄)	凹地1565 G46-9733	
58 58	62 62	5603 5647	鎌柄 斧柄(横斧膝柄)	谷1203-23層 G46-9645 谷1203-23層 G46-9632	
58	62	5705	鎌柄	谷1203-49層 G46-9514	

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
58	62	5962	鎌柄	谷1203-49b層 G46-9513
58 58	62 62	6479 6763	柄 柄 (膝柄)	谷1203-23層 G46-9734 谷1203-23層 G46-9631
58	62	6773	斧柄(鉄斧横斧膝	谷1203-23層 G46-9634
58	62	6794	柄) 斧柄(未成品(横斧	谷1203-49層 G46-8553
58	62	7064	<u>膝柄))</u> 柄	谷1203-49b層 G46-7352
58	62	7079	鞘	谷1203-49b層 G46-8434
	- 02		… 木器 端部に臍をも	1200 100/6 010 0101
59	63	1858	つ板状器具(研磨 具) 木器 火鐟臼(未使	谷1203-23層 G46-9823
59	63	1876	用)	谷1203-23層 G46-9835
59	63	1880	木器 紡錘車(両面膨隆)	谷1203-23層 G46-9825
59 59	63 63	3802 4511	火鐟臼 木器 紡錘車(両面	谷1203-23層 G46-9831 谷1203-22層 G46-9841
		5525	膨隆) 刷毛目調整工具(凹	
59 59	63	5695	形) 火鐟臼	谷1203-45層 G46-9733 谷1203-49層 G46-9514
59	63	5696	紡錘車(片面膨隆)	谷1203-49層 G46-9514
59	63	5748	刷毛目調整工具	谷1203-49b層 G46-9514
59	63	5979	箆状木器	谷1203-49a層 G46-9525
59	63	6295	紡錘車(片面膨隆/ 円錐形)	谷1203-45層 G46-9655
59	63	6323	紡錘車 (片面膨隆/ 半球形)	谷1203-49a層 G46-8433
59	63	6875	紡錘車 (片面膨隆)	谷1203-23層 G46-9642
59	63	7065	叩き板	谷1203-49b層 G46-7352
59	63	7449	刷毛目調整工具(凹形)	谷1203-48層 G46-8541
59	63	7583	火鐟臼	谷1203-49b層 G46-7352
59	63	12092	木器 紡錘車(片面膨隆/半球状)	谷1203-38層 G46-8432
59	63	12102	木器 紡錘車(両面 膨隆/薄形)	谷1203-42層 G46-9812
59	63	12106	木器 紡錘車(片面 膨隆/半球形)	谷1203-38層 G46-8445
59	63	12107	木器 紡錘車 (平形)	谷1203-19層 G46-9833
60	64	1236	木鏃 (細形紡錘形)	谷1203-11層 G46-9032
60	64	1647	盾(丹塗り盾)	谷1203-23層 G46-9921
60	64	1648	木器 盾 (丹塗り盾) 木器 短甲 (右前胴	谷1203-23層 G46-9921
60	64	2179	部材) 木鏃	谷1203-26層 G46-9922
60	64 64	3634 3652	木器 紡錘車(未成	谷1203-23層 G46-9735 谷1203-28層 G46-8044
60	64	3654	品(連作)) 木器 紡錘車(未成 品/連作)	谷1203-28層 G46-8044
60	64	3738	紡錘車(未成品(連作))	谷1203-28層 G46-8044
60	64	5288	石器/器具 紡錘車	谷1203-62層 G46-9634
60	64 65	5366 1056	木鏃 (細涙滴形) 木器 筒形容器/蓋 (漆塗)	谷1203-62層 G46-9633 谷1203-11層 G46-9832
61	65	2664	筒形容器 (漆塗)	土壙1391-19層 G46- 8033
61	65	2947	筒形容器/蓋(漆塗)	谷1203-44層 G46-9635
61	65	4404	筒形容器/蓋(漆塗)	谷1203-19層 G46-9931
61	65	4426	筒形容器/底板(漆 塗)	谷1203-19層 G46-9911
61	65	4767	弓 (丸木弓)	凹地1565-19層 G46- 9723
61	65	5351	壺(台付)	谷1203-45層 G46-9634
61	65 65	5646 5984	<u>弓(丸木弓)</u> 弓(丸木弓)	谷1203-23層 G46-9632 谷1203-49層 G46-8421
61	65	7119	椀	谷1203-10c層 G46-8315
61	65	7340	弓(丸木弓)	凹地2076 G46-8421
61	65	11558	木器 壺	谷1203-26層 G46-9912

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置	
61	65	12530	木器 壺(刳物/無頸	谷1203-55層 G46-8423	
62	66	1862	平底) 木器 桶(刳物蓋付	谷1203-23層 G46-9834	
62	66	1881	桶/身) 木器 桶(曲物底部/	谷1203-23層 G46-9825	
62	66	2722	脚付/透かし入り) 筒形容器(白木刳り	土壙1391 G46-8032	
62	66	5895	抜き) 高坏	公1203-49b層 G46-9513	
62	66	6664	皿 (四脚付)	溝2030 G46-96	
62	66	6831	筒形容器(白木刳り 抜き)	谷1203-49層 G46-8433	
62	66	12148	木器 高坏	谷1203-10b層 G46-9514	
63	67	4635	高坏	凹地1565-19層 G46- 9732	
63	67	5711	槽(板状脚付槽部 材)	谷1203-49層 G46-9514	
63	67	6383	槽(円柱形四脚付 槽)	谷1203-23層 G46-9745	
63	67	6787	高坏 槽 (円柱形四脚付方	谷1203-49層 G46-8553	
63	67	7101	形槽)	谷1203-49b層 G46-7352	
63	67	12732	槽 (円形鍔付鉢形)	谷1203-49層 G46-8315	
64	68 68	3957 4323	皿 (舟形) 杓子 (鉤柄)	谷1203 G46-8355 谷1203-57層 G46-9921	
64	68	4411	杓子 (未成品)	谷1203-23層 G46-9734	
64	68	5727	槽 (小形槽)	谷1203-49層 G46-8553	
64	68	5779	杓子 (斜め把手杓 子)	谷1203-49a層 G46-8552	
64	68	5780	杓子 (直柄)	谷1203-49b層 G46-8552	
64	68	7040	槽(円柱形四脚付長 方形槽)	谷1203-49b層 G46-8421	
65	69	1842	杓子(長直柄)	谷1203-23層 G46-9832	
65	69	5888	鍬刃状の木製品	谷1203-49c層 G46-9512	
65	69	6322	杓子(長柄)	谷1203-49a層 G46-8433	
65 65	69 69	6489 6880	杓文字(直柄) 杓文字	谷1203-23層 G46-9624 谷1203-49層 G46-8434	
65	69	7111	杓文字	谷1203-49b層 G46-7352	
66	70	2698	蓋(長方形把手付板状)	土壙1391 G46-8031	
66	70	4180	木器 蓋(把手付円 形板状)	谷1203 G46-98	
66	70	5361	木器 蓋(柄付長方 形板状)	谷1203-62層 G46-9633	
66	70	5740	蓋(把手付円形板状)	谷1203-49層 G46-8552	
66	70	6320	蓋(未成品(円形笠 形)) 蓋(円形笠形(未成	谷1203-49c層 G46-9513	
66	70	7110	品か)) 木器 案/部材(天板	谷1203-49b層 G46-7352	
67	71	798	留め具)	谷1203-11層 G47-9113	
67	71	1840	案/部材(脚)	谷1203-23層 G46-9833	
67	71	1874	案/部材(脚固定具) 蓋(把手付円形板	谷1203-23層 G46-9835	
67 67	71 71	5729 6318	(記字刊刊///// 大) 案(天板)	谷1203-49層 G46-9513 凹地2025 G46-8424	
67	71	12341	案(脚)	谷1203-22層 G46-9833	
68	72	1841	盤(板状脚付盤)	谷1203-23層 G46-9832	
68	72	4419	櫛 (竪櫛/挽き櫛)	谷1203-19層 G46-9911	
68	72	5510	沓	谷1203-45層 G46-9733	
68	72	5583	櫛 (未成品/竪櫛)	谷1203-23層 G46-9633	
68	72	6319	椅子(刳物板状2脚)	谷1203-49c層 G46-8553	
68	72	6541	椅子(刳物板状2脚)	谷1203-23層 G46-9741	
68	72	7620	簪 (三本歯)	谷1203-48層 G46-8445	
69	73	1866	鳥形	谷1203-23層 G46-9834	
69	73	5733	装飾部材	谷1203-49層 G46-8553	
69	73	6897	木器 人形	谷1203-49b層 G46-8423	
69 70	73	7037	木器 装飾板	谷1203-49b層 G46-8422 公1203-36層 G46-8422	
70 70	74 74	4186 5710	建築部材 鼠返し 建築部材 部材 (軸	谷1203-36層 G46-8422 谷1203-49層 G46-9524	
70	74	6764	台) 構造部材	谷1203-49層 G46-9524 谷1203-23層 G46-9631	
70	74	6818	建築部材(栓)	谷1203-49層 G46-9513	

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
70	74	7089	建築部材(栓)	谷1203-49b層 G46-8422
70	74	7170	木材 板	谷1203-49b層 G46-7341
70	74	12257	建築材	杭群2086-49b層(下)
				G46-7953 杭群2086-49b層(下)
70	74 75	12259 1903	建築部材(栓) 独楽形木製品	G46-7953 谷1203-22層 G46-9932
71	75	3459	臍穴のある部材	土壙1391 G46-8033
71	75	5610	留め具 (楔形)	谷1203-23層 G46-9742
71	75	6460	組輪の掛かった棒材 (細形)	谷1203-49a層 G46-9642
71	75	12733	切断材(厚板両端切 断)	谷1203-49層 G46-8315
71	75	12734	槽	谷1203-49層 G46-8315
95	76	337	弥生土器 壺	流路1202-5層 G47-6343
95	76	341	弥生土器 甕	流路1202-5層 G47-6344
95	76	344	弥生土器 支脚	流路1202-5層 G47-6344
95	76	365	弥生土器 壺	流路1202-16層 G47- 6332
95	76	438	弥生土器 蓋	流路1202-16層 G47- 6332
95	76	945	弥生土器 甕	流路1202-4層 G47-6355
95	76	1095	弥生土器 甕	流路1202-16層 G47- 6342
95	76	9198	弥生土器 壺	流路1202-5層 G47-6333
95	76	11995	弥生土器 壺	流路1202-5層 G47-6322
95 95	76 76	11997 12056	弥生土器 壺 弥生土器 大形壺	流路1202-4層 G47-62 流路1202-5層 G47-6321
95	76	12057	弥生土器 甕	流路1202-5層 G47-6321

96 96	77 77	278 1174	弥生土器 壺 弥生土器 甕	谷1203-11層 G47-9312 溝1204-4層 G47-6253
96	77	1334	弥生土器 甕	溝1204-46層 G47-6223
96	77	5267	弥生土器 高坏	谷1203-11層 G46-9634
96	77	5670	弥生土器	谷1203-11層 G46-8554
96	77	8051	弥生土器 壺	谷1203-10b層 G46-9753
96	77	8701	弥生土器 甕	谷1203-10b層 G46-8035
96	77	8724	石器/利器 楔形石器	谷1203-10b層 G46-9753
96 96	77 77	8739 8795	弥生土器 支脚 弥生土器 高坏	谷1203-11層 G46-9723 谷1203-11層 G46-8032
96	77	12378	弥生土器 壺	谷1203-11層 G47-9311
97	78	231	弥生土器 台付甕	谷1203-11層 G47-0212
97	78	247	弥生土器 高坏	谷1203-11層 G47-9241
97	78	1682	弥生土器 台付甕	谷1203-11層 G46-8044
97 97	78 78	1690 1717	甕 弥生土器 甕	谷1203-11層 G46-8034 谷1203-11層 G46-8033
97	78	3785	弥生土器 甕	谷1203-11層 G46-8033 谷1203-11層 G46-9631
97	78	8742	弥生土器 台付甕	谷1203-11層 G46-9631
97	78	9161	弥生土器 小形鉢	谷1203-11層 G47-8353
97	78	9180	弥生土器 小形壺	谷1203-11層 G46-9923
97	78	9182	弥生土器 台付壺	谷1203-11層 G47-9252
98	79	1423	弥生土器 甕	谷1203-21層 G46-9924
98	79	1726	弥生土器 支脚	谷1203-11層 G46-8042
98	79	3369	弥生土器 鉢	谷1203-27層 G46-8024
98 98	79 79	3371 3953	弥生土器 甑 弥生土器 壺(長頸 壺)	谷1203-27層 G46-8024 谷1203-22層 G46-9645
98 98	79 79	4052 8837	班) 弥生土器 甕 弥生土器 甕	谷1203-44層 G46-9643 谷1203-22層 G46-9644
98	79	8852	弥生土器 壺(複合 口縁壺)	谷1203-22層 G46-9644 谷1203-19層 G46-8033
98	79	8853	日 <u> </u>	谷1203-19層 G46-8033
98	79	9155	弥生土器 器台	谷1203-11層 G46-8032
98	79	9195	弥生土器 器台	谷1203-22層 G46-9822
98	79	9196	弥生土器 支脚	谷1203-11層 G46-8032
98	79	12379	弥生土器 器台	谷1203-11層 G47-8253
99	80	3400	弥生土器 壺	谷1203-35層 G46-8643
99	80	5657	弥生土器 壺	谷1203-36層 G46-7353
99	80	5658	弥生土器 壺	谷1203-36層 G46-7353
99	80	6512	弥生土器 甕	谷1203-36層 G46-8313
99	80	7357	弥生土器 壺	谷1203-36層 G46-8411
99	80	8318	弥生土器 甕	谷1203-27層 G46-8015
99	80	8758	弥生土器 甕	谷1203-26層 G46-9922

頁	図	遺物番号	ì	 遺物	出土位置
99	80	9176	弥生土器		谷1203-26層 G46-9921
99	80	9178	弥生土器		谷1203-25b層 G46-9824
99	80	9587	弥生土器	窓付甕	谷1203-27層 G46-8024
99	80	11964	弥生土器 口縁壺)	壺(二重	谷1203-36層 G46-8421
99	80	12393	弥生土器	器台	谷1203-27a層 G46-8023
100	81	2884	弥生土器	高坏	流路1388-39層 G46- 9625
100	81	2885	弥生土器	壺	流路1388-39層 G46- 9625
100	81	3958	弥生土器 壷)	壺(長頸	谷1203-39層 G46-9612
100	81	5336	弥生土器	鉢	谷1203-36層 G46-7355
100	81	5341	弥生土器	器台	谷1203-36層 G46-8314
100	81 81	5343 6359	弥生土器 弥生土器	<u>器台</u> 壺	谷1203-36層 G46-7354 谷1203-40層 G46-8733
100	81	8702	弥生土器	有孔鉢	谷1203-39層 G46-9715
100	81	8953	弥生土器	小形甕	流路1388 G46-9615
100	81	9046	弥生土器	鉢	谷1203-36層 G46-7354
100	81	9094	弥生土器	獲	谷1203-36層 G46-8422
100	81	11983	弥生土器	甕	谷1203-36層 G46-8542
101	82	4606	弥生土器		土器投棄1570-40層 G46-9713
101	82	4607	弥生土器	壺	土器投棄1570-40層 G46-9713
101	82	4608	弥生土器 鉢)	鉢(有孔	土器投棄1570-40層 G46-9713
101	82	6359	弥生土器	壺	谷1203-40層 G46-8733
101	82	6433	弥生土器	高坏	谷1203-50層 G46-8411 十器投棄1570-40層
101	82 82	8123 8274	弥生土器 弥生土器	甕 甑	G46-8654 谷1203-40層 G46-9715
101	82	8747	弥生土器	壺	谷1203-40層 G46-7341
101	82	8749	弥生土器	壺	谷1203-50層 G46-8531
101	82	8832	弥生土器	変	谷1203-40層 G46-9811
102	83	5242	弥生土器	器台	谷1203-23層 G46-9731
102	83	5744	弥生土器	鉢(有孔	谷1203-49層 G46-9513
102	83	6574	鉢) 弥生土器	器台	谷1203-50層 G46-7354
102	83	6700	弥生土器		谷1203-23イ層 G46- 9644
102	83	6796	弥生土器	壺	谷1203-49a層 G46-8554
102	83	7404	弥生土器	高坏	谷1203-50層 G46-8531
102	83	8744	弥生土器	小形甕	谷1203-45層 G46-9631
102	83	9220	弥生土器	小形壺	谷1203-38層 G46-9635
102	83	9291	弥生土器 弥生土器	<u>甕</u> 支脚(沓	谷1203-38層 G46-9513
102	83	9314	形支脚)		谷1203-50層 G46-8425
102	83	9360	弥生土器	甕	谷1203-48層 G46-8554
103	84	2969	弥生土器	壺匠	谷1203-42層 G46-8655
103	84	3145	弥生土器 弥生土器	高坏	谷1203-42層 G46-8645
103	84 84	7123 7387	弥生土器	甑	谷1203-42層 G46-8535 谷1203-42層 G46-8644
103	84	7416	弥生土器	悪	谷1203-42層 G46-8752
103	84	8142	弥生土器	鉢	谷1203-42層 G46-8741
103	84	8240	弥生土器	-1	谷1203-49b層 G46-7351
103	84	8243	弥生土器	窓付甕	谷1203-49b層 G46-8312
103	84	8321	弥生土器	甕	谷1203-57層 G46-9923
103	84	8684	弥生土器	器台	谷1203-49a層 G46-8542
103	84	9309	弥生土器	器台	谷1203-56層 G46-83
103	84	12388	弥生土器		谷1203-49b層 G46-8314
104	85	5064	弥生土器	器台	谷1203-42層 G46-8645
104	85	8076	弥生土器 鉢)		谷1203-51層 G46-8544
104	85	8225	土器	小形手捏	谷1203-51層 G46-8543
104	85	8227	弥生土器	瓶 士 吐	谷1203-51層 G46-8532
104	85	8752		支脚 変	谷1203-42層 G46-8753
104	85	8830	弥生土器	獲	谷1203-51層 G46-8555 公1202-42層 C46-8645
104	85	9138	弥生土器	悪 架ム	谷1203-42層 G46-8645 公1203-51層 C46-8533
104	85	9618	弥生土器 弥生土器	器台 壺(広口	谷1203-51層 G46-8533
104	85	9665	壺)	*1	谷1203-51層 G46-7344
104	85	11786	弥生土器 弥生土器	<u>鉢</u> 壺(広口	谷1203-51層 G46-7345
104	85	11969	壺)		谷1203-51層 G46-8414
105	86	4780	弥生土器	高坏	凹地1565-19層 G46- 9723

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
105	86	5163	弥生土器 器台	凹地1565-19層 G46-
105	86	6177	弥生土器 壺	9712 溝状凹地1567 G46-8334
105	86	6253	弥生土器	溝状凹地1567 G46-9415
105	86	7334	弥生十器	谷1203-52層 G46-8414
105	86	8130	弥生土器 甕	谷1203-52層 G46-8533
105	86	8233	弥生土器 甕	谷1203-52層 G46-8424
105	86	8234	弥生土器	谷1203-52層 G46-8424
				凹地1565-19層 G46-
105	86	8836	弥生土器 壺	9733
105	86	9280	弥生土器 器台 弥生土器 小形手捏	凹地1557 G46
105	86	9281	土器	凹地1557 G46
105	86	9282	弥生土器 器台	凹地1557 G46 土器投棄1569-39層
106	87	4578	弥生土器 器台	G46-9614 土器投棄1569-39層
106	87	4580	弥生土器 甕	G46-9614 土器投棄1569-39層
106	87	4583	弥生土器 高坏	G46-9614 土器投棄1569-39層
106	87	4615	弥生土器 大形甕	G46-9613
106	87	6103	弥生土器 鉢	柱穴1866 G46-75 土器投棄1569-39層
106	87	8682	弥生土器 甕	G46-9613
106	88	141	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層 G47-8253
106	88	3732	楽浪系土器 鉢	谷1203-23層 G46-9721
107	89	1552	土製品 土製円板	谷1203-11層 G46-9042
107	89	1922	(谷1203-25層 G46-9912
107	89	8666	土製品 土製勾玉	谷1203-10b層 G46-9544
107	89	9081	土製品 土製円板	谷1203-40層 G46-8751
107	89	9086	土製品 土製投弾	谷1203-40層 G46-9711
	90		石器/利器 石鏃(小	
107	90	465	形凹基)	流路1202 G47-6333
107	90	548	石器/利器 石鏃(深 <u>凹基)</u> 石器/利器 石鏃/剥	谷1203-10層 G46-8013
107	90	563	片鏃 (短身深凹基)	谷1203-11層 G46-9015
107	90	2230	石器/利器 石鏃(浅 <u>凹基)</u> 石器/利器 石鏃(長	谷1203-30層 G46-9042
107	90	2473		G47-6145
107	90	3883	日	谷1203-11層 G46-9632
107	90	4066	基) 石器/利器 石斧/磨	谷1203-38層 G46-9455
107	90	4996	製石斧(偏平片刃石斧)	谷1203-42層 G46-9751
107	90	7533	石器/利器 石鏃(浅 凹基)	谷1203-51層 G46-7451
107	90	8590	石器/利器 ナイフ形 石器 (二側辺加工)	谷1203-50層 G46-8544
107	90	8603	石器/利器 石斧/磨製石斧(偏平片刃石斧)	谷1203-10b層 G46-9754
107	90	8658	石器/利器 石匙	谷1203-51層 G46-7451
107	90	9270	石器/利器 石匙	谷1203-11層 G46-8035
107	90	9384	石器/利器 柱状片刃 石斧	柱穴1841
107	90	12369	石器/利器 石鏃(長 身浅凹基鋸歯縁)	谷1203-11層 G46-9033
108	91	997	石器/利器 石包丁	谷1203-11層 G46-9813
108	91	5854	石器/利器 石包丁	谷1203-63層 G46-7533
108	91	8514	石器/利器 石包丁	谷1203-50層 G46-8532
108	91	8552	石器/利器 磨製石斧 (未成品)	谷1203-11層 G46-8043
108	91	8615	石器/利器 石包丁	溝状凹地1567 G46-9415
108	91	8616	石器/利器 石包丁	谷1203-50層 G46-7341
108	91	8617	石器/利器 石包丁	谷1203-11層 G46-9525
108	91	8672	石器/利器 石包丁	谷1203-22層 G46-9831
108	91	8928	石器/利器 石斧	谷1203-22層 G46-9921
108	91	9387	石器/利器 石包丁 石器/利器 石包丁	0 (X1000 00 E 040 004F
108	91	9942	(半月形) 石器/利器 磨製石斧	谷1203-22層 G46-9845 谷1203-23層 G46-8041
108	91	9992	(太形蛤刃石斧) 石器/利器 石包丁/	
108	91	10100	未成品	谷1203-10b層 G46-7353

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
108	91	10105	石器/鈍器 敲打刃器	流路1202-5層 G47-6345
108	91	10361	石器/鈍器 敲打刃器	谷1203-11層 G47-8153
			石器/利器 石包丁/	
108	91	10644	未成品	谷1203-11層 G46-9825
108	91	10685	石器/鈍器 敲打刃器	谷1203-11層 G47-9152
108	91	10686	石器/鈍器 敲打刃器	谷1203-11層 G47-9152
108	91	11693	石器/利器 磨製石斧 石器/利器 磨製石斧	流路1202-5層 G47-6354
108	91	12638	(太形蛤歯石斧)	谷1203-39層 G46-8555
108	91	12808	石器/利器 磨石石斧 (太形蛤刃石斧)	谷1203-23ア層 G46- 9741
109 109	92 92	1947 1987	石器/器具 紡錘車 石器/器具 紡錘車	谷1203-26層 G46-9913 谷1203-25層 G46-8041
109	92	2071	石器/器具 石錘/整 形石錘(紡錘形交差 溝平形)	谷1203-22層 G46-9844
109	92	2152	石器/器具 石錘(整 形石錘/紡錘形交差 溝)	谷1203-19層 G46-8033
109 109	92 92	2842 3448	石器/器具 紡錘車 石器/器具 紡錘車	谷1203 G46-9655 谷1203-11層 G46-8024
109	92	3581	石器/器具 紡錘車	谷1203-11層 G46 8024 谷1203-22層 G46-8821
109	92	3600	石器/器具 石錘(整 形石錘/紡錘形交差 溝)	谷1203-23層 G46-9735
109	92	4038	石器/器具 石錘(整形石錘/紡錘形交差 溝)	谷1203-38層 G46-8325
109	92	4731	石器/器具 石錘(整 形石錘/紡錘形交差 溝)	土器投棄1569-39層 G46-9611
109	92	5221	石器/器具 紡錘車	谷1203-50層 G46-8533
109	92	6533	石器/器具 石錘 (整 形石錘/紡錘形縦溝)	谷1203-23層 646-9634
109	92	8540	石器/器具 石錘/整 形石錘(紡錘形交差 溝)	谷1203-11層 G46-9843
109	92	8572	石器/器具 石錘(整 形石錘/紡錘形縦溝)	谷1203-22層 G46-9822
109	92	8624	石器/器具 紡錘車	谷1203-40層 G46-9615
109	92	8627	石器/器具 紡錘車	溝状凹地1567 G46-8335
109	92	8630	石器/器具 紡錘車	谷1203-39層 G46-8545
109	92	8661	石器/器具 紡錘車	谷1203-49b層 G46-8315
109	92	8857	石器/器具 石錘 (整 形石錘/紡錘形縦溝)	谷1203-42層 G46-8644
109	92	8876	石器/器具 紡錘車	流路1202-16層 G47- 6341
109	92	9002	石器/器具 石錘(整形石錘/紡錘形交差 溝)	谷1203-44層 G46-9643
109	92	9008	石器/器具 石錘 (整 形石錘/紡錘形縦溝)	谷1203-10b層 G46-9755
109	92	9026	石器/器具 石錘/整 形石錘(紡錘形縦 溝)	谷1203-10b層 G46-9753
109	92	9029	石器/器具 石錘(整 形石錘/紡錘形縦溝)	谷1203-23層 G46-9735
109	92	9383	石器/器具 紡錘車 石器/器具 紡錘車	谷1203-10層 G46-8945
109	92	11071	(未成品)	谷1203-39層 G46-9713
109	92	11117	石器/器具 紡錘車	谷1203-50層 G46-7354
109	92	11510	石器/器具 紡錘車 (未成品)	谷1203-12層 G47-8155
109	92	11733	石器/器具 紡錘車	谷1203-19層 G46-9915
110	93	343	石器/器具 石錘/整 形石錘(鐘形太形)	流路1202-5層 G47-6344
110	93	924	石器/器具 石錘/整 形石錘(鐘形)	流路1202-16層 G47- 6343
110	93	1941	石器/器具 石錘/整 形石錘(鐘形細形/ 未成品)	谷1203-10層 G46-8013
110	93	2163	石器/器具 石錘/整 形石錘(鐘形太形)	谷1203-32層 G46-8051

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
110	93	3959	石器/器具 石錘/整	谷1203-39層 G46-8652
110	93	3959	形石錘(涙滴形長 形)	台1203-39唐 G46-8652
110	0.2	4704	石器/器具 石錘/整)
110	93	4794	形石錘(鐘形細形 (涙滴形)交差溝)	溝1579 G46-88
440		5050	石器/器具 石錘/整	W1000 11 E 010 0551
110	93	5676	形石錘(鐘形細形 (涙滴形))	谷1203-11層 G46-8554
440		5 00.4	石器/器具 石錘/整	W1000 10 P 010 0000
110	93	7234	形石錘(鐘形太形 (涙滴形))	谷1203-49層 G46-9633
110	93	7283	石器/器具 石錘/整	谷1203-51層 G46-8532
110	0.2	7400	形石錘(鐘形太形) 石器/器具 石錘/整	火1909 401 屋 €46 7951
110	93	7492	形石錘(鐘形細形) 石器/器具 石錘/整	谷1203-49b層 G46-7351
110	93	8512	形石錘 (鐘形細形)	谷1203-11層 G46-9534
110	93	8533	石器/器具 石錘/整 形石錘(円形半球形	谷1203-23層 G46-9742
110	30	0000	/未成品)	A 1200 25/E 040 5142
110	93	8538	石器/器具 石錘/整 形石錘(鐘形細形)	谷1203-10b層 G46-9514
110	93	9640	石器/器具 石錘/整	谷1203-35層 G46-7332
			形石錘(鐘形細形) 石器/器具 石錘/整	
11	94	317	形石錘 (円形厚形)	流路1202-5層 G47-6344
11	94	1292	石器/器具 浮子 石器/器具 石錘/整	谷1203-11層 G46-8031
11	94	8509	形石錘 (円形厚形)	谷1203-19層 G46-9911
11	94	8692	石器/器具 浮子(未成品)	谷1203-44層 G46-9643
11	94	9507	石器/器具 浮子	谷1203-10b層 G46-9753
11	94	9519	石器/器具 石錘/礫	谷1203-40層 G46-8425
			石錘 (横形大形) 石器/器具 石錘/礫	
11	94	10075	石錘 (横形)	谷1203-50層 G46-8425
11	94	10465	石器/器具 石錘/礫 石錘(礫石錘/横形)	谷1203-11層 G46-8055
11	94	11336	石器/器具 石錘/礫 石錘(礫石錘/横形)	谷1203-27b層 G46-8023
11	94	12043	石器/器具 浮子	谷1203-10b層 G46-9811
112	95	1287	石器/器具/未分類 鳥形	谷1203-11層 G46-8032
112	95	3180	石器/器具 石皿	谷1203-10b層 G46-9754
	95	8677	石器/器具 砥石 (平	谷1203-19層 G46-9743
112	90	0011	形長形)	
112	95	9967	石器/鈍器 敲打刃器	谷1203-11層 G46-9842
112	95	10343	石器/器具 砥石(平形)	谷1203-50層 G46-8544
112	95	10345	石器/器具 砥石	谷1203-10層 G46-0811
112	95	10349	石器/器具 砥石(有 溝砥石か)	谷1203-10b層 G46-8225
112	95	10618	石器/器具 砥石	谷1203-11層 G46-9941
112	95	10064	石器/器具 砥石	谷1203-11層 G46-9724
112	95	10913	石器/器具 砥石	谷1203-10b層 G46-9841
112	95	11446	石器/器具 砥石	谷1203-10b層 G46-9633
112	95	12524	石器/器具 砥石(有 溝砥石)	谷1203-49c層 G46-8411
112	95	12525	石器/器具 砥石(有	谷1203-23層 G46-9725
	95	12526	溝砥石) 石器/器具 砥石(有	谷1203-11層 G46-9033
112	96	12526 454	溝砥石) 石器/器具 石杵	流路1203-11層 G46-9033
113	96	757	攻玉残滓 石核(角柱	6元路1202-5層 G47-6332 谷1203-11層 G46-9955
			形) 攻玉残滓 石核 (角柱	
113	96	1020	形) 攻玉残滓 石核 (角柱	谷1203-11層 G46-9924
113	96	1945	形)	谷1203-11層 G46-9851
113	96	2139	攻玉残滓 石核(角柱 形)	谷1203-23層 G46-9833
113 113	96 96	2294 2295	玉類/玉 ガラス玉 玉類/石製管玉	谷1203 G46-8414 谷1203 G46-8413
113	96	2341	攻玉残滓 石核(角柱	G46-6014
113	96	3398	形) 玉類/石製 勾玉	谷1203-11層 G46-9534

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置
113	96	3414	玉類/石製 勾玉(未成 品)	谷1203-36層 G46-8353
113	96	8579	攻玉残滓 砕片	谷1203-10b層 G46-9822
113	96	8642	攻玉残滓 石核 (角柱 形)	谷1203-10b層 G46-9031
113	96	10344	石器/鈍器 磨石	谷1203-10b層 G46-0911
113	96	10766	石器/器具 石杵	谷1203-36層 G46-8424
113	96	10767	石器/鈍器 石杵	谷1203-11層 G46-9733
113	96	11676	石器/器具 石皿	流路1202-5層 G47-6344
113	96	12757	攻玉残滓 石核	谷1203-62層 G46-9633

55		遺物番号	遺物	出土位置	遺物記述
00	36	141		谷1203-11層	〈胎土·焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形·調整〉外面:回転ナ
				G47-8253	デ、底部静止糸切→側縁をケズリ、ナデ 内面:回転ナデ 〈文様等〉内面に放射状暗文。外底面に種子圧痕あり。〈年代〉弥生/後期~終末期 〈遺存状態〉底
					部周りほぼ100% 〈計測〉底径6.9cm
55	36	192	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理)〈成形・調整〉外面:回転ナデ
			(平底鉢)	G47-9254	内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期 〈遺存状態〉〈遺存〉口縁周り1/10
55	36	1986	楽浪系土器 鉢	谷1203-19層	〈計測〉口縁部径(復原)14.7cm 〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:回転ナ
55	30	1900	木似尔上的 晔	G46-8032	デース デ
					年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉〈遺存〉底部周り1/4 〈計測〉底部径
					8. 0cm
55	36	2701	楽浪系土器 鉢	谷1203-10層 G46-8031	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ、 底部静止糸切→ケズリ 内面:回転ナデ 〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期 〈
				040 0031	遺存状態〉〈遺存〉底部周り1/4 〈計測〉底部径9.2cm
55	36	3314	楽浪系土器 鉢	谷1203-10b	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化。内面黒化処理の痕跡。) 〈成形・
				層 G46-7235	調整〉外面:回転ナデー内面:回転ナデ〈年代〉弥生/後期~終末期 〈遺存状態
55	36	3625	楽浪系土器 椀	谷1203-40層	> 細片(胴部周り1/10) <胎土・焼成>胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ
55	30	3025	木似尔上台 70	G46-9714	内面:回転ナデ 〈特記〉R3732と同一個体か。〈年代〉年代〉弥生/後期~終末
					期〈遺存状態〉口縁部細片(口縁周り1/8) 〈計測〉口縁部径(復原)14.9cm
			1 HP 61		
55	36	3702	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層 G46-8654	<胎士・焼成>胎土: 泥質。器表: 灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面: 回転ナデ、 底部は静止糸切り→側縁ケズリ 内面: 回転ナデ 〈文様等〉底部外面にX字状へラ
				040 0034	記号(焼成前刻み)〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉略完形 〈計測〉
					口縁部径11.6cm 底部径8.3cm 器高5.4cm
55	36	3732	楽浪系土器 鉢	谷1203-23層	〈胎士・焼成〉胎士:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:回転ナ
				G46-9721	デ、底部は静止糸切り→ケズリ、ミガキ 内面:回転ナデ 〈文様等〉内底面に沈線に近い斜格子状の暗文、側面に放射状の平行線暗文〈特記〉同一個体:R12981・
					10077・(3625) 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉上部の大半を欠く(口縁周
					り1/8、胴部以下は略完存) 〈計測〉口縁部径(復原)15.0cm 底部径8.2cm 器高
				48	6. 6cm
55	36	8602	楽浪系土器 鉢	谷1203-10b 層 G46-9812	《胎土・焼成》胎土: 泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 〈文様等〉内面に暗文 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態
				曾 640 5612	7 1 1 1 1 1 1 1 1 1
55	36	8604	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ
				G46-9713	内面:回転ナデ 〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉細片(口縁周り
55	36	8606	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層	1/10)
00	30	0000	木(以八二世)平	G46-9614	面:回転ナデ 〈文様等〉底面に円形刺突あり 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存
					状態〉底部周り1/5 〈計測〉底部径9.2cm
55	36	8607	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層 G46-8654	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉口縁周り1/8 〈計測〉
				040 0034	口縁部径(復原)13.0cm
55	36	8608	楽浪系土器 大型	谷1203-23層	〈胎士·焼成〉胎士:泥質。器表:灰白色~黒色(外面風化。黒化処理。) 〈成形・
			鉢	G46-9821	調整〉外面:回転ナデ、底部静止糸切→ケズリ 内面:回転ナデ〈年代〉弥生/後
55	36	8660	楽浪系土器 鉢	谷1203-39層	期~終末期〈遺存状態〉底部周り1/8 〈計測〉12.0cm 〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ
00	30	0000	木(以八二世)平	G46-9713	内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉口縁周り1/8 〈計測〉
					口縁部径(復原)16.7cm
55	36	8663	楽浪系土器 鉢	谷1203-22層 G46-9831	《胎土・焼成》胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:不明、内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉小片
55	36	8664	楽浪系土器 鉢		出土・性成 / トース / が上 / 仮物 * ド 木 物 へ 遺 行 小 思 / 小 が
00	00	0001	NIPON E III PI	G46-9821	面:回転ナデ 内面:回転ナデ 〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉
			1 HH 61	(2)	口縁周り1/10未満 〈計測〉口縁部径(復原)14.9cm
55	36	8665	楽浪系土器 鉢	谷1203-10b 層 G46-9831	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ →底側縁ケズリ、内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉細片
				/E 040 2091	一座は四四人(ハン、下川山・四平4)/ 一 、十八/ 四工/ 夜朔 一
55	36	8994	楽浪系土器 鉢	凹地1565	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ
				G46-9733	内面:回転ナデ 〈文様等〉内面に暗文あり〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期〈 清充状態〉胴如用り1/4
55	36	8995	楽浪系土器 鉢	谷1203-10層	遺存状態〉胴部周り1/4 〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ
				G46-0011	内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉図示部1/6
55	36	9051	楽浪系土器 鉢	谷1203-23層	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:回転ナ
				G46-9843	デ、底部静止糸切→ケズリ 内面:回転ナデ 〈文様等〉内面に放射状暗文。〈 年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉底部周り1/5 〈計測〉底部径9.0cm
					十口/ 70土/夜別~松木別 \鬼仔仏態/ 広部周り1/0 〈計側/ 広部住9.0cm
55	36	9202	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層	〈胎士・焼成〉胎士:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ
		0000	·환경·조 [BB VI	G47-9135	内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉細片
55	36	9203	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層 G47-9153	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理、風化気味) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉
				.51, 0100	口縁周り1/10 〈計測〉口縁部径(復原)16.5cm
55	36	9437	楽浪系土器 鉢	谷1203-34層	〈胎土·焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形·調整〉外面:ケズリ、底
				G46-0923	面不明 内面:回転ナデ〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉底部周り
55	36	9438	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層	1/4 〈計測〉底部径10.0cm 〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:灰白色(風化) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ
00	50	3430	水水土前 野	646-9824	内面:回転ナデ 〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉口縁周り1/10
					〈計測〉口縁部径(復原)14.8cm
55	36	9440	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層	〈胎士・焼成〉胎士:泥質。器表:灰白色(風化。外面に黒化処理の痕跡) 〈成形・理解〉 (4.元・同転士デー中元・同転士データを) ************************************
				G46-8542	調整〉外面:回転ナデ、内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態 〉細片
55	36	9442	楽浪系土器 大型	谷1203-11層	<
			鉢	G46-9051	> 外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 〈年代〉年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状
					態〉底部付近図示部1/10弱 〈計測〉底部径15.4cm

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置	遺物記述
55	36		楽浪系土器 鉢	谷1203-48層	〈胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理) 〈成形・調整〉外面:底部静止
<u> </u>	9.0	19094	永泊玄土吧 	G46-8551 公1202-11屋	糸切→ケズリ 内面:回転ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期 〈遺存状態〉底部細片(底部周り1/10) 〈計測〉底部径8.6cm 〈胎土・焼成〉胎士:泥質。器表:黒色(黒化処理、風化気味) 〈成形・調整〉外
55	36	12984	楽浪系土器 鉢	谷1203-11層 G47-9214	《胎土・焼成〉胎土:泥質。器表:黒色(黒化処理、風化気味) 〈成形・調整〉外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 〈特記〉R9203と同一個体か。〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉口縁部細片、複数破片。
56	37	716	三韓系瓦質土器 鉢	谷1203-10層 G46-9924	〈胎士・焼成〉胎士:砂粒極少量。器表:灰色〜黒灰色〈成形・調整〉外面:口頸部は回転ナデ、胴部は格子目タタキ(図下部はナデ消し気味) 内面:ナデ 〈文様等〉胴上部に沈線4段以上〈年代〉弥生/後期〜終末期 〈遺存状態〉〈遺存〉口縁周り1/10未満 〈計測〉口縁部径(復原)9.7cm
56	37	3485	三韓系瓦質土器	谷1203-40層 G46-7355	〈胎土・焼成〉胎土:砂粒極少量。器表:灰褐色〈成形・調整〉外面:縄目タタキ 内面:ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉細片(胴部)
56	37	6579	三韓系瓦質土器碗	谷1203-50層 G46-7354	〈胎士·焼成〉胎士:砂粒極少量。器表:灰褐色〈成形 調整〉外面:縄目タタキ 内面:ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉胴部小片
56	37	7621	三韓系土器	谷1203-36層 G46-7352	〈成形・調整〉内面ナデ消し〈特記〉R8501と同一か〈遺存状態〉体部破片
56	37	8501	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-48層 G46-8313	〈胎土・焼成〉〈胎土・焼成〉胎土:砂粒極少量。器表:灰褐色〜黒色〈成形・調整〉〈調整〉外面:頸部回転ナデ、胴部縄目タタキ 内面:無文当て具痕→ナデ〈特記〉同一個体:R9061(M1203-38層 G46-8313)〈年代〉弥生/後期〜終末期〈遺存状態〉頸周り1/6
56	37	8506	三韓系瓦質土器 壺	溝状凹地 1567-47層 G46-8323	<胎士・焼成〉胎士:砂粒少量。器表:灰褐色〈成形・調整〉外面:縄目タタキ 内面:ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉胴部小片
56	37	8605	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-36層 G46-8411	《胎土・焼成》胎土: 2mm砂粒少量。器表: 暗灰色~淡褐灰色〈成形・調整〉外面: 格子目タタキ 内面:ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉胴部小片
56	37	8789	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-10b 層 G46-9534	〈胎土・焼成〉胎土:1~2mm砂粒少量。器表:灰褐色~黒灰色〈成形・調整〉外面: 縄目タタキ 内面:ナデ 〈〈特記〉接合:R9439(M1203-10b層 G46-8312)〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉小破片(胴部)
56	37	9056	陶質土器 鉢	谷1203-10b 層 G46-9851	〈胎土・焼成〉胎土:砂粒極少量。器表:淡暗青灰色〈成形・調整〉外面:口頸部は 回転ナデ、 内面:回転ナデ→ナデ 〈年代〉古墳前期〈遺存状態〉頸部周り 1/5 〈計測〉口縁部径(復原)21.7cm
56	37	9057	三韓系瓦質土器	谷1203-11層 G46-9743	〈胎土・焼成〉胎土:砂粒極少量。器表:灰褐色〈成形・調整〉外面:頸部回転ナデ、胴部縄目タタキ 内面:ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉体部細片(頸周り)
56	37	9062	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-49a 層 G46-8312	<胎士・焼成>胎士:砂粒極少量。器表:灰褐色 <成形・調整>外面:縄目タタキ内面:ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉小破片(肩付近)
56	37	9581	三韓系瓦質土器	谷1203-35層 G46-8412	《胎土・焼成》胎土:砂粒少量。器表:灰褐色~淡黒灰色〈調整〉〈成形・調整〉外面:頸部回転ナデ、胴部縄目タタキ 内面:ナデ 〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉頸周り細片
56	37	9656	三韓系瓦質土器 壺	谷1203-10b 層 G46-8235	〈胎土・焼成〉〈胎土・焼成〉胎土:砂粒少量。器表:灰褐色〈成形・調整〉〈調整〉外面:縄目タタキ 内面:ナデ 〈特記〉〈備考〉8506と同一個体か。ほか未図化9441、1204の4点も同一。 〈年代〉〈年代〉弥生/後期~終末期〈遺存状態〉胴部細片
57	38	1382	外来系弥生土器 (山陰か) 壺	谷1203 G46- 8023	〈胎土・焼成〉胎土:1~3mm砂粒多量。器表:淡褐色(白み)〈成形・調整〉外面:タテハケ→ヨコナデ 内面:口頸部ヨコナデ〜弱いケズリ、頸部以下ケズリ〈文様等〉口縁外面に凹線2条、頸部外面に列点文状の調整工具当り〈年代〉年代〉称生/後期前半型式 〈遺存状態〉口縁部破片(1/5) 〈計測〉口縁部径(復原)19.4cm
57	38	2661	外来系弥生土器 (近畿西部系) 器台	G46-8542	〈胎土・焼成〉胎土:1~3mm砂粒多量(雲母、角閃石、赤褐色粒子含む)。器表:淡橙褐色 〈成形・調整〉外面:口綾ヨコナデ(擬凹線文状)、受部以下タテハケ→タテミガキ 内面:受部タテハケ→ミガキ?、脚部以下ケズリ、裾部ナデ 〈文様等〉口縁外面貼付文の有無は不明確。脚部円形透孔1対3単位×2種〈年代〉弥生/後期後半~終末 〈遺存状態〉上半部(図示部ほぼ全周) 〈計測〉遺存高13.5cm 口縁部径(復原)25.4cm
57	38	4049	外来系弥生土器 (山陰系) 壺	谷1203-36層 G46-8435	<胎土・焼成>胎土:1mm砂粒多量。器表:淡褐灰色〈年代〉弥生/終末〈遺存状態〉□縁部破片(頸部周り1/4)
57	38	8788	外来系弥生土器 (山陰系) 壺	谷1203-48層 G46-8551	〈胎士・焼成〉胎士:1~4mm砂粒定量。器表:淡赤褐色〈成形・調整〉外面:タテハケ→ナデ 内面:ヨコハケ 〈文様等〉頸部外面にヘラ描の有軸羽状文 〈年代〉弥生/後期~終末〈遺存状態〉頸部細片(頸部)
57	38	8812	外来系弥生土器 (山陰系) 小型 甕	谷1203-38層 G46-7352	〈胎士·焼成〉胎士:1〜3mm砂粒多量。器表:暗褐色〈成形・調整〉口縁部外面:ヨコナデ、擬凹線文3〜5条 内面:口頸部ヨコナデ、頸部以下ケズリ 〈年代〉弥生/後期後半〈遺存状態〉口縁周り1/5 〈計測〉口縁部径(復原)12.4cm
57	38	9054	外来系弥生土器 (西部瀬戸内 系) 壺	谷1203-49a 層 G46-8433	〈胎士·焼成〉胎土:1~3mm砂粒定量。器表:暗褐灰色〈成形·調整〉外面:タテハケ 内面:ヨコナデ 〈文様等〉頸基部外面に櫛描波状文 〈年代〉弥生/後期後 半型式〈遺存状態〉頸部細片
57	38	9078	外来系弥生土器 (西部瀬戸内 系) 壺	谷1203-36層 G46-8422	〈胎土・焼成〉胎土:1~3mm砂粒定量。器表:暗褐色(赤み)〈成形・調整〉外面: ヨコナデ→タテミガキ 内面:口頸部ヨコナデ 〈文様等〉口縁内外面に櫛描波状文 〈年代〉弥生/後期後半型式〈遺存状態〉口縁部細片
57	38	9089	外来系土師器甕 (山陰系) 甕	谷1203-36層 G46-8423	〈胎土・焼成〉胎土:1~2mm砂粒多量。器表:淡褐灰色 〈成形・調整〉外面:ヨコナデ 内面:口頸部ヨコナデ、頸部以下ケズリ 〈年代〉年代〉古墳/前期〈遺存状態〉口縁周り1/8 〈計測〉口縁部径(復原)20.0cm
57	38	9091	外来系弥生土器 (近畿系河内 か) 壺	谷1203-49層 G46-7351	〈胎士・焼成〉胎土:4mm砂粒含むが精製(雲母、角閃石含む)。器表:暗茶褐色 〈成形・調整〉外面:タテハケ→ヨコナデ→頸部タテミガキ 内面:口頸部ヨコナデ (簾状)、頸部ケズリ状ナデ、胴部ユビオサエ痕 〈文様等〉口縁内外面竹管文2段、胴部外面竹管文2段+櫛描波状文〈年代〉年代〉弥生/後期〈遺存状態〉口縁周り40% 〈計測〉口縁部径(復原)12.5cm
57	38	9164	外来系弥生土器 (山陰系) 器台 (鼓形器台)	谷1203-11層 G46-9014	〈胎土・焼成〉胎土:1~3mm砂粒多量。器表:暗茶褐色 〈成形・調整〉外面:タテハケ→ヨコナデ 内面:受部ヨコナデ→脚部以下ケズリ、ナデ 〈年代〉弥生/終末〈遺存状態〉脚周り1/5 〈計測〉脚部径(復原)18.6cm

頁	図	遺物番号	遺物	出土位置	遺物記述
57	38	9278	外来系弥生土器 (山陰系) 低脚 杯	谷1203-36層 G46-8553	〈胎土・焼成〉胎土:1~3mm砂粒多量。器表:灰白色~淡褐色 〈成形・調整〉外面:ハケ→ヨコナデ、脚部オサエ痕 内面:杯部タテミガキ、脚部ナデ 〈年代〉弥生/終末〈遺存状態〉脚を半分欠くほかは略完形 〈計測〉高4.7cm 口縁部径14.0cm 脚部径7.0cm
57	38	9528	外来系弥生土器 (山陰系) 甕	谷1203-10b 層 G46-9822	《胎士・焼成》胎士:1mm砂粒多量(雲母、角閃石、赤褐色粒子含む)。器表:淡褐色(白み)〈成形・調整〉口頸縁部外面:ヨコナデ、胴部タテハケ 内面:口頸部ヨコナデ、頸部以下ケズリ 〈年代〉弥生/終末〈遺存状態〉口縁周り1/8 (計) 別〉口縁部径(復原)15.6cm
57	38	11782	外来系弥生土器 (瀬戸内系) 甕	谷1203-49a 層 G46-8445	〈胎士・焼成〉胎士:1mm砂粒少量(雲母微砂多い)。器表:外面黒みのある暗褐色 〈成形・調整〉外面:タテハケ→口頸部強いヨコナデ 内面:ナデ 〈文様等〉口縁内外面に凹線3条 〈年代〉弥生/瀬戸内中期後半型式〈遺存状態〉口 縁周り1/6 〈計測〉口縁部径(復原)15.5cm
57	38	11862	外来系弥生土器 (山陰系) 鼓形 器台	谷1203-11層 G46-9032	〈成形・調整〉R11867と同様 〈特記〉R11867と同一個体か。 擬似口縁部〈年代〉弥生/終末 〈遺存状態〉脚周り1/6 〈計測〉脚部径(復原) 14.7cm
57	38	11867	外来系弥生土器 (山陰系) 鼓形 器台	谷1203-11層 G46-9032	〈胎士・焼成〉胎士:1~3mm砂粒定量。器表:茶褐色 〈成形・調整〉外面:ヨコナデ→タテミガキ 内面:受部ヨコナデ→弱タテミガキ、脚部以下ケズリ〈年代〉弥生/終末〈遺存状態〉口縁周り1/3 〈計測〉口縁部径(復原)15.0cm
57	38	11926	外来系弥生土器 (瀬戸内系) 甕	谷1203-23層 G46-9612	《胎土・焼成》胎土:1〜2mm砂粒多量。器表:淡赤褐色〈成形・調整〉外面:横ナデ 内面:ナデ、頸部以下ケズリ 〈年代〉弥生/後期前半型式〈遺存状態〉口縁周り 1/8 〈計測〉口縁部径(復原)17.2cm
57	38	12377	外来系弥生土器 (山陰系) 壺 (小型甕)	谷1203-11層 G47-9312	〈胎士・焼成〉胎士:1~3mm砂粒定量。器表:暗赤褐色〈成形・調整〉口縁部外面: ヨコナデ、擬凹線文→ヨコミガキ 内面:ヨコミガキ〈年代〉弥生/終末〈遺存状態〉口縁周り1/5 〈計測〉口縁部径(復原)11.6cm
57	38	12985	外来系弥生土器 (瀬戸内系) 壺		〈胎士・焼成〉胎士:1~2mm砂粒多量。器表:外面黒色~淡橙褐色(炭素吸着の黒化処理?)、内面灰色〈成形・調整〉外面:ヨコナデ→粗ミガキ 内面:ナデ 〈文様等〉口縁外面に凹線2条、肩部に瘤(単位不明) 〈年代〉弥生/後期前半型式〈遺存状態〉口縁周り1/4 〈計測〉口縁部径(復原)13.4cm
58	39	748	土師器 甕(布留式系) 壺	谷1203-11層 G46-9935	〈胎士・焼成〉胎士:1~2mm砂粒定量。器表:淡灰白褐色 〈成形・調整〉外面:口 頭部ヨコナデ 内面:口頸部ヨコナデ、頸部以下ケズリ 〈年代〉古墳/前期初〈 遺存状態〉口縁部細片(頸周り1/8) 〈計測〉口縁部径(復原) 19.8cm
58	39	4924	外来系弥生土器 広片口三耳鉢	柱穴1630 G46-88	〈胎士・焼成〉胎士:1~3mm砂粒多量。器表:褐色 〈成形・調整〉外面:ハケ→ナデ、内面:ハケ→ナデ 〈文様等>口縁が片口。把手の有無は不明。 〈特記〉赤色顔料の付着や煮沸痕跡はなし。二次被熱赤変。 〈年代〉弥生/後期〈遺存状態〉前部
58	39	8308	外来系弥生土器 (豊前系) 甕	流路1388-35 層 G46-7235	《胎士・焼成》胎士:1mm砂粒多量、3mm少量。器表:淡褐灰色〈成形・調整〉 外面:口頸部ヨコナデ、胴部タテハケ 内面:ナデ 〈年代〉年代〉弥生/中期後半〈遺存状態〉口縁部破片(口縁周り1/6) 〈計測〉口縁部径(復原)29.2cm
58	39	9079	外来系弥生土器 壺(高杯)	谷1203-23層 G46-9821	〈胎士・焼成〉胎士:1mm砂粒少量。器表:明褐色 〈成形・調整〉外面:ミガキ 内面:ヨコナデ→タテミガキ 〈文様等〉口縁外面に櫛描直線文+貝殻腹縁羽状列 点文2段以上〈年代〉年代〉弥生/後期~終末〈遺存状態〉口縁部細片(口縁周り 1/10未満) 〈計測〉口縁部径(復原)12.5cm
58	39	9184	外来系弥生土器/ 土師器 高坏	谷1203-10層 G46-8041	〈胎士・焼成〉胎士:1mm砂粒少量(雲母、赤褐色粒子含む)。器表:淡橙色(外面丹塗りの可能性あり) 〈成形・調整〉外面:ハケ→ミガキ 内面:柱部ナデ、裾部ハケ 〈文様等〉脚段上端に刻入突帯、円形透孔は2単位 〈年代〉弥生終末~古墳初〈遺存状態〉脚部(図示部ほぼ100%) 〈計測〉高(遺存)3.8cm
58	39	9185	外来系弥生土器 (豊前系) 壺	谷1203-22層 G46-9942	〈胎士·焼成〉胎士:1~3mm砂粒多量。器表:淡橙色~淡褐色 〈成形・調整〉外面:ナデ 内面:ナデ 〈文様等〉外面に櫛描波状文 〈特記〉同一個体:R8783(M1203-10b層 G46-9931)。〈年代〉弥生/後期~終末〈遺存状態〉口縁部細片
58	39	9204	外来系弥生土器 広片口三耳鉢	谷1203-10b 層 G46-8035	《胎土·焼成》胎土:1~5mm砂粒多量。器表:暗褐色~赤褐色 〈成形·調整〉外面:ハケ→ナデ、耳の周辺オサエ痕 内面:ナデ 〈文様等〉外面に竹管状圧痕あり。尾部把手あるが、側面把手の有無は不明。〈特記〉赤色顔料の付着や煮沸痕跡はなし 〈年代〉弥生/後期 〈遺存状態〉基部 〈計測〉長(遺存)11.4cm
58	39	9206	外来系弥生土器 鉢	谷1203-11層 G46-8055	〈胎士·焼成〉胎土:砂粒少量。器表:暗褐灰色 〈成形·調整〉外面:タテミガキ 内面:ヨコハケ→ヨコナデ→タテミガキ 〈文様等〉外面にヘラ描細線文(羽状 文、鋸歯文等) 〈年代〉年代〉弥生/終末〈遺存状態〉上部細片(口縁周り1/8) 〈計測〉口縁部径(復原)7.3cm
58	39	9483	外来系弥生土器 (肥前型) 器台	谷1203-11層 G46-9833	《胎士·焼成〉胎士:1~3mm砂粒定量(雲母、角閃石、赤褐色粒子含む)。器表:淡橙色(内外面丹塗りの可能性あり) 〈成形・調整〉外面:タテミガキ 内面:ヨコナデ 〈文様等〉縦長透孔2箇所以上。〈年代〉弥生/後期〈遺存状態〉脚部細片

4 おわりに

今宿五郎江第11次調査では、遺跡西縁部の低い台地部とそれを開析して流れる谷部の調査を行った。調査面積は6,900㎡となり、台地部では多数の掘立柱建物の分布を確認し、谷部では、遺跡外縁をめぐるような位置にある溝(2195)を調査した。

第11次調査地点では、出土遺物からは先土器時代に始まり縄文時代、弥生時代初頭の痕跡をたどることができるが、発掘調査出土遺物の大部分は、この溝の埋没が進行し、更に谷全体が埋没する段階に遺棄あるいは投棄されたものである。その量は、重量にして24.9tとなり、本調査で出土した土器量の87%を占める。このうち、溝2195がほぼ埋没し、堆積が谷1203を梅は初めて後(谷1203上部層)からの土器出土量は14.642kgで、谷1203出土量の59%を占める。

対象を変えて、石器についてみると、上部層から谷内出土石器数の75%が出土している。更に金属製品の大部分、攻玉遺物のほとんどがやはり、この上部層からの出土である。また、地域外から搬入されたと考えられる土器も同様の傾向が認められる。

このように、多様な遺物も含め、今宿五郎江遺跡は、それをめぐる大溝が痕跡を残して埋没しつつ あって、溝の内外という関係の判然としない景観の中で考えてゆく必要がある。

今回、出土土器の検討が全く不十分なまま報告に至ったが、現状では、土器が大量に投棄される時点として弥生時代後期後半期を考えることができよう。この後も、谷全体に土器の遺棄、投棄が継続する中で泥炭層の堆積が進行し、極緩く窪んだ地形へと移ってゆく。

ここで、遡って溝2195掘削前後の状況をみてみる。溝2195は、谷1203の底に掘削されて、やや蛇行しながら第11次調査区の中央を超えた位置、谷1203がその幅を急に広げる地点で掘削をやめている。それが、当初から意図されたものかどうかはわからない。調査時の所見では、この位置に流水が集中し、短時間で埋没したような堆積が観察される。さらに溝の北端部には、多数の杭が打設されている。このことからすると、何らかの不測の事態が発生した可能性も考えられる。一方、図上では調査区の東にある溝1204と対応しているようにも見える。この溝は隣接する第2次調査区の溝(SD50)へ続き、谷の縁辺に沿うように弧状に掘削され、その延長が第11次調査区へ向かうが、両調査区の間で終わる。これからみると、溝2195も意図した位置で掘削を停止したものかとも思われる。

溝2195掘削時の残土による盛土層(29層・53層)中から土器が出土し、またその層中に埋置されたとみられる土器が出土した(M1716~1718)。土器は何れも弥生時代中期後半を示している。一方、谷1203東岸から谷底部に向かって土器包含層(27b層・24層・41層・42層・52層)が形成されている。出土状況から人為的な投棄を想定するが、やはり中期後半頃か。調査区南部で51層と52層が重なり、51層が上位となる。ただし52層とした部位は谷底に薄く広がるもので、不明瞭。他地点とは堆積状況が異なる。

溝2195掘削前後の遺構について、第11次地点では該当する遺構は確認できなかった。他調査地点の成果をみると、隣接する第2次地点では井戸(SE-1)を調査している。遺跡中央部に近い東の第5次地点では、東西方向の溝(SD-01・02)に土器の投棄が行われる。溝2195に続く溝427を検出した第9次地点では台地上に2基の井戸(M421・422)が分布する。更に溝427が北東へ繋がる第10次地点では、溝が断片的に遺存する(M1017・1096)。以上、散漫ではあるが、遺構の分布を見ることができる。

なお、第9次地点では、溝の外側(谷側)に本地点と同様残土による盛土層が残り、同様に土器が 出土している。

報告書抄録

ふりがな	いまじゅくごろうえ 16									
書 名	今宿五郎江 16									
副 書 名	今宿五郎江遺跡第11次調査報告 (2)									
巻 次										
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書									
シリーズ番号	122	21								
編集者名	杉山	富雄								
編集機関	福岡	司市教育委員会	÷							
所 在 地	〒 8	10-8621 福岡県	₹福岡市中央▷	区天神一丁目8	番1号 TEL092	2-711-4667				
	201	14年3月24日								
ふりがな	ふりがな	コー	ード	北緯	東経	==+++n==	調査面積	3H * F		
所 収 遺 跡 名	所在地	市町村	遺跡番号	o / //	o , ,,	調査期間	m²	調査原因		
いまじゅくごろうえ 11 じ 今宿五郎江11次	なくをかけん 福岡県 ふくおかしにしく 福岡市西区 いまじゅくまち 今宿町	40130	626	33° 34′ 28″	130° 16′ 19″	20050708 ~ 20061209	6,500	区画整理		
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な	遺構	主な	遺物	特記	事 項		
今宿五郎江11次	集落 弥生 溝、掘立柱建物、井戸、 土壙 弥生土器、石器、木器、 玉類、鉄器・青銅器 中世 土壙 工類、鉄器・青銅器									
要約	遺物の出土は大量で、土器の総量で28.6t程の分量となった。遺物の大半は谷部から出土した。 土器は、弥生土器が殆どで、土師器・須恵器・古代・中世の土器が痕跡的に混じる。弥生土器は後期 後半ものが主で、他に中期後半の土器が加わる。瀬戸内他の地方からの搬入土器、楽老兄土器をはじめ とする朝鮮半島からの搬入土器が混じって出土した。 木器類も多量に出土した。農具、漁撈具、容器の他、短甲等の出土があった。金属器は、小形仿製鏡、 銅鐸、鋳造鉄斧、鍛造鉄斧、銅鏃などが出土している。石器類では、石錘の出土が多く、砥石・敵石の 類も多数出土した。金属器、搬入土器は、殆どが弥生時代後期後半期以降の包含層から出土している。									

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1221集

今宿五郎江 16

一 今宿五郎江遺跡第11次調査報告(2) —2014年(平成26年)3月24日

発行 福岡市教育委員会

福岡市中央区天神1丁目8番1号

印刷 協文社印刷株式会社

福岡市西区小戸4丁目24番5号